

2027年度 受験用入試案内

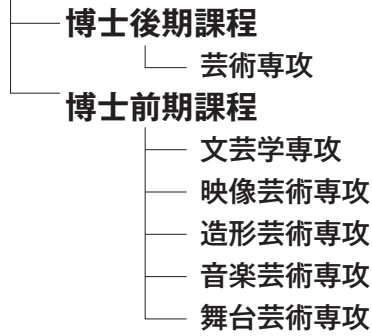


Art Transformation since 1921
Nihon University College of Art

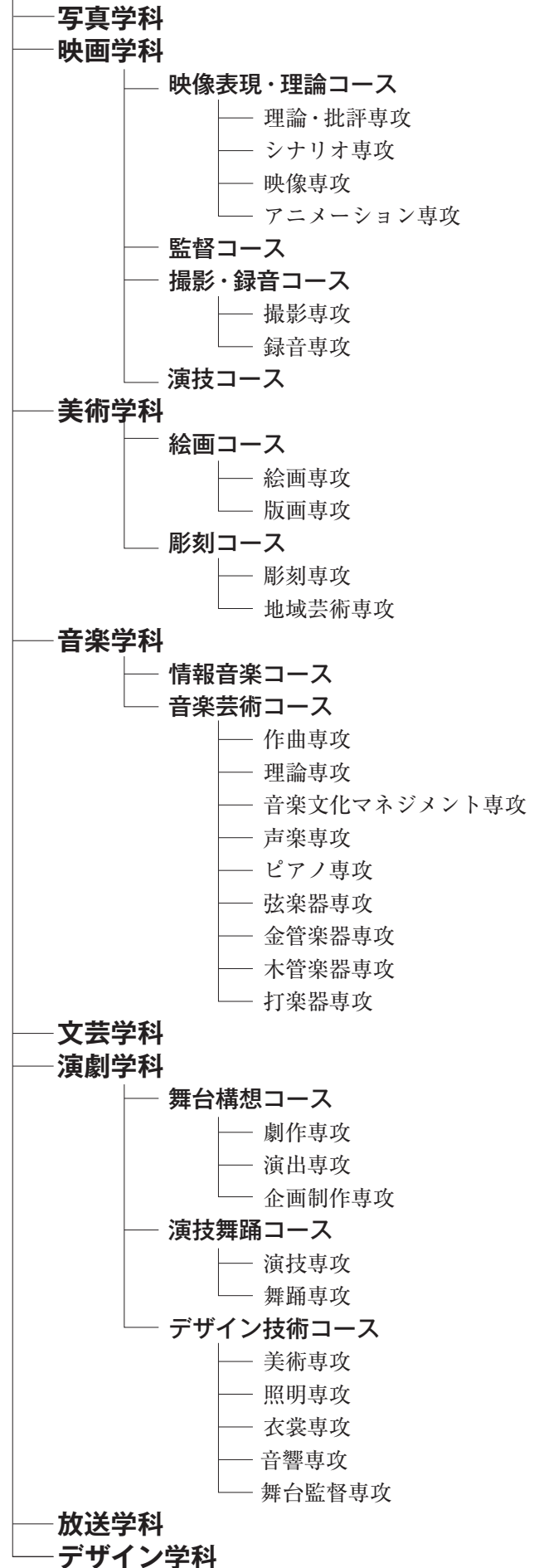
日本大学芸術学部

日本大学芸術学部教育体系

大学院芸術学研究科



芸術学部



掲載内容について

2026年4月現在の情報を掲載しています。
今後、内容に変更等が発生した場合には、
本学部ホームページにてお知らせします。

入学者選抜等に関するお問い合わせは…

- ・入学者選抜に関する質問
- ・学部資料請求
- ・キャンパス見学（72ページ参照）

等については、入試係までお願いします。

また、入学者選抜情報等については、ホームページでもご覧いただけます。

日本大学芸術学部 2027年度受験用入試案内

CONTENTS

令和8年度一部学科におけるコース・専攻の変更について	2
入試広報カレンダー	4

総合型選抜

2027年度 総合型選抜について	5
2027年度 総合型選抜概要	6
2026年度 総合型選抜結果	10
2026年度 総合型選抜科目(課題)一覧	11

学校推薦型選抜(公募制)

2027年度 学校推薦型選抜(公募制)について	16
2027年度 学校推薦型選抜(公募制)概要	17
2026年度 学校推薦型選抜(公募制)結果	20
2026年度 学校推薦型選抜(公募制)課題一覧	21

一般選抜

2027年度 一般選抜について	24
2027年度 一般選抜N全学統一方式学力検査型概要	25
2027年度 一般選抜N全学統一方式(第1期)学力検査型概要	26
2026年度 一般選抜N全学統一方式(第1期)学力検査型結果	27
2027年度 一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型概要	28
2027年度 一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型専門試験実施内容	30
2026年度 一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型結果	31
2026年度 一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型小論文・作文課題一覧	32
2026年度 一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型実技科目(課題)一覧	33
2027年度 一般選抜N全学統一方式(第2期)学力検査型概要	36
2026年度 一般選抜N全学統一方式(第2期)結果	37

2027年度 その他の入学者選抜

外国人留学生・帰国生選抜、校友卒選抜	38
編入学・転部試験/2026年度 編入学・転部試験結果	39

2027年度 音楽学科実技課題曲案内

各学科専門試験参考資料	44
-------------	----

学部Q&A	60
-------	----

学部概要

授業等について	66
入学金・授業料等納入金について	68
入学後のキャリア形成について ~卒業後の「進路」を考える~	69
卒業制作等、学生の作品発表を見るには…	70
外部進学相談会について/キャンパス見学について	72
校舎案内	

総合型選抜

学校推薦型選抜

一般選抜

各種選抜等

実技課題曲
学部Q&A
専門試験参考資料

学部概要

日本大学芸術学部 入試係

03 - 5995 - 8282

〒176-8525 東京都練馬区旭丘 2-42-1

(事務取扱時間)

月曜日～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～12:00

日本大学芸術学部ホームページ
<http://www.art.nihon-u.ac.jp/>



日本大学ホームページ
<http://www.nihon-u.ac.jp/>



表紙デザイン

中村 至男 (グラフィックデザイナー・日本大学芸術学部美術学科卒)

令和8年度より一部学科でコース・専攻を変更しました。

目次に戻る

日本大学藝術学部では、芸術総合教育のより一層の充実と芸術・文化全般にわたる広い視野を持った人材の養成を目的とし、学士課程全体を見据えたカリキュラム体系を教育目標に照らしながら系統的に整備することにより、学生の学修満足度を高める事を目標として、令和8年度以降の入学者を対象としたカリキュラム変更及び一部の学科においてコースの改編を行いました。

音楽学科 2コースに再編、新たに音楽文化マネジメント専攻を新設

令和8年度の学則変更に伴い、「情報音楽コース」と「音楽芸術コース」(作曲, 理論, 音楽文化マネジメント, 声楽, ピアノ, 弦楽器, 金管楽器, 木管楽器, 打楽器)の2コース9専攻にわかれます。

情報音楽コースはデジタル技術を身につけ、これまでにない新たな音楽分野を開拓しています。

音楽芸術コースはバロックから現代まで、様々な時代の音楽芸術を系統的に学習し、それぞれの専攻実技によって自己表現を追求します。作曲ではピアノなどの小品からオーケストラのような大曲、声楽では歌曲やアリア、器楽ではバロックから近現代の作品を個人レッスンにより学びます。理論は音楽を言葉で論じる学習を行います。新たに新設される音楽文化マネジメント専攻では、音楽と文化に関わるプロジェクトを支援し、社会との橋渡しを担う人材の育成を目指します。

ルネッサンス以降、人類は数多くの素晴らしい音楽作品を受け継いでいます。その魅力を現代の手法によって、次の世代へと繋いでいくのが音楽芸術コースのミッションです。

情報音楽
コース

音楽芸術
コース

- 作曲専攻
- 理論専攻
- 音楽文化マネジメント専攻**
- 声楽専攻
- ピアノ専攻
- 弦楽器専攻
- 金管楽器専攻
- 木管楽器専攻
- 打楽器専攻

新設

映画学科 映像表現・理論コースにアニメーション専攻を新設

映像表現・理論コースでは、2年次より専攻に分かれた授業設計となっています。令和8年度の学則変更に伴い、これまでの理論・批評専攻、シナリオ専攻、映像専攻の3専攻に加えて、新たにアニメーション専攻を設置することになりました。

アニメーション専攻は、手描きアニメーションからデジタル作画表現まで多様な表現技法を学び、映像芸術としてのアニメーションを総合的に探究し、基礎技術の習得から企画・制作・演出までを一貫して学ぶことで、動きと映像表現を両立させたアニメ制作のスキルを身につけます。また、キャラクター造形、動きの表現、空間演出、シナリオ作成に加え、アニメーションの歴史や理論、世界各国の作品から多様なスタイルと技法を探求します。

1年次

2年次以降

全専攻の
カリキュラム実施

映像表現・理論
コース

- 理論・批評専攻
- シナリオ専攻
- 映像専攻
- アニメーション専攻**

新設

演劇学科 4コースから3コース 10 専攻に変更

演劇学科は、様々な表現方法の確立や社会構造の変化を見据え、高い専門性と専攻横断的な学びが共存するコース再編を行いました。舞台構想コース(劇作, 演出, 企画制作), 演技舞踊コース(演技, 舞踊), デザイン技術コース(美術, 照明, 衣裳, 音響, 舞台監督)という3コース10専攻の中で、学生自身が学びをレイアウトします。各専攻に特化した実習授業を積み上げることも可能ですし、横断的な学びで構成することも可能です。

成果発表として授業内での小発表や劇場を利用した公演、地域社会との連携企画等、学内施設を活用した幅広い成果発表に向き合い、現代社会における舞台芸術の役割について、新しい可能性を拓く人材を養成します。

舞台構想コース

演技舞踊コース

デザイン技術
コース

- 劇作専攻
- 演出専攻
- 企画制作専攻
- 演技専攻
- 舞踊専攻
- 美術専攻
- 照明専攻
- 衣裳専攻**
- 音響専攻
- 舞台監督専攻

新設

試験別 昨年度からの主な変更点

【総合型選抜】

- 音楽学科音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻の選考方法を変更します。

【学校推薦型選抜（公募制）】

- 音楽学科音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻，演劇学科演技舞踊コース，放送学科の選考方法をそれぞれ変更します。
- 放送学科の出願資格を「全体の学習成績の状況が3.8以上の者」から「全体の学習成績の状況が3.5以上の者」に変更します。

【一般選抜】

- N全学統一方式第1期および第2期において，外部の英語資格・検定試験のスコアを外国語の得点として利用することができるように変更します。スコアを提出した場合は外国語の試験を受験する必要はありませんが，外国語の試験を受験した場合は，高得点の方を合否判定に使用します。

【一般選抜N全学統一方式（第1期）専門試験併用型】

- 音楽学科音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻，演劇学科演技舞踊コースの選考方法をそれぞれ変更します。

選考方法の変更内容

- 音楽学科音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻

変更前：①実技（グループディスカッション） ②口頭試問（事前課題に対する審査を含む）

変更後：①実技（(1)グループディスカッション (2)事前課題に関する質疑応答を含むプレゼンテーション）

- 演劇学科演技舞踊コース

変更前：実技（(1)身体を使ったウォーミングアップ (2)台詞，ダンス，舞踊のいずれかを用いた自由表現（3分程度））

変更後：実技（(1)身体を使ったウォーミングアップ (2)試験時に指示されたテーマに沿った，台詞，ダンス，舞踊のいずれかを用いた自由表現（2分程度））

※変更のある試験共通の変更内容です。

日本大学学則及び教育研究上の基礎的な情報について

日本大学学則及び「学部入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」、「学部教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）」、「学部卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」等について、芸術学部ホームページにてお知らせしています。

<http://www.art.nihon-u.ac.jp/about/relations/>

※「学則等」については，ホームページ中程に記載があります。



目次に戻る

2026	6	6/21(日)	オープンキャンパス	
	7			
	8	8/1(土)・2(日)	オープンキャンパス	
	9			
	10	10/25(日)	総合型選抜	5ページ
	11	11/22(日)	学校推薦型選抜 (公募制・指定校制 ・付属高等学校等)	16ページ
	12	12/13(日)	校友枠選抜 外国人留学生・帰国生選抜 編入学・転部試験	38ページ
2027	1			※外国人留学生選抜デザイン学科のみ12/6(日)に一次試験を実施
	2	2/1(月)	一般選抜N全学統一方式(第1期) 学力検査型・ 専門試験併用型	25ページ
		2/2(火)～ 2/8(月)の 各学科指定日	一般選抜N全学統一方式(第1期) 専門試験併用型	28ページ
	3	3/4(木)	一般選抜N全学統一方式(第2期) 学力検査型	36ページ
		3/7(日)	春のオープンキャンパス	

こんな方におすすめ (タイプ別入試紹介)

- ・日藝が第1希望!
- ・早く合格して入学後の学びに備えたい
- ・各学科のカリキュラムに興味があり、熱意を伝えたい

➔ **総合型選抜** (5ページ～)

- ・高校生活でがんばったことを評価してほしい
- ・アート、エンタメ、映像、音楽、演劇、文芸などの学びに情熱がある

➔ **学校推薦型選抜** (16ページ～)

- ・「国語」と「英語」の2科目に自信がある
- ・小論文や面接、身体表現・デッサンなどの専門試験に自信がある

➔ **一般選抜N全学統一方式(第1期)
専門試験併用型** (28ページ～)

- ・小論文や面接、身体表現・デッサンなどの専門試験は不安だけど得意な教科がある
- ・遠方から首都圏に受験しに行くのは負担だ
- ・いろいろな学びに興味があり、日本大学の他学部と併願したい

➔ **一般選抜N全学統一方式学力検査型**
(25ページ～)

目次に戻る

総合型選抜は、芸術各分野における入学後の目的が明確であり、その目的を実現するのに十分な能力を持っていること、さらにその能力を具体的に表現できることを基本的な出願条件として、公募に基づき選抜する試験です。学力検査だけでは判定することができない、「あなた」を具体的に表現できるか、その適性を求める入学者選抜です。



総合型選抜

総合型選抜

総合型選抜の流れ

(期日はすべて2026年となります)

【エントリーシートのダウンロード】

もっとも興味・関心を持った学科の所定の「エントリーシート」を本学部ホームページからダウンロードしてください（7月上旬に掲載予定）。



【エントリー】

① エントリーシートの提出

受付期間：9月1日（火）～9月3日（木）（簡易書留郵便にて締切日必着）

② 結果通知：9月28日（月）

エントリーシート等の内容により入学試験対象者を決定し、通過の可否にかかわらず全員に通知します。
なお、通過者には出願書類（「募集要項」等）を同封します。

※エントリーまでは、入学検定料は徴収しません。



【入学者選抜】

出願期間：10月1日（木）～10月7日（水）（簡易書留郵便にて締切日必着）

選考日：10月25日（日）

選考方法：学科・コースにより異なります。

入学検定料：35,000円



【合格発表】

発表日：11月2日（月）（オンライン合否案内）

1 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員
写 真		55名
映 画	映像表現・理論, 監督, 撮影・録音, 演技	40名
美 術	絵画, 彫刻	30名
音 楽	情報音楽, 音楽芸術	45名
文 芸		36名
演 劇	舞台構想, 演技舞踊, デザイン技術	42名
放 送		25名
デザイン		23名

※映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する場合は, コースを1つだけ選択してください

※学科・コースの併願はできません

2 試験日程

内 容	期 日
エントリーシート 受付期間	9月1日(火)～9月3日(木) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
出願期間	10月1日(木)～10月7日(水) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
選考日	10月25日(日)
合格発表日	11月2日(月) (オンライン合否案内)
入学手続期間	11月2日(月)～12月7日(月) ※入学時納入金は, 入学手続期間内に一括納入となります

3 出願資格・出願要件

<出願資格>

高等学校または中等教育学校等を卒業した者あるいは2027年3月卒業見込みの者、及びそれと同等以上の学力があると認められる者。

<出願要件>

- ①試験の内容をよく理解した上で、エントリーを経て審査を通過した者。
- ②下表に示した、各学科が求める学生像をよく理解し、かつ本学部(学科)を第一志望とし、合格した場合は本学部(学科)に入学することを確約できる者。

学 科	求める学生像
写 真	次のいずれかに該当する者を求めます a 写真が好きで、積極的に学びたいと考えている者 b 表現を写真でしたい者 c 写真で社会とつながりを持ちたい者 d 写真表現でできることが、まだまだあると思っている者 e 今おきていることを伝えたいと思っている者
映 画	芸術分野に対する豊かな感受性を有し、映像表現分野における創作活動、あるいは映像理論分野における研究活動に対する能力が認められる者を求めます
美 術	芸術領域において創造的・積極的な姿勢を持っている者で次のいずれかの分野に関する能力が認められる者を求めます a 絵画・版画・彫刻における創作活動 b 社会と芸術に関わる創作活動 c 美術に関する理論的研究活動
音 楽	次のaまたはbの要件を満たし、自己をアピールしプレゼンテーションができる者を求めます a 音楽学科各コース・各専攻の教育内容を理解し、考・動・創・力に富み、芸術、とりわけ音楽の素質豊かな潜在能力を有し、創作力、実技演奏力、論文表現力等に秀で、豊かな人間性を感じさせる者 b 音楽活動(オーディション、コンクール、ライブ等)に積極的に参加し、実績をあげた者
文 芸	次のいずれかに該当する者を求めます a 創作、評論を問わず、文芸表現を第一義にめざす者 b 文芸表現分野において顕著な成果をあげている者
演 劇	大学で舞台芸術を学ぶことについて積極的な動機を持ち、次のいずれかに該当する者を求めます a 演劇・舞踊に特別な可能性を見いだす者 b 学力試験的な方法以外で実力をアピールしたい者 c 一回限りの面接ではなく段階的また多面的に自己をアピールしたい者 d 調査書にあらわれない学業的成果をもって自己をアピールしたい者 e その他の、意外なまたは例外的な経歴・個性あるいは「力」をアピールしたい者
放 送	次のいずれかに該当する者を求めます a 放送学科のカリキュラムを理解し、将来アナウンサーを志す者 b 放送学科のカリキュラムを理解し、将来放送分野での活躍を志す者
デザイン	次のいずれかに該当し、自己をアピールしプレゼンテーションができる者を求めます a デザインに関する明確な将来の志望を持っている者 b デザインを通じて社会・文化に貢献したいと考えている者 c デザインを通じて新たなものごとやシステムを考え、論理的な視点から創作することをめざす者 d デザインに関わる新技術に興味を持ち、新たな「表現」や「ものづくり」に関心がある者 e デザインにおいて顕著な成果を上げた者

※出願に先立ち、「エントリーシート」の提出が必要です。

4 エントリー

本学部に興味や関心を持っていただいた方は、以下の要領に従ってエントリーをしてください。

(1) エントリーシートの提出

芸術学部ホームページから「もっとも興味・関心を持った学科」のエントリーシート（学部統一書式）及び宛名シートをダウンロードし、必要事項を記入の上、本学部入試係あてに提出してください（複数学科の提出は不可）。

(2) エントリーシート受付期間

9月1日（火）～9月3日（木） 簡易書留郵便に限る（締切日必着）

(3) 提出書類

①エントリーシート（写真1枚貼付）

ここでは、「あなた」が「日藝」で学びたいことをテーマとして、表現していただきます。

②宛名シート

③学科指定の提出物

音楽学科、文芸学科及びデザイン学科については、別途指定の提出物を提出してください（下表参照）。

なお、以下の学科以外でも、学科指定の提出物が課される場合があります。

学 科	学科指定の提出物
音 楽	各種芸術活動を証明する書類の写し
文 芸	文芸表現分野での実績がある者は、各種文芸賞または作文コンクール等の受賞や文芸活動を証明する書類の写し
デザイン	作品ポートフォリオ（A4サイズ以上） ※ポートフォリオは、面接時に返却します。事前課題のプレゼンテーションボードは返却しません。

(4) 審査及び審査結果通知日

提出されたエントリーシート（学科指定の提出物を含む）をもとに審査を行い、試験対象者を決定します。

審査結果は、9月28日（月）に通過の可否にかかわらず全員に通知を発送します。

5 入学者選抜

(1) 出願期間

10月1日（木）～10月7日（水） 簡易書留郵便に限る（締切日必着）

(2) 試験会場 芸術学部校舎

(3) 出願書類

①出願確認票

②出身学校調査書等

※美術学科志願者は、出願後すみやかに、受験する専攻及び画材を選択すること（詳細は「募集要項」で指示します）。

※音楽学科志願者は、受験曲目等を学科サイトより別途入力すること（詳細は「募集要項」で指示します）。

(4) 出願者に対する課題等

音楽学科音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻以外、**選考日当日持参**となります（詳細についてはエントリー通過者に別途通知します）。

学 科	課 題
写 真	①小論文 ②学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ（A4サイズ） （写真関連分野における実績のある場合は、関連資料〔写し可〕を加えてください） ※45ページの【写真学科】専門試験参考資料を参照
美 術	作品のポートフォリオ（A4サイズ、また彫刻コース地域芸術専攻の志願者は、芸術活動報告をまとめたものでも可） ※作成時の注意事項は、ホームページで公開されているものを参照してください
音 楽	情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください（口頭試問で参考にします）
	音楽芸術コース作曲専攻志願者は、自作曲の楽譜を3部持参してください（編成・長さは自由、1曲のみとします。返却はしません）
	音楽芸術コース理論専攻志願者は、音楽に関するレポートを3部持参してください（書式・長さは自由、手書き、1点のみとします。返却はしません） 音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻志願者は、600字程度の文章を音楽学科宛てに事前に提出してください ※課題等の詳細については、『2027年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください
演 劇	デザイン技術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ（A4サイズ）
デザイン	事前課題を具体的に表現したプレゼンテーションボード（A2サイズ）2枚 ※エントリー通過者のみに事前課題のテーマを通知します

6 試験科目

学科・コース		科 目	
写 真		①当日持参したポートフォリオに関する口頭試問 ②小論文(事前回答のうえ当日持参) ③面接	
映 画	映像表現・理論コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接	
	監督コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接	
	撮影・録音コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接	
	演技コース	①小論文 ②コース別試験 ③面接	
美 術	絵画コース 絵画専攻	①実技(油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接	
	版画専攻	①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接	
	彫刻コース 彫刻専攻	①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接	
	地域芸術専攻	①小論文(60分・800字以内) ②面接	
※各コースとも、出願後すみやかに受験する専攻及び画材を選択してください(詳細は『募集要項』で指示します)			
音 楽	情報音楽コース	①口頭試問 ②面接	
	音楽芸術コース	作曲専攻	①実技(作曲) ②口頭試問(持参する自作品の審査を含む) ③面接
		理論専攻	①実技(任意の器楽曲の演奏) ②口頭試問(持参する音楽に関するレポートの審査を含む) ③面接
		音楽文化 マネジメント専攻	①実技((1)グループディスカッション (2)事前課題に関する質疑応答を含むプレゼンテーション) ②面接
		声楽専攻	①実技(声楽) ②面接
		ピアノ専攻	①実技(ピアノ) ②面接
		弦楽器専攻	①実技(専攻する弦楽器の演奏審査) ②面接
		金管楽器専攻	①実技(専攻する金管楽器の演奏審査) ②面接
		木管楽器専攻	①実技(専攻する木管楽器の演奏審査) ②面接
		打楽器専攻	①実技(専攻する打楽器の演奏審査) ②面接
※課題曲等の詳細については、40~43ページの『2027年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください(詳細は「募集要項」で指示します)			
文 芸		①小論文または作文(180分・3,200字以内) ※辞書持ち込み可(電子辞書不可)。また、学科指定施設内の資料も参照可 ②面接	
演 劇	舞台構想コース	①作文(60分・800字程度) ②実技(グループディスカッション) ③面接	
	演技舞踊コース	①作文(60分・800字程度) ②実技(演技舞踊にかかわるもの) ③面接 ※希望する専攻に応じた格好(稽古着, レオタード, 着物等, シューズ可)で参加してください	
	デザイン技術コース	①作文(60分・800字程度) ②実技(グループディスカッション) ③面接	
放 送		アナウンサー志願者 ①適性をみる課題 ②小論文(80分・800字程度) ③面接 放送分野志願者 ①適性をみる課題 ②作文(60分・600字程度) ③面接	
デザイン		①小論文 ②実技 ③面接(プレゼンテーションを含む)	

目次に戻る

総合型選抜

項目		募集人員	エントリー者数	試験対象者数	試験志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	競争率 (A/B)	2025年度競争率
学科・コース									
写真学科		50	117 (46)	75 (37)	75 (37)	75 (37)	52 (27)	1.4倍	1.4倍
映画学科	映像表現・理論コース	40	75 (38)	49 (32)	49 (32)	48 (31)	18 (12)	2.7倍	2.7倍
	監督コース		94 (46)	35 (25)	34 (24)	33 (24)	11 (8)	3.0倍	2.6倍
	撮影・録音コース		42 (26)	28 (22)	28 (22)	28 (22)	14 (12)	2.0倍	2.2倍
	演技コース		73 (48)	26 (12)	25 (11)	25 (11)	7 (4)	3.6倍	3.3倍
	計	40	284 (158)	138 (91)	136 (89)	134 (88)	50 (36)	—	—
美術学科	絵画専攻	30	53 (40)	53 (40)	52 (39)	51 (38)	19 (17)	2.7倍	※
	版画専攻		8 (5)	8 (5)	8 (5)	8 (5)	4 (3)	2.0倍	
	彫刻専攻		11 (6)	11 (6)	10 (5)	10 (5)	6 (4)	1.7倍	
	地域芸術専攻		4 (3)	4 (3)	4 (3)	4 (3)	2 (2)	2.0倍	
	計	30	76 (54)	76 (54)	74 (52)	73 (51)	31 (26)	—	—
音楽学科	情報音楽コース	42	113 (42)	25 (14)	25 (14)	24 (13)	16 (8)	1.5倍	※
	作曲専攻		11 (5)	8 (4)	8 (4)	8 (4)	4 (3)	2.0倍	
	理論専攻		3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	1.0倍	
	音楽文化マネジメント専攻		15 (14)	5 (5)	4 (4)	4 (4)	3 (3)	1.3倍	
	声楽専攻		11 (8)	6 (5)	6 (5)	6 (5)	3 (2)	2.0倍	
	ピアノ専攻		11 (8)	9 (7)	9 (7)	9 (7)	4 (2)	2.3倍	
	弦楽器専攻		3 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)	2.0倍	
	金管楽器専攻		4 (3)	4 (3)	4 (3)	4 (3)	3 (2)	1.3倍	
	木管楽器専攻		11 (7)	7 (5)	7 (5)	7 (5)	4 (2)	1.8倍	
	打楽器専攻		1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1.0倍	
	計		42	183 (92)	70 (48)	69 (47)	68 (46)	42 (27)	
文芸学科		36	105 (60)	103 (58)	97 (55)	97 (55)	42 (29)	2.3倍	2.0倍
演劇学科	舞台構想コース	42	47 (40)	21 (17)	21 (17)	21 (17)	12 (9)	1.8倍	※
	演技舞踊コース		119 (85)	34 (25)	34 (25)	34 (25)	17 (15)	2.0倍	
	デザイン技術コース		47 (41)	30 (25)	30 (25)	30 (25)	16 (13)	1.9倍	
	計	42	213 (166)	85 (67)	85 (67)	85 (67)	45 (37)	—	—
放送学科		20	108 (71)	60 (46)	60 (46)	59 (45)	23 (20)	2.6倍	3.4倍
デザイン学科		23	97 (68)	39 (29)	38 (28)	38 (28)	25 (21)	1.5倍	1.4倍
合計		283	1,183 (715)	646 (430)	634 (421)	629 (417)	310 (223)	—	—




()内は女子内数

※美術学科、音楽学科音楽芸術コース及び演劇学科演技舞踊コース、デザイン技術コースは2026年度コース・専攻改編のため、2025年度の競争率は掲載していません。

総合型選抜 科目(課題) 一覧

目次に戻る

学科・コース	科目・課題
写 真	<p>①事前小論文課題(選考日当日持参) 写真における「決定的瞬間」の意味を調べ、あなたが考える決定的瞬間と思う写真を例にあげて考えたことを述べてください。 1 その写真を提出してください。 ・選んだ写真の内容が分かる大きさのコピーをA4用紙で出力するか、あるいは対象写真を撮影し2Lサイズにプリントしたものも一緒に持参してください。 ・写真の「出典」と、「作者名」と「タイトル」を記載してください。 ・自分の写真でも、誰の写真でもかまいませんが明確に記してください。 ・「作者不詳」「タイトルなし」でもかまいません。 2 AIやウェブで調べた場合は、そこからよく考えて自分の言葉で回答してください。(1,000字程度)</p> <p>②学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ(選考日当日持参) 「探究活動、生徒会・委員会、学校行事、部活動、学校以外の活動、留学・海外経験、表彰・顕彰、資格・検定」の8項目から、自身の学びのテーマに関連する項目を選択し、あなた自身をプレゼンテーションできるポートフォリオを制作してください。また、写真作品や写真関連の業績がある場合には前述頁以降に加えてください。 ポートフォリオはA4サイズのポケットファイル(20ポケット・40頁以内)とする。</p> <p>③作品ポートフォリオ(選考日当日持参) A4サイズのポケットファイルを使用し10枚以上の写真で構成している形式、もしくは市販のフォトブックサービスの利用も可。フォトブックの場合もA4サイズ程度が好ましい。自分の撮影した写真(スマートフォンで撮影した写真も可)を他者に見せられる形式にしてください。</p> <p>④当日持参したポートフォリオに関する口頭試問</p> <p>⑤面接</p>
全コース	<p>①小論文(60分・600字) 次の文章を読んで、「コミュニケーション」について論じなさい。 ※佐藤雅彦「新しい分かり方」中央公論新社、2017年、210～216ページ</p> <p>②面接</p>
映像表現・理論コース	<p>記述試験(80分・800字) これから上映される作品は、エリック・ロメール監督による『モンソーのパン屋の女の子』(1962年、23分)。この映画を観てあなたが考えたことを書きなさい。 ※エリック・ロメール「モンソーのパン屋の女の子」1962年</p>
監督コース	<p>記述試験(90分・1,000字) 「○○の長いトンネルを抜けると□□であった。」で始まる物語を作りなさい。 ○○と□□は各自が好きに言葉を選んで良い。</p>
映 影 撮影・録音 コース	<p>記述試験(80分・800字) 映画のファーストカットとして、別紙にある8枚の画像から1枚だけ選んでください。 このファーストカットに続くストーリーはどんなものですか?理由を含めて論じてください。 なお、選ばなかった残りの7枚の画像は使用しないものとします。 ※平成28・29、令和6年度 卒業制作作品</p>
画 演技コース	<p>実 技</p> <p>発声1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号()番、(氏名)です。出身は(都道府県名)で、 学校は(学校名)高校を卒業する予定です。年齢は、()歳です。</p> <p>発声2 次の文章を朗読してください。 ※「漫画で伝える戦争 ちばてつやさん」朝日新聞、2025年8月16日記事より抜粋、朝日新聞社</p> <p>動作 次の内容をしぐさのみで表現してください。 〔設定〕放課後。帰宅しようと階段を降りると、踊り場の窓から雨が降っているのが見えた。 傘を取りに教室へ戻る。 教室に入ろうとすると、中から大声で怒鳴り合う声が聞こえる。 中に入るか躊躇する。 言い合いは終わりそうにないので、静かにドアを開ける。 自分のロッカーから傘を取り出す。 傘に引っかかってロッカーの中の荷物が床に落ちてしまう。 音に気付かれ、呼び止められるが、足早に教室を出る。 (そのまま退出してください)</p>

学科・コース		科目・課題													
美術	全コース	<p>①作品のポートフォリオ (選考日当日持参) これまでに自ら制作した各専門領域に関する作品や活動等をファイルにまとめた「ポートフォリオ」を選考日当日に持参してください。 ※ポートフォリオの持参については、美術学科各コース・各専攻のいずれを受験する場合にも共通です。 ※彫刻コース地域芸術専攻においては、活動が多岐にわたるため、美術全般・地域芸術全般・課外活動・ボランティア活動・学校での委員会等、自らの活動報告をまとめたものでも可。</p> <p>○ポートフォリオの形式について ・市販のクリアファイル (A4サイズ) 1冊にまとめること。 ・ページ数、添付作品写真の枚数は自由とする。 ・ファイルの1ページ目に、必ず以下の項目を記入した表紙を入れること。 受験コース (絵画コース/彫刻コース) 受験専攻 (絵画専攻/版画専攻/彫刻専攻/地域芸術専攻) 受験番号 (オンライン受験票に記載されている受験番号) 氏名</p> <p>○ポートフォリオの返却について 実技試験中、ポートフォリオ等を参考に順次面接を行い、面接終了後、ポートフォリオは各自に返却します。</p> <p>②面接</p>													
	絵画コース	<p>①実技 (5時間30分) 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く。 ≪油彩・アクリル選択者はF15号キャンバス、木炭選択者は木炭紙65cm×50cm、鉛筆選択者は画用紙65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ]</p> <table border="0"> <tr><td>木製テーブル</td><td>×1</td></tr> <tr><td>安全靴</td><td>×2</td></tr> <tr><td>レモン</td><td>×2</td></tr> <tr><td>紙袋</td><td>×1</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>×2</td></tr> <tr><td>アクリル絵の具</td><td>×3</td></tr> </table> <p>②実技に関するレポート (30分・400字以内)</p>	木製テーブル	×1	安全靴	×2	レモン	×2	紙袋	×1	ペットボトル	×2	アクリル絵の具	×3	
	木製テーブル	×1													
	安全靴	×2													
レモン	×2														
紙袋	×1														
ペットボトル	×2														
アクリル絵の具	×3														
版画専攻	<p>①実技 (5時間30分) デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く。 ≪画用紙または木炭紙65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ]</p> <table border="0"> <tr><td>水差し</td><td>×1</td></tr> <tr><td>パン</td><td>×1</td></tr> <tr><td>シャインマスカット</td><td>×1</td></tr> <tr><td>布</td><td>×1</td></tr> </table> <p>②実技に関するレポート (30分・400字以内)</p>	水差し	×1	パン	×1	シャインマスカット	×1	布	×1						
水差し	×1														
パン	×1														
シャインマスカット	×1														
布	×1														
彫刻コース	<p>①実技 (5時間30分) デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く。 ≪画用紙または木炭紙65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ]</p> <table border="0"> <tr><td>プレス機</td><td>×1</td></tr> <tr><td>L字アングル</td><td>×1</td></tr> <tr><td>鉄パイプ</td><td>×1</td></tr> <tr><td>鉄製パレット</td><td>×1</td></tr> </table> <p>②実技に関するレポート (30分・400字以内)</p>	プレス機	×1	L字アングル	×1	鉄パイプ	×1	鉄製パレット	×1						
プレス機	×1														
L字アングル	×1														
鉄パイプ	×1														
鉄製パレット	×1														
地域芸術専攻	<p>小論文 (60分・800字以内) 日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、必要な問題点を述べてください。</p> <p>潜在能力 普及活動 文化政策 非営利組織 地域格差 地域依存 行政 地域資源 運営資金 主体性 関与 芸術教育 価値観 社会文脈 起業支援</p>														

学科・コース		科目・課題
音 楽	情報音楽 コース	①口頭試問 持参した演奏映像に対する口頭試問 ②面接
	作曲専攻	①実技 作曲(80分) ②口頭試問 持参する自作品の審査を含む ③面接
	理論専攻	①実技 任意の器楽曲の演奏 ②口頭試問 持参する音楽に関するレポートの審査を含む ③面接
	音楽文化 マネジメント 専攻	①実技 グループディスカッション ②口頭試問 事前課題に対する審査を含む ③面接
	声乐専攻	①実技 声乐 ^(※) (※)『2026年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択 ②面接
	ピアノ 専攻	①実技 ピアノ ^(※) (※)『2026年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択 ②面接
	弦楽器 専攻	①実技 専攻する弦楽器の演奏審査 ②面接
	金管楽器 専攻	①実技 専攻する金管楽器の演奏審査 ②面接
	木管楽器 専攻	①実技 専攻する木管楽器の演奏審査 ②面接
	打楽器 専攻	①実技 専攻する打楽器の演奏審査 ②面接
文 芸	①小論文または作文(180分・3,200字以内) 次の二つのうち一つを選んで文章を書いてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください。) (1)「おいしいと感じている人が出てくる話」を作文してください。 (2)「読むことと書くこと」について自由に論じてください。 ②面接	

学科・コース		科目・課題
演 劇	全コース	①作 文 (60分・800字程度) 「希望」をタイトルとし、あなたの思うことや物語を自由に作文してください。 ②面 接
	舞台構想 コース	実 技 (グループディスカッション) (60分) これから発表するテーマについて、皆で自由にディスカッションしてください。 テーマを変えて2回行います。1回30分です。 ※1グループ5～6名 1 シェイクスピア『ロミオとジュリエット』に違うタイトルをつけるとしたら。(30分) 2 感動の仕組みについて (30分)
	演技舞踊 コース	実 技 (演技舞踊にかかわるもの) 「変化」をテーマに、台詞や身体を用いた自由表現を行ってください。 1 時間は3分以内とします。 2 道具や音楽などを用いることはできません。
	デザイン技術 コース	実 技 (グループディスカッション) これから発表するテーマについて、皆で自由にディスカッションしてください。 テーマを変えて2回行います。1回30分です。 ※1グループ7～8名 1 別途配布した戯曲の台詞から想像する物語や舞台空間について (30分) 2 おもわず「劇場へ行くといいと思いますよ」と言ってしまう状況 (30分) ※松田正隆「夏の砂の上」『松田正隆戯曲集 雲母坂/夏の砂の上』深夜叢書社、2002年、250ページ
放 送	<p>【A アナウンサー志願者】</p> <p>①適性をみる課題 テレビスタジオで音声・カメラテストを行う。 2分～2分30秒の範囲内で自己紹介をし、指定の原稿を読む。 ※「天声人語」朝日新聞、2023年6月11日記事より抜粋、朝日新聞社</p> <p>②小論文 (80分・800字) 二〇二五年現在、世界の人口約八十二億人の十分の一にあたる八億人もの人々が飢餓状態にあるとみられている。 一方で、日本は世界一ともいわれる飽食を謳歌し、毎日スーパーやコンビニエンスストアから、まだ食べられる食品が大量に廃棄されている。 日本で、生産から流通、消費の段階で発生する食品ロスは年間六十二万トン。これは国連などが世界各地で行っている食糧支援の約一.五倍の量である。 日本の食品ロスをいかに減らすべきか。その方策を考えて論述しなさい。</p> <p>③面 接</p> <p>【B 放送分野志願者】</p> <p>①適性をみる課題 1 「10年後の放送はどうあるべきか」をディスカッションしてください。(40分) 2 先程のディスカッションをふまえて、自分の意見をまとめなさい。(20分)。</p> <p>②作 文 (60分・600字) 「休日」</p> <p>③面 接</p>	

学科・コース	科目・課題
デザイン	<p>①事前課題(選考日当日持参)</p> <p>事前に通知した事前課題を具体的に表現したプレゼンテーションボード(A2サイズ)2枚(面接時に使用します)</p> <p>「あなたの身近な地域社会の問題点や課題について、あなたが考えるデザイン提案をしてください。」</p> <p>[注意点]</p> <p>A2サイズのボード1~2枚に完成させて当日持ってきてください。</p> <p>ケントボードに直接描くか別の紙に描いたものをボードに貼っても構いません。</p> <p>回答作品ですので折ったり丸めたりしないでください。</p> <p>本課題は返却しません。</p> <p>裏面の右下に名前(フルネーム)を記載してください。</p> <p>②小論文(120分・1,000字)</p> <p>配布された資料(農業×デザイン)を読み、以下について論じなさい。</p> <p>最初に轟久志さんが求めているデザインとはどういうことなのか簡潔に述べ、その上であなたが考える『産業×デザイン』について論じなさい。</p> <p>※JAGDA 展覧会委員会編「JIKATSU DESIGN ジカツデザイン」誠文堂新光社、2024年、38~43ページ</p> <p>③実 技</p> <p>ドローイング(4時間)</p> <p>以下の条件に従い「ふたの開いた箱を持つ手」を想定して描きなさい。</p> <p>[条件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙はB3画用紙を縦位置で使用し、名前記入欄が右上に来るようにすること。 ・箱は1辺10cmの立方体を想定すること。 ・箱のふたの形状や開閉する仕組みの設定は自由とする。 ・箱の材質は紙製、色は白とし、文字や模様のないものとする。 ・描写する手は片手でも、両手でもよい。 ・描写のモチーフは箱と手のみとし、それ以外の要素や背景は描かないものとする。 <p>④面 接(プレゼンテーション含む)</p>

※上記は、昨年度試験内容であるため、2027年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

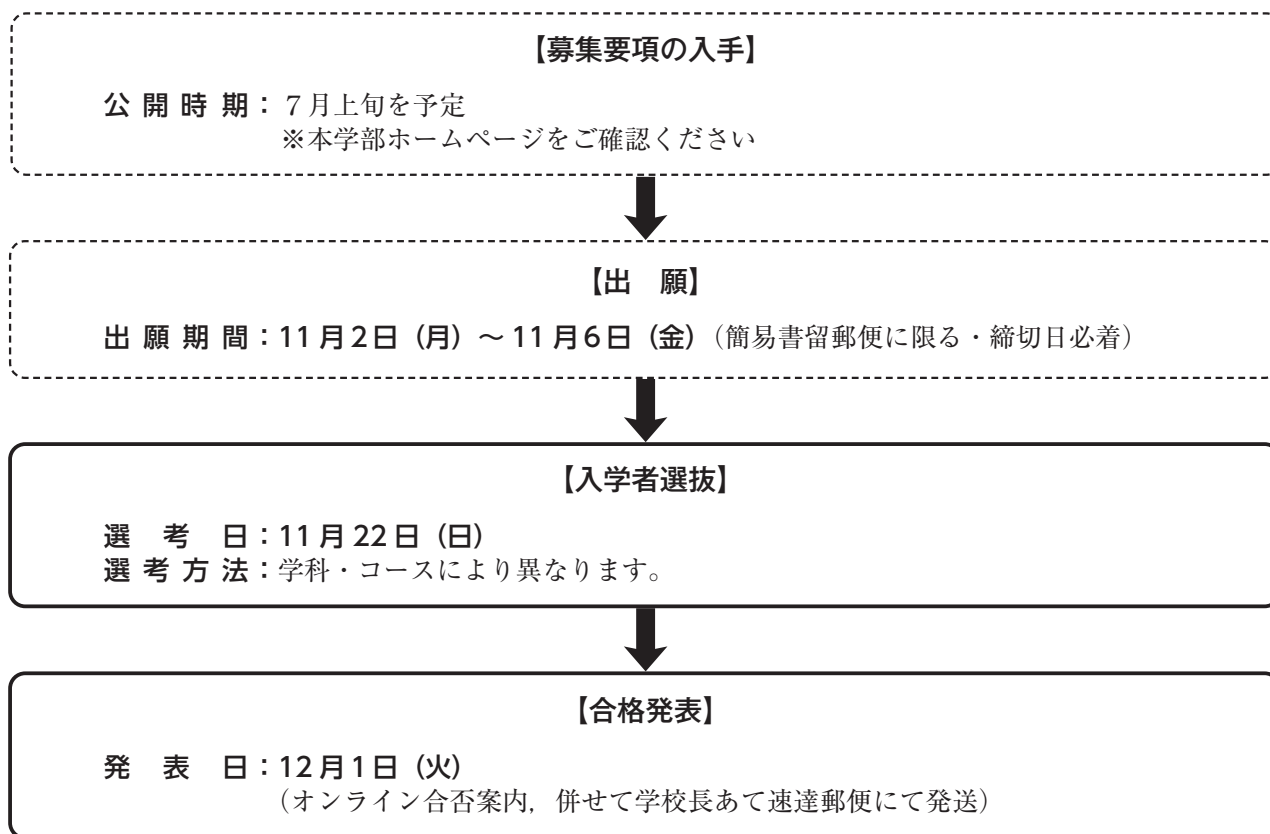
全国から意欲ある受験生を求めます！

学校推薦型選抜（公募制）は、学校推薦型選抜（指定校制）とは異なり、広く全国の高等学校あるいは中等教育学校等の現役生を対象にした推薦入学試験です。

皆さんの学力は、出身学校の調査書をもとに判断し、小論文、作文、面接、実技等の学科別試験によって適性を判定します。

**学校推薦型選抜（公募制）の流れ**

（期日はすべて2026年となります）

**学校推薦型選抜（指定校制）について**

試験日等については公募制と同様ですが、指定校については、高等学校経由でお知らせします。

目次に戻る

(期日はすべて2026年となります)

1 募集方法

公募制

2 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員
写 真		17名
映 画	映像表現・理論, 監督, 撮影・録音, 演技	22名
美 術	絵画, 彫刻	5名
音 楽	情報音楽, 音楽芸術	6名
文 芸		21名
演 劇	舞台構想, 演技舞踊, デザイン技術	28名
放 送		12名
デザイン		20名

※ 映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する場合は, コースを1つだけ選択してください

※ 学科・コースの併願はできません。

3 試験日程

内 容	期 日
出願期間及び方法	11月2日(月)~11月6日(金) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
選 考 日	11月22日(日)
合 格 発 表 日	12月1日(火) (オンライン合否案内, 併せて学校長あて速達郵便にて発送)
入 学 手 続 期 間	12月1日(火)~12月11日(金) ※入学時納入金は, 入学手続期間内に一括納入となります

※ 出願方法, 提出書類等の詳細は「募集要項」を確認してください

4 出願資格・出願要件

- ① 学業・人物が優秀で, 高等学校または中等教育学校等を2027年3月卒業見込みの者。
ただし, 本学付属高等学校等(26校)に在学の者は除きます。
- ② それぞれの分野に対する強い情熱を有し, 芸術的資質に恵まれていて, 将来性のある者。かつ本学部(学科)を第一志望とし, 合格した場合は本学部(学科)に入学することを確約できる者。
- ③ 下記の学科で定めた資格を有する者

学 科	学科別の詳細
写 真	下記のAからCのいずれかの条件を満たす者 A 全体の学習成績の状況が3.0以上の者 B 「全国高等学校総合文化祭写真部門」に出展し, 高等学校文化連盟全国写真専門部の推薦書があり, 全体の学習成績の状況が2.7以上の者 C 全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」ブロック予選に出場した選手で, 全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」(東川町写真の町課)の推薦書があり, 全体の学習成績の状況が2.7以上の者
映 画	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
美 術	下記のAまたはBの条件を満たす者。 A 美術・デザイン・造形に関する専門科目を24単位以上修得見込みの者で, 全体の学習成績の状況が3.0以上の者。 B 全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
音 楽	下記のAまたはBの条件を満たす者。 A 学校長が認めた音楽活動を行い, 全体の学習成績の状況が4.0以上の者。 B 音楽の単位を6単位以上修得見込みの者で, 全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
文 芸	全体の学習成績の状況が3.8以上の者。
演 劇	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
放 送	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
デザイン	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。

5 推薦者

在学する高等(中等教育)学校長

6 試験科目

学科・コース		科 目
写 真		①書類選考 ②小論文(60分・800~1,000字) ③面接
映 画	映像表現・理論コース	①書類選考 ②小論文(100分・1,000字程度) ③面接
	監督コース	①書類選考 ②小論文(100分・1,000字程度) ③面接
	撮影・録音コース	①書類選考 ②小論文(100分・1,000字程度) ③面接
	演技コース	①書類選考 ②実技(基礎的な音声及び身体表現) ③面接 ※服装については、動きやすい普段着とします
美 術	絵画コース	①書類選考 ②実技(油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く〔6時間〕) ③面接
	版画専攻	①書類選考 ②実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く〔6時間〕) ③面接
	彫刻コース	①書類選考 ②実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く〔6時間〕) ③面接
	地域芸術専攻	①書類選考 ②小論文(60分・800字以内) ③面接
<p>※各コースとも、出願後すみやかに受験する専攻及び画材を選択してください(詳細は『募集要項』で指示します)</p> <p>※実技については、出願時に選択した描画材料を持参してください</p> <p>※キャンバス(F15号)、画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します</p> <p>※木炭紙の下敷きの用意はありません</p>		
音 楽	情報音楽コース	①書類選考 ②口頭試問 ③面接
	作曲専攻	①書類選考 ②実技((1)作曲 (2)任意の器楽曲の演奏) ③面接
	理論専攻	①書類選考 ②実技(任意の器楽曲の演奏) ③小論文(80分・1,000字程度) ④面接
	音楽文化 マネジメント専攻	①書類選考 ②実技((1)グループディスカッション (2)事前課題に関する質疑応答を含むプレゼンテーション) ③面接
	声楽専攻	①書類選考 ②実技(声楽) ③面接
	ピアノ専攻	①書類選考 ②実技(ピアノ) ③面接
	弦楽器専攻	①書類選考 ②実技(専攻する弦楽器の演奏審査) ③面接
	金管楽器専攻	①書類選考 ②実技(専攻する金管楽器の演奏審査) ③面接
	木管楽器専攻	①書類選考 ②実技(専攻する木管楽器の演奏審査) ③面接
打楽器専攻	①書類選考 ②実技(専攻する打楽器の演奏審査) ③面接	
<p>※課題曲等の詳細については、40~43ページ『2027年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください。</p> <p>※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください。詳細は『募集要項』で指示します。</p>		
文 芸		①書類選考 ②小論文または作文(60分・800字以内) ③面接
演 劇	舞台構想コース	①書類選考 ②作文(60分・600字) ③面接
	演技舞踊コース	①書類選考 ②実技((1)身体を使ったウォーミングアップ (2)試験時に指示されたテーマに沿った、台詞、ダンス、舞踊のいずれかを用いた自由表現(2分程度)) ③面接 ※希望する専攻に応じた格好(稽古着、レオタード、着物等、シューズ可)で参加してください
	デザイン技術コース	①書類選考 ②口頭試問(これまでの創作活動について) ③面接
放 送		①書類選考 ②作文(60分・600字程度) ③面接
デザイン		①書類選考 ②実技 鉛筆によるデッサン(4時間)またはデザインプレゼンテーション(4時間)のいずれかを選択 ※実技試験科目のいずれかを事前に選択する必要がありますので募集要項内で指定されたWebサイトより別途入力してください(詳細は『募集要項』で指示します) ※選択にかかわらず、デッサン用鉛筆、クリップ、消しゴム(練ゴム)、カッターナイフ等を持参してください(デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可) ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ③面接

7 試験会場

芸術学部校舎

8 出願者に対する課題等

写真学科、音楽学科情報音楽コース及び音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻、演劇学科デザイン技術コース及びデザイン学科志願者は、面接・実技試験の参考資料とするため、自作作品等を出願時に提出あるいは選考日当日に持参してください。（下表参照）

学 科	持 参 作 品 等
写 真	学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ（A4サイズ） （写真関連分野における実績のある場合は、関連資料〔写し可〕を加えても構いません） ※45ページの【写真学科】専門試験参考資料を参照
音 楽	情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるように準備して持参してください（口頭試問で参考にします） 音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻志願者は、600字程度の文章を音楽学科宛てに事前に提出してください ※課題等の詳細については、『2027年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください
演 劇	デザイン技術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ（A4サイズ）
デザイン	自作作品5点。 なお、映像作品についてはタブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

※持参作品等については、面接試験終了後に返却します。

9 募集要項

募集要項は7月上旬より公開予定です。詳細については、本学部ホームページにて確認してください。

10 出願資格確認等のための提出物

写真学科志願者のうちBまたはCの条件で出願する者は、出願資格の確認及び面接の参考とするため指定された推薦書を提出してください。また、音楽学科志願者のうちAの条件で出願する者は、出願資格の確認及び面接の参考とするため、「学校長が認めた音楽活動」を証明する資料を提出してください。審査の結果、条件を満たさないと判断された場合は、出願資格を充足しないことになり、出願書類は受理できません。

※証明する資料は出願期間内に提出してください（詳細は「募集要項」にてお知らせします）。

目次に戻る

学校推薦型選抜

学科・コース		項目	募集人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	競争率 (A/B)	2025年度競争率
写真学科			17	24 (9)	24 (9)	20 (8)	1.2倍	1.1倍
映画学科	映像表現・理論コース	監督コース	22	24 (11)	24 (11)	7 (6)	3.4倍	3.7倍
		撮影・録音コース		23 (10)	23 (10)	5 (3)	4.6倍	3.8倍
		演技コース		11 (7)	11 (7)	6 (5)	1.8倍	3.8倍
		計		31 (18)	31 (18)	6 (4)	5.2倍	7.8倍
	計	22	89 (46)	89 (46)	24 (18)	—	—	
美術学科	絵画コース	絵画専攻	5	8 (6)	7 (5)	3 (3)	2.3倍	※
		版画専攻		1 (1)	1 (1)	1 (1)	1.0倍	
		彫刻コース		1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0倍	
		地域芸術専攻		0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
	計	5	10 (7)	9 (6)	5 (4)	—	—	
音楽学科	音楽芸術コース	情報音楽コース	5	19 (8)	19 (8)	6 (5)	3.2倍	9.0倍
		作曲専攻		0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	※
		理論専攻		1 (1)	1 (1)	1 (1)	1.0倍	
		音楽文化マネジメント専攻		1 (1)	1 (1)	0 (0)	—	
		声楽専攻		3 (2)	3 (2)	2 (1)	1.5倍	
		ピアノ専攻		3 (1)	3 (1)	1 (0)	3.0倍	
		弦楽器専攻		0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
		金管楽器専攻		0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
		木管楽器専攻		1 (1)	1 (1)	0 (0)	—	
	打楽器専攻	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—			
計	5	28 (14)	28 (14)	10 (7)	—	—		
文芸学科			20	35 (17)	35 (17)	22 (13)	1.6倍	1.0倍
演劇学科	舞台構想コース	28	22 (21)	21 (20)	8 (8)	2.6倍	2.3倍	
			演技舞踊コース	41 (32)	41 (32)	11 (10)	3.7倍	※
			デザイン技術コース	16 (15)	16 (15)	9 (8)	1.8倍	
	計	28	79 (68)	78 (67)	28 (26)	—	—	
放送学科			5	33 (20)	33 (20)	9 (7)	3.7倍	3.7倍
デザイン学科			20	40 (32)	40 (32)	21 (19)	1.9倍	1.5倍
合計			122	338 (213)	336 (211)	139 (102)	—	—

()内は女子内数




※美術学科、音楽学科音楽芸術コース及び演劇学科演技舞踊コース、デザイン技術コースは2026年度コース・専攻改編のため、2025年度の競争率は掲載していません。

目次に戻る

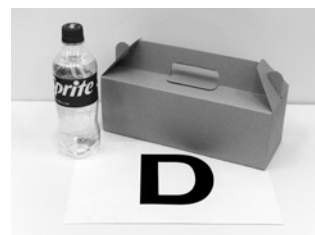
学科・コース	時間	字数	課 題
写 真	60分	800～ 1,000字	<p><小論文> ニューメディア, オールドメディア, 写真の関係について, あなたの考えを述べなさい。 注) オールドメディアとは, インターネット普及以前から存在する新聞, テレビ, ラジオ, 雑誌などの伝統的なメディアを指します。一方, ニューメディアは, インターネットの普及とともに登場したウェブメディアやSNSなど, 新しい情報伝達媒体の総称です。</p>
映 画 (演技コース を除く)	100分	1,000字 程度	<p><小論文> 次の文章を読んで, あなたの考える創作とはどんなものか自由に述べなさい。 ※村上春樹「風の歌を聴け」講談社, 2011年, 3～5ページ</p>
美 術 (彫刻コース 地域芸術専攻)	—	—	【当該専攻志願者なし】
音 楽 (音楽芸術コース 理論専攻)	80分	1,000字 程度	<p><小論文> 次のテーマから1つを選び1,000字程度の小論文を書きなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私にとって音楽とは 2. 理論専攻を選んだ理由 3. 私が研究したい内容とその理由
文 芸	60分	800字 以内	<p><小論文または作文> 次の二つのうち一つを選んで, 文章を書いてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「見送る人」が登場する作文を書いてください。 ②「豊かさ」について自由に論じてください。
演 劇 (舞台構想コース)	60分	600字	<p><作文> <small>ぎょくせきこんこう</small> 「玉石混交」をタイトルとし, あなたの思うことや物語を自由に作文してください。</p>
放 送	80分	800字 程度	<p><小論文> 地上波放送では, 『NNNドキュメント'25』(日本テレビ系列), 『テレメンタリー2025』(テレビ朝日系列)など, 多くのドキュメンタリー番組が, 深夜や早朝の時間帯に編成されている。このような放送の現状について, あなたの考えを論じなさい。</p>

※上記は, 昨年度試験内容であるため, 2027年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

学科・コース		科目・課題	
美術	映画 (演技)	<p>基礎的な音声及び身体表現</p> <p>発声 1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号()番、(氏名)です。出身は(都道府県名)で、学校は(学校名)高校を卒業する予定です。年齢は、()歳です。</p> <p>発声 2 次の文章を朗読してください。 ※伊丹十三「ぼくの伯父さん」株式会社つるとはな、2023年、288ページ</p> <p>動作 次の内容をしぐさのみで表現してください。 〔設定〕夏休みに補講で登校すると教室にはまだ誰もいない。花瓶の花に元気がないので気紛れに水を替えてみることにした。 花が生けられた花瓶を持って廊下の水道へやってくる。 花瓶から花を抜き、古くなった水を捨て軽く洗い、新しい水を入れる。 花の茎を洗って滑りを取り、花瓶に花を生け、形を整える。 教室に戻ろうとしたその時、不意に友人に声をかけられ、手にした花瓶を落としてしまう。 廊下に落ちた花瓶が砕ける。 花瓶の破片を拾うと指先が切れる。友人に言われるがままその場を任せ、保健室に向かう。 (そのまま退出してください)</p>	
	絵画専攻	<p>油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く (6時間) ≪油彩・アクリル選択者はF15号キャンバス、木炭選択者は木炭紙65cm×50cm、鉛筆選択者は画用紙65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ]</p> <p>じょうろ ×1 レンガ ×2 りんご ×1 洋梨 ×1 松ぼっくり ×1 ワイングラス ×1 布 ×1</p>	
	版画専攻	<p>デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く (6時間) ≪画用紙または木炭紙 65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ]</p> <p>エアプランツ ×1 植木鉢 ×1 毛糸 ×1 布 ×1</p>	
彫刻専攻	<p>デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く (6時間) ≪画用紙または木炭紙 65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ]</p> <p>竹箒 ×6 木箱 ×1</p>		
音楽	情報音楽コース	<p>口頭試問</p> <p>持参した演奏動画に対する口頭試問</p>	
	作曲専攻	【当該専攻志願者なし】	
	理論専攻	任意の器楽曲の演奏	
	音楽文化 マネジメント専攻	<p>①グループディスカッション 芸術文化を社会に広めるためには、どのようなことが重要なのか</p> <p>②口頭試問(事前課題に対する審査を含む)</p>	
	声楽専攻	<p>声楽^(*)</p> <p>(※)『2026年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択</p>	
	ピアノ専攻	<p>ピアノ^(*)</p> <p>(※)『2026年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択</p>	
	弦楽器専攻	【当該専攻志願者なし】	
	金管楽器専攻	【当該専攻志願者なし】	
木管楽器専攻	専攻する木管楽器の演奏審査		
打楽器専攻	【当該専攻志願者なし】		

学科・コース		科目・課題						
演劇	演技舞踊コース	<p>①身体を使ったウォーミングアップ</p> <p>②台詞、ダンス、舞踊のいずれかを用いた自由表現(3分程度)</p> <p>台詞や身体を用いた自由表現を行ってください。</p> <p>ただし、次の構成を取り入れること。</p> <p>「歩く」→「扉を開ける」→「入る」→「自由表現」→「扉から出る」</p> <p>※1 時間は3分以内とします。</p> <p>※2 道具や音楽などを用いることはできません。</p>						
	デザイン技術コース	<p>□頭試問(これまでの創作活動について)</p> <p>持参したポートフォリオについての口頭試問</p> <p>これから自分が芸術活動のテーマにしていきたいことは何ですか?</p> <p>専攻したい分野の舞台芸術における役割とは?</p>						
デザイン		<p>鉛筆によるデッサン(4時間)またはデザインプレゼンテーション(4時間)のいずれかを選択</p> <p>①鉛筆によるデッサン(4時間) <B3画用紙></p> <p>与えられた「スプライト」、「キャリースイーツボックス」、「Dがプリントされた用紙」と、「想定の間柱」をモチーフに、以下の条件にもとづき、台紙の上にセットし鉛筆でデッサンしなさい。</p> <p>[モチーフ]</p> <table border="0"> <tr> <td>スプライト</td> <td>×1</td> </tr> <tr> <td>キャリースイーツボックス</td> <td>×1</td> </tr> <tr> <td>Dがプリントされた用紙(A4版)</td> <td>×1</td> </tr> </table> <p>想定の間柱</p> <p>[条件]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 想定の間柱は、直径8cm、高さ2cmとし、質感、色の設定は自由とする。 2. Dがプリントされた用紙(A4版)は変形などの加工をせず、そのままの状態でもチーフの下に配置すること。 3. モチーフの固定には、ねりゴムを使用してもよい。 4. 台紙は描かなくてもよい。 5. 配布した白いコピー用紙(A3版)は下書きに使ってもよい。 6. 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。 <p>②デザインプレゼンテーション(4時間) <B3ケント紙+PMパッド1枚></p> <p>あなたの身近にある「商業エリア」にかかわる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。</p> <p>商業エリア(しょうぎょうえりあ)とは、商店街や商業施設を含む、商品販売やサービス提供といった商業活動が集中する区域のことである。個人経営の商店が集まるアーケード街から、大規模なショッピングセンター、アウトレットモール、百貨店、駅ビルまで、多様な業態が含まれる。</p> <p>この「商業エリア」においてどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。または、気づきにくい問題点や面白さに着目し、広く知ってもらうための提案でも構いません。</p> <p>例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」、または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」など、あなたが得意とする分野での実現可能な提案を求めます。</p> <p>[条件]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 用紙は2枚あり、PMパッド(薄い紙)1枚はアイデアやメモ用として自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。 2. 表現方法は自由とする。ただし、筆記用具は鉛筆および配布された色鉛筆を使用すること。定規類やコンパスの使用は不可とする。 3. 用紙は氏名欄が右上になるように横位置で使用し、氏名欄に答案が被らないようにすること。 4. 用紙は2枚とも提出とし、2枚の総合評価とする。 	スプライト	×1	キャリースイーツボックス	×1	Dがプリントされた用紙(A4版)	×1
スプライト	×1							
キャリースイーツボックス	×1							
Dがプリントされた用紙(A4版)	×1							



学校推薦型選抜

※上記は、昨年度試験内容であるため、2027年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。
 ※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2月・3月で3回入学者選抜を実施します！

芸術学部が実施する一般選抜には、学力検査のみ実施する【学力検査型】と学力検査と各学科の専門試験を実施する【専門試験併用型】があり、2月にN全学統一方式（第1期）【学力検査型】と【専門試験併用型】、3月にN全学統一方式（第2期）【学力検査型】を実施します。



学力検査型と専門試験併用型の違いについて

比較項目	学力検査型	専門試験併用型
方 式	日本大学が同一試験日に実施する試験です。	日本大学が同一試験日に実施する学力検査に加え、学科により専門試験期日が設定されます。
試験会場	全国各地の会場で実施します。 ※第1期と第2期で実施会場が異なります。	学力検査は全国各地の会場で実施します。 専門試験は芸術学部校舎で実施します。
併 願	日本大学の複数学部(学科)や、本学部内の複数学科の併願が可能です。	受験学科により併願が可能です。
試験科目	学科指定の試験科目(学力検査)のみ実施します。 各学科の専門試験は実施しません。	学力検査(外国語・国語)及び各学科の専門試験(学科・コースにより科目は異なります)を実施します。

一般選抜の流れ

【一般選抜募集要項の入手】

2026年10月頃に日本大学ホームページ上で公開する予定です。



【出 願】

2027年1月5日(火)より、日本大学入試センターで郵送受付を開始します
(出願締切日必着。また、試験により出願締切日は異なります)。

N全学統一方式における外部の英語資格・検定試験による外国語の得点換算

外部の英語資格・検定試験スコアを下記の換算基準により外国語の得点として利用することができます。

※スコアを提出した場合はN方式第1期の外国語の試験を受験する必要はありませんが、N方式第1期の外国語の試験を受験した場合は、高得点の方を合否判定に使用します。

英語資格・検定試験	得点換算			
	90点に換算	80点に換算	70点に換算	
実用英語技能検定CSEスコア(CSE2.0)	2,304以上	2,142以上	1,980以上	
TEAP(R/L+W/S)	309以上	267以上	225以上	
GTEC	1,180以上	1,055以上	930以上	
IELTS™	5.5以上	5.0以上	4.5以上	
TOEFL iBT®	2026年1月20日以前に実施した試験	72以上	57以上	42以上
	2026年1月21日以降に実施した試験	4以上	3.5以上	3以上

- 外部の英語試験・検定試験のスコアを換算した得点とN方式第1期の外国語試験の得点のうち高得点の方を外国語の得点として素点または標準化得点に換算し合否判定に使用します。
- いずれも4技能合計のスコア。異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。複数回受験した場合でも各技能の最高点の合算は行いません。
- 実用英語技能検定については、2級以上を受験し、4技能のすべてのスコアを取得していること(合格・不合格は問いません)。
- IELTS™はAcademic Moduleのオーバーオール・バンド・スコアを用います。
- TOEFL® PBTおよびTOEFL ITP®のスコアは利用できません。
- 各資格・検定試験のスコアは、2025年1月以降に受験したものに限り有効とします。

目次に戻る

N全学統一方式学力検査型は、日本大学の学部・学科間併願だけでなく、芸術学部内の複数学科への併願が可能です。あらゆる学問領域を網羅し、同じ学問領域においても多面的アプローチが可能な学部・学科を擁する日本大学だからこそ、1回の受験で複数の学科を併願することができるのは大きなメリットです。



POINT ▶ 1

学部間併願，同一学部内の複数学科への併願もできる
 複数の学部・学科を同一試験日，同一問題で併願できます。学部間併願はもちろん，同一学部内の複数学科への併願も可能で多彩な併願パターンを選択することができます。

POINT ▶ 2

入学検定料の負担を軽減

入学検定料は18,000円と受験生の負担を軽減し，安心して受験に臨んでいただけます。
 ※専門試験併用型の入学検定料については『一般選抜募集要項』をご確認ください。

N全学統一方式 (第1期) 学力検査型

実施学部	芸術	法	文理	経済	商	国際	危機管理	スポーツ科	理工	生産工	工	医	歯	松戸歯	生物資源科	薬	短大			
																	教養	ビジネス	デザイン	生活・建築

POINT ▶ 3

N全学統一方式第1期

全学部全学科において実施する日本最大級の統一入試

16学部86学科・短期大学部3学科，計89学科で実施します。関心のある学部・学科間で併願しやすく，学部選択で悩む受験生の進路選択の一助になります。

POINT ▶ 4

N全学統一方式第1期

2月1日実施の試験なので，早めの入試対策が可能！

首都圏の大学の一般選抜が本格化するのは2月10日前後。2月1日に実施するN全学統一方式第1期なら，受験の機会も増えて，併願計画が立てやすくなります。

POINT ▶ 5

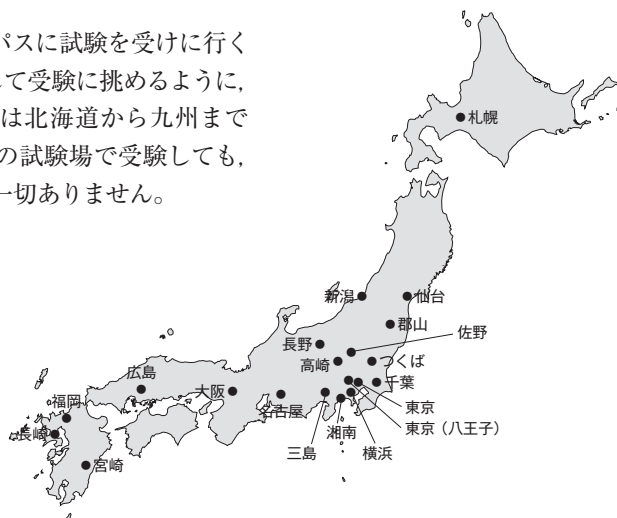
N全学統一方式第1期

全国各地に試験場を設置

遠方から首都圏のキャンパスに試験を受けに行く負担や不安がなく，安心して受験に挑めるように，N全学統一方式第1期では北海道から九州まで全国に試験場を設置。どの試験場で受験しても，合否判定に有利・不利は一切ありません。

試験場一覧 (昨年度参考)

札幌/仙台/郡山/つくば/佐野/高崎/千葉/東京/東京(八王子)/横浜/湘南/新潟/長野/三島/名古屋/大阪/広島/福岡/長崎/宮崎



※上記の試験場は予定であり，変更になる場合がありますので，必ず募集要項でご確認ください。また，試験場については，収容人員の関係上，希望にそえない場合があります。

N全学統一方式 (第2期) 学力検査型

実施学部	芸術	法	文理	経済	商	国際	危機管理	スポーツ科	理工	生産工	工	医	歯	松戸歯	生物資源科	薬	短大			
																	教養	ビジネス	デザイン	生活・建築

POINT ▶ 6

N全学統一方式第2期

試験日が3月4日。3月に受験することができる統一入試

3月に受験できる大学は比較的少ない上，多くの大学が大学入学共通テスト利用入試なので，今一度自分の力を発揮できるチャンスです。併願することにより一回の受験で合格のチャンスを広げることができます。

1 出願手続

学 科	出 願 期 間
全学科・コース	1月5日(火)～1月22日(金)

※ 映画、美術、音楽、演劇の各学科を志望する者は、コースを1つだけ選択してください

※ 出願方法、提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください

2 選考日及び試験科目

試験科目は学科により異なります。また、本試験では学科専門試験を実施しません。

選考日	学科 [コース]	募集 人員	教 科	科 目※1	時間	配 点	
2月1日 (月)	映画 [全コース]	10	国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	60分	100点	
	文芸	3	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	60分	100点	
	演劇 [全コース]	2	地理歴史	「歴史総合・日本史探究」「歴史総合・世界史探究」「地理総合・地理探究」	60分	100点	
			公民	「公共, 政治・経済」			
			数学①	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・数学B(数列)・ 数学C(ベクトル)」			
			理科	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」			
		放送	10	のうちから1科目選択 ※2			
		デザイン	2				
		写真	3	国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	60分	100点
		美術	1	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	60分	100点
	音楽 [全コース]	3					

※1 選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します

※2 「理科」については、医学部併願者は2科目選択、その他の出願者は1科目のみ選択となります。2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」「第2解答科目」に区分し、合否判定に使用する場合は、「第1解答科目」のみを使用します

3 合格発表及び入学手続

1 合格判定

すべての学科とも、学力検査の総合得点により合格判定を行います。

2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

合格発表日時	発表方法	入学手続締切期日
2月15日(月) 13:00	オンライン合否案内	3月5日(金)

所定の手続を行うことにより、3月11日(木)まで入学手続を延期することができます(二段階手続方式)。

本試験についての注意事項【重要】

各学科の試験教科及び科目については同ページに記載のとおりですが、同一時間割での実施の場合は、受験可能な科目が制限されます。また、併願する学部(学科)により受験教科及び科目が異なりますので、これらの点も含めた本試験の詳細については、[日本大学ホームページ](#)、[一般選抜募集要項](#)等で必ず確認してください。

一般選抜N全学統一方式(第1期)学力検査型結果

2026年度

目次に戻る

学科・コース		項目 募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A/B)	2025 年度 競争率	総点	合格者最低点	
									2026 年度	2025 年度
写真学科		3	86 (36)	86 (36)	23 (10)	3.7倍	9.8倍	200	120	141
映画学科	映像表現・理論コース	6	167 (82)	146 (71)	13 (7)	11.2倍	5.9倍	300	221	222
	監督コース		68 (36)	59 (34)	2 (1)	29.5倍	10.0倍		224	232
	撮影・録音コース		50 (28)	44 (26)	5 (3)	8.8倍	10.0倍		205	200
	演技コース		75 (44)	65 (40)	1 (1)	65.0倍	19.0倍		227	240
	計	6	360 (190)	314 (171)	21 (12)	—	—	—	—	—
美術学科	絵画専攻	1	78 (50)	75 (50)	2 (2)	37.5倍	※	200	141	※
	版画専攻		7 (5)	7 (5)	3 (3)	2.3倍			83	
	彫刻専攻		17 (11)	16 (10)	2 (1)	8.0倍			123	
	地域芸術専攻		5 (5)	4 (4)	0 (0)	—			—	
	計	1	107 (71)	102 (69)	7 (6)	—	—	—	—	—
音楽学科	情報音楽コース	3	85 (30)	84 (29)	4 (1)	21.0倍	61.0倍	200	145	178
	作曲専攻		34 (9)	34 (9)	3 (0)	11.3倍	※		147	※
	理論専攻		16 (9)	14 (8)	3 (2)	4.7倍			126	
	音楽文化マネジメント専攻		17 (11)	17 (11)	3 (2)	5.7倍			132	
	声楽専攻		11 (4)	11 (4)	1 (0)	11.0倍			108	
	ピアノ専攻		15 (12)	15 (12)	1 (1)	15.0倍			129	
	弦楽器専攻		4 (1)	3 (1)	0 (0)	—			—	
	金管楽器専攻		5 (4)	5 (4)	0 (0)	—			—	
	木管楽器専攻		8 (5)	7 (4)	0 (0)	—			—	
	打楽器専攻	2 (1)	2 (1)	0 (0)	—	—				
計	3	197 (86)	192 (83)	15 (6)	—	—	—	—	—	
文芸学科		3	198 (109)	165 (92)	20 (6)	8.3倍	7.9倍	300	212	224
演劇学科	舞台構想コース	2	68 (53)	59 (45)	0 (0)	—	8.4倍	300	—	224
	演技舞踊コース		81 (56)	61 (45)	0 (0)	—	※		—	※
	デザイン技術コース		21 (19)	17 (15)	7 (6)	2.4倍	186			
	計	2	170 (128)	137 (105)	7 (6)	—	—	—	—	—
放送学科		10	305 (188)	285 (177)	15 (10)	19.0倍	3.9倍	300	220	193
デザイン学科		2	175 (116)	112 (78)	4 (4)	28.0倍	30.3倍	300	224	252
合計		30	1,598 (924)	1,393 (811)	112 (60)	—	—	—	—	—

()内は女子内数

※美術学科、音楽学科音楽芸術コース及び演劇学科演技舞踊コース、デザイン技術コースは2026年度コース・専攻改編のため、2025年度の競争率及び合格者最低点は掲載していません。

一般選抜

1 出願手続・出願要件・併願

学 科	出 願 期 間
全学科・コース	1月5日(火)～1月22日(金)

※ 映画、美術、音楽、演劇の各学科を志望する者は、コースを1つだけ選択してください

※ 出願方法、提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください

《出願要件》

一般選抜N全学統一方式専門試験併用型に出願するためには、芸術学部学科・コースの学力検査型を1学科以上出願し、外国語(英語)及び国語を受験する必要があります(専門試験併用型のみ出願は認めません)。

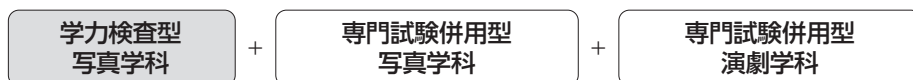
《併願について》

専門試験併用型では、2月2日(火)から2月8日(月)の間で各学科が専門試験を実施します。専門試験日が分かれば併願も可能なので、下記の専門試験日一覧表をご確認ください。

○ 併願が可能な例：



× 併願ができない例：



2 試験日程

学 科	2/1(月)	2/2(火)	2/3(水)	2/4(木)	2/5(金)	2/8(月)	
写 真	学力検査			専門試験			
映 画		専門試験					
美 術			専門試験※			専門試験※	
音 楽					専門試験		
文 芸		専門試験※				専門試験※	
演 劇				専門試験(2日間)			
放 送			専門試験				
デザイン		専門試験※					専門試験※

※ 美術学科・文芸学科・デザイン学科の専門試験日は、出願時に複数日程のうち1日を選択してください。

3 試験会場

学力検査	専門試験
全国各地の試験場(25ページ参照)	芸術学部校舎(東京都)

4 試験科目・配点

1 学力検査科目

教科	科目	試験時間
外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	60分
国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	60分

※ 全問マークシート方式

2 学科(コース)別試験科目・募集人員

学科	募集人員	コース	学力検査		専門試験						総合点
			外国語	国語	小論文	作文	実技	面接	配点	備考	
写真	10	—						●	200点		400点
映画	36	映像表現・理論			●			●	150点		350点
		監督			●			●	150点		350点
		撮影・録音			●			●	150点		350点
		演技					●	●	150点		350点
美術	14	絵画					●※	●	300点	※レポートを含む	500点
		彫刻	●	●	●※		●※	●	300点	※彫刻専攻は実技(レポートを含む), 地域芸術専攻は小論文	500点
音楽	21	情報音楽	●	●			●	●	300点		500点
		音楽芸術			●※		●	●	300点	※小論文は理論専攻のみ	500点
文芸	30	—						●	100点		300点
演劇	27	舞台構想				●		●	200点		400点
		演技舞踊					●	●	200点		400点
		デザイン技術					●	●	200点		400点
放送	38	—				●		●	200点		400点
デザイン	20	—					●	●	300点		500点

試験科目は、小論文、作文、実技、面接等で、学科・コース(専攻)により実施内容が異なります。詳細については次ページを参照してください。

5 合格発表及び入学手続

1 合格判定

すべての学科とも、学力検査及び専門試験の総合得点により合格判定を行います。

2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

合格発表日時	発表方法	入学手続締切期日
2月15日(月) 13:00	オンライン合否案内	3月5日(金)

所定の手続を行うことにより、3月18日(木)まで入学手続を延期することができます(二段階手続方式)。

目次に戻る

学科・コース		科目
写 真		面接 (A4判の芸術学部面接票を1枚および写真学科面接資料2枚を記入する時間を設けます 制限時間40分)
映 画	映像表現・理論コース	①小論文(80分・800字程度) ②面接
	監督コース	①小論文(80分・800字程度) ②面接
	撮影・録音コース	①小論文(80分・800字程度) ②面接
	演技コース	①実技(基礎的な音声及び身体表現) ②面接
美術 (2月3日試験 2月8日試験 共通)	絵画コース	絵画専攻 ①実技(油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接
		版画専攻 ①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接
	彫刻コース	彫刻専攻 ①実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く〔5時間30分〕) ②実技に関するレポート(30分・400字以内) ③面接
		地域芸術専攻 ①小論文(60分・800字以内) ②面接
※各コースとも、出願後すみやかに、受験する専攻及び画材を選択してください(詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ※実技については、出願時に選択した描画材料を持参してください ※キャンパス(F15号)、画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します ※木炭紙の下敷きの用意はありません		
音 楽	情報音楽コース	①口頭試問 ②面接
	音楽芸術コース	作曲専攻 ①実技(作曲) ②口頭試問(持参動画による演奏審査を含む) ③面接
		理論専攻 ①口頭試問(持参動画による演奏審査を含む) ②小論文(80分・1,000字程度) ③面接
		音楽文化 マネジメント専攻 ①実技((1)グループディスカッション (2)事前課題に関する質疑応答を含むプレゼンテーション) ②面接
		声楽専攻 ①実技(声楽) ②面接
		ピアノ専攻 ①実技(ピアノ) ②面接
		弦楽器専攻 ①実技(専攻する弦楽器の演奏審査) ②面接
		金管楽器専攻 ①実技(専攻する金管楽器の演奏審査) ②面接
		木管楽器専攻 ①実技(専攻する木管楽器の演奏審査) ②面接
打楽器専攻 ①実技(専攻する打楽器の演奏審査) ②面接		
※課題曲等の詳細については、40~43ページの『2027年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください(詳細は『一般選抜募集要項』で指示します)		
文 芸 (2月2日試験, 2月8日試験共通)		面接(当日面接前に、自己アピールとして「これまで頑張ってきたこと」「これから成し遂げたいこと」 「印象に残った本」等を記入する時間を設けます。制限時間30分)
演 劇	舞台構想コース	①作文(60分・600字) ②面接
	演技舞踊コース	①実技((1)身体を使ったウォーミングアップ (2)試験時に指示されたテーマに沿った、台詞、 ダンス、舞踊のいずれかを用いた自由表現(2分程度)) ②面接 ※希望する専攻に応じた格好(稽古着、レオタード、着物等、シューズ可)で参加してください
	デザイン技術コース	①実技(プレゼンテーション) ②面接
放 送		①作文(60分・600字程度) ②面接
デザイン (2月2日試験, 2月8日試験共通)		①実技 鉛筆によるデッサン(4時間)またはデザインプレゼンテーション(4時間)のいずれかを選択 ※実技試験科目のいずれかを事前に選択する必要がありますので『一般選抜募集要項』内で指定され たWebサイトより別途入力してください(詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ※選択にかかわらず、デッサン用鉛筆、クリップ、消しゴム(練ゴム)、カッターナイフ等を持参して ください(デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可) ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ②面接

■ 持参作品等

音楽学科情報音楽コース、音楽芸術コース作曲専攻・理論専攻・音楽文化マネジメント専攻、演劇学科デザイン技術コース及びデザイン学科志願者は面接・実技試験の参考資料とするため、自作作品等を出願時に提出あるいは専門試験日当日に持参してください(下表参照)。

学 科	持 参 作 品 等
音 楽	情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください(口頭試問で参考にします)
	音楽芸術コース作曲専攻・理論専攻志願者は、楽器または声楽の演奏動画(3分以内)を志願者本人であることがはっきり確認できる形で作成し(演奏部分は編集しないこと)、志願者本人が持参するスマートフォン、タブレット、PC等で再生できるよう準備して持参してください(口頭試問で参考にします)
	音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻志願者は、600字程度の文章を音楽学科宛てに事前に提出してください ※課題等の詳細については、『2027年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください
演 劇	デザイン技術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ(A4サイズ)
デザイン	自作作品5点。なお、映像作品については、タブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

※持参作品については、面接試験終了後に返却します

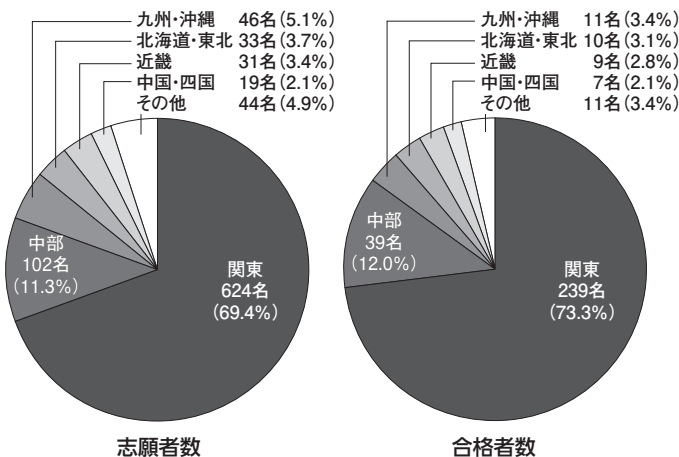
目次に戻る

学科・コース	項目	募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率(A/B)	2025年度競争率	総点	合格者最低点	
									2026年度	2025年度
写真学科		15	29 (11)	29 (11)	26 (11)	1.1倍	1.4倍	400	231	218
映画学科	映像表現・理論コース	40	65 (29)	62 (27)	20 (9)	3.1倍	2.7倍	350	216	208
	監督コース		49 (28)	48 (28)	7 (4)	6.9倍	7.2倍		240	240
	撮影・録音コース		21 (10)	21 (10)	10 (5)	2.1倍	2.8倍		199	216
	演技コース		58 (31)	57 (30)	4 (1)	14.3倍	14.0倍		246	231
計		40	193 (98)	188 (95)	41 (19)	—	—	—	—	—
美術学科	絵画コース	14	62 (38)	55 (37)	14 (13)	3.9倍	※	500	341	※
	版画専攻		7 (5)	7 (5)	4 (4)	1.8倍			353	
	彫刻専攻		15 (9)	13 (8)	5 (4)	2.6倍			338	
	地域芸術専攻		5 (5)	4 (4)	1 (1)	4.0倍			349	
計		14	89 (57)	79 (54)	24 (22)	—	—	—	—	—
音楽学科	情報音楽コース	25	60 (18)	60 (18)	20 (11)	3.0倍	3.2倍	500	321	340
	作曲専攻		8 (2)	8 (2)	4 (1)	2.0倍	※		354	※
	理論専攻		6 (2)	5 (2)	2 (2)	2.5倍			315	
	音楽文化マネジメント専攻		9 (4)	9 (4)	2 (1)	4.5倍			355	
	声乐専攻		9 (3)	8 (3)	1 (0)	8.0倍			348	
	ピアノ専攻		13 (11)	12 (11)	3 (3)	4.0倍			345	
	弦楽器専攻		4 (1)	3 (1)	2 (1)	1.5倍			332	
	金管楽器専攻		4 (3)	4 (3)	2 (1)	2.0倍			321	
	木管楽器専攻		6 (3)	6 (3)	3 (1)	2.0倍			335	
打楽器専攻	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—	—				
計		25	119 (47)	115 (47)	39 (21)	—	—	—	—	—
文芸学科		30	129 (63)	125 (63)	50 (29)	2.5倍	1.3倍	300	180	148
演劇学科	舞台構想コース	26	42 (35)	41 (34)	18 (15)	2.3倍	2.8倍	400	206	244
	演技舞踊コース		67 (43)	66 (43)	8 (5)	8.3倍	※		260	※
	デザイン技術コース		9 (8)	9 (8)	8 (7)	1.1倍	—		256	—
計		26	118 (86)	116 (85)	34 (27)	—	—	—	—	—
放送学科		50	125 (69)	122 (67)	70 (44)	1.7倍	1.9倍	400	179	196
デザイン学科		20	97 (61)	90 (57)	42 (30)	2.1倍	2.3倍	500	307	340
合計		220	899 (492)	864 (479)	326 (203)	—	—	—	—	—

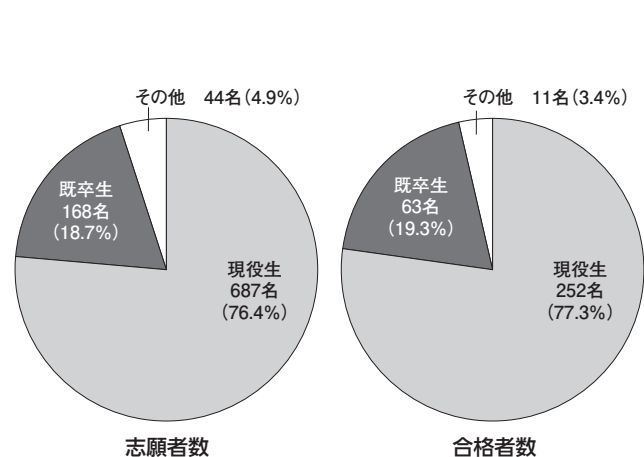
() 内は女子内数

※美術学科、音楽学科音楽芸術コース及び演劇学科演技舞踊コース、デザイン技術コースは2026年度コース・専攻改編のため、2025年度の競争率及び合格者最低点は掲載していません。

【出身校地域別人数】



【現役生・既卒生等別人数】







目次に戻る

学科・コース	時間	字数	課 題
映 画 (演技を除く)	80分	800字 程度	<p><小論文></p> <p>次の文章は、第19回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展における日本館の展示に際して、キュレーターを務めた青木淳氏の言葉です。</p> <p>ここで言及されている「間」について、具体例を示しながらあなたの考えを述べなさい。</p> <p style="text-align: right;">※「ヴェネチア・ビエンナーレ日本館公式サイト」より抜粋</p>
美 術 (彫刻コース 地域芸術専攻) (2月3日試験)	60分	800字 以内	<p><小論文></p> <p>日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、必要な問題点を述べてください。</p> <p>サイトスペシフィック・アート パーティシパトリー・アート エコロジー表現 アーカイブ・アート コラボレーション・アート 共同体 ローカルガバナンス 里山モデル 共鳴 まちづくり ステークホルダー</p>
美 術 (彫刻コース 地域芸術専攻) (2月9日試験)	—	—	【当該専攻志願者なし】
音 楽 (音楽芸術コース 理論専攻)	80分	1,000字 程度	<p><小論文></p> <p>次の三つのテーマの中から一つを選び、1,000字程度の小論文を書きなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私にとって音楽とは何か 2. 現代社会における音楽 3. 理論専攻を選んだ理由
演 劇 (舞台構想)	60分	600字	<p><作文></p> <p>「私たちに必要なもの」をタイトルとし、あなたの思うことや物語を自由に作文してください。</p>
放 送	60分	600字 程度	<p><作文></p> <p>「色」</p>



※上記は、昨年度試験内容であるため、2027年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

目次に戻る

学科・コース		科目・課題	
映画	演技コース	<p>基礎的な音声及び身体表現 発声1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号()番, (氏名)です。出身は(都道府県名)で, 学校は(学校名)高校を卒業する予定です。年齢は, ()歳です。</p> <p>発声2 次の文章を朗読してください。 ※山田洋次「共演者からいい芝居を引き出す天才」『キネマ旬報 2025年11月号増刊』株式会社キネマ旬報社, 2025年11月5日, 21ページ</p> <p>動作 次の内容をしぐさのみで表現してください。 [設定] 駐輪スペースのある遊歩道を歩きながら, スマートフォンで友達にメッセージを送っている。 後ろから, 自転車がベルを鳴らしながら自分の横をすり抜ける。 間一髪当たらなかったが, その反動で左側に駐輪していた自転車にぶつかる。 自転車が倒れ, さらにその隣に駐輪していた自転車が次々と倒れる。 何事も無かったかのように去っていく自転車を見ている。 倒れた自転車を起こす。 一人で起こしていると, 前, 後ろから歩いてきた人たちが手伝ってくれる。 全部起こし終えて歩いていく。 (そのまま退場してください)</p>	
	絵画コース	<p>①油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し, 人物を描く(5時間30分) <油彩・アクリル選択者はF15号キャンバス, 木炭選択者は木炭紙65cm×50cm, 鉛筆選択者は画用紙65cm×50cm> [モチーフ] 人物(コスチューム) コスチューム: スウェットシャツ, スウェットワイドパンツ, 靴下 布を敷いたモデル台(白) ×1</p> <p>②実技に関するレポート(30分・400字以内)</p>	
美術 (2月3日試験)	版画専攻	<p>①デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し, 静物を描く(5時間30分) <画用紙または木炭紙 65cm×50cm> [モチーフ] レモン ×6 ガラスビン ×1 布 ×1</p> <p>②実技に関するレポート(30分・400字以内)</p>	
	彫刻コース	<p>①デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し, モノと空間を描く (5時間30分) <画用紙または木炭紙65cm×50cm> [モチーフ] 木製テーブル ×1 セローム ×3 グリーンドラム ×2 マンダーカズラ ×1</p> <p>②実技に関するレポート(30分・400字以内)</p>	
美術 (2月9日試験)	絵画コース	<p>①油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し, 人物を描く(5時間30分) <油彩・アクリル選択者はF15号キャンバス, 木炭選択者は木炭紙65cm×50cm, 鉛筆選択者は画用紙65cm×50cm> [モチーフ] 人物(コスチューム) コスチューム: スウェットシャツ, スウェットワイドパンツ, 靴下 布を敷いたモデル台(白) ×1</p> <p>②実技に関するレポート(30分・400字以内)</p>	
	版画専攻	【当該専攻志願者なし】	

一般選抜

学科・コース		科目・課題	
美術 (2月9日試験)	彫刻コース 彫刻専攻	①デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く (5時間30分) <木炭紙または画用紙 65cm×50cm> [モチーフ] 木製テーブル ×1 モンステラ ×3 セローム ×1 グリーンドラム ×1 ②実技に関するレポート(30分・400字以内)	
			
音楽 (2月9日試験)	情報音楽コース	□頭試問	
	作曲専攻	①作曲 次の旋律を冒頭におき、フルート独奏(ピアノ伴奏無し)のための小品を作りなさい。 ②□頭試問(持参動画による演奏審査を含む)	
		理論専攻	□頭試問(持参動画による演奏審査を含む)
	音楽芸術コース 音楽文化マネジメント専攻	①グループディスカッション 日本社会における音楽や文化の役割とは何か ②□頭試問(持参動画による演奏審査を含む)	
		声乐専攻	声乐 ^(※) (※)『2026年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択
		ピアノ専攻	ピアノ ^(※) (※)『2026年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択
		弦楽器専攻	専攻する弦楽器の演奏審査
		金管楽器専攻	専攻する金管楽器の演奏審査
		木管楽器専攻	専攻する木管楽器の演奏審査
		打楽器専攻	【当該専攻志願者なし】
演技舞踊コース		①身体を使ったウォーミングアップ(10~15分) ②台詞、ダンス、舞踊のいずれかを用いた自由表現(3分程度) 台詞や身体を用いた自由表現を行ってください。 ただし、次の構成を取り入れること。 入口から入る → 自由表現 → 入口とは別の場所から出る → 終了 ※1 時間は3分以内とします。 ※2 道具や音楽などを用いることはできません。	
	デザイン技術コース	プレゼンテーション 課題A 課題B いずれかひとつを選びプレゼンテーションしてください。 課題A 別紙の戯曲(一部抜粋)を上演するとして、あなたの考えるデザインについて提案してください。デザインは美術、照明、衣裳、音響、舞台監督、上演空間、どんなアプローチでもかまいません。準備時間は60分です。その後、個別に口述で、5分以内で発表してもらいます。 ※エウリピデス作、山形治江訳「メディア」れんが書房新社、2005年、86~87ページ 課題B 30年後、日本国内の劇場で標準的な設備となっていると考えられるものについて提案してください。準備時間は60分です。その後、個別に口述で、5分以内で発表してもらいます。	
デザイン (2月2日試験)	鉛筆によるデッサン(4時間)またはデザインプレゼンテーション(4時間)のいずれかを選択。 ①鉛筆によるデッサン(4時間)<B3画用紙> 与えられたモチーフ、「コーヒーサーバー」、「カラー紙袋(緑)」、「キットカットバー」、「ラシャ紙(B4版・グレー)」「想定の方立方体」を以下の条件のもとで、台紙の上にセットし鉛筆でデッサンしなさい。 [モチーフ] コーヒーサーバー ×1 カラー紙袋(緑) ×1 キットカットバー ×1 ラシャ紙(B4版・グレー) ×1 想定の方立方体		
			

(続く)

学科・コース	科目・課題										
<p>デザイン (2月2日試験)</p>	<p>(続き)</p> <p>【条件】</p> <p>(1)「想定の方体」は、1辺5cmとし、質感や色は自由に設定すること。 (2)「キットカットバー」は、パッケージを開封せず、配付時の状態のまま使用すること。 (3)「ラシャ紙(B4版・グレー)」は、モチーフの下に敷いてセットすること。 (4)モチーフの固定には、持参したねりゴムを使用してもよい。 (5)配布された白の台紙は描かなくてよい。 (6)配布した白いコピー用紙(A3版)は下描きに使ってもよい。 (7)定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。 (8)用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。</p> <p>②デザインプレゼンテーション(4時間) < B3ケント紙+PMパッド1枚 > 私たちをとりまく自然環境との共生にかかわる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をなさい。</p> <p>自然環境と共生することの大切さや意味を考慮し、地球上で起きている様々な現象や問題点に対して、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。 気づきにくい問題点や素晴らしさに着目し広く知ってもらうための提案(広告や企画も可)でも構いません。</p> <p>【条件】</p> <p>(1)用紙は2枚あり、PMパッド(薄い紙)1枚はアイデアやメモとして自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。 (2)表現方法は自由(筆記用具は鉛筆および配布された色鉛筆を使用すること。定規類やコンパスの使用は不可とする) (3)用紙は氏名欄が右上になるように横位置で使用し、氏名欄に回答が被らないようにすること。 (4)用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。</p>										
<p>デザイン (2月10日試験)</p>	<p>鉛筆によるデッサン(4時間)またはデザインプレゼンテーション(4時間)のいずれかを選択。</p> <p>①鉛筆によるデッサン(4時間) < B3画用紙 > 与えられたモチーフ、「ラムネ飲料」、「ポッキー」、「木柄縄跳び」、「カラーペーパー(A4版・イエロー)と「想定の方体」を以下の条件にもとづき、台紙の上にセットし、鉛筆でデッサンしなさい。</p> <p>【モチーフ】</p> <table border="0"> <tr> <td>ラムネ飲料</td> <td>×1</td> </tr> <tr> <td>ポッキー</td> <td>×1</td> </tr> <tr> <td>木柄縄跳び</td> <td>×1</td> </tr> <tr> <td>カラーペーパー(A4版・イエロー)</td> <td>×1</td> </tr> <tr> <td>想定の方体</td> <td></td> </tr> </table> <p>【条件】</p> <p>(1)想定の方体は直径5cmとし、質感、色の設定は自由とする。 (2)配布された「木柄縄跳び」は、縄をほどかずに配付時の状態のまま使用すること。 (3)「ラムネ飲料」と「ポッキー」は、パッケージを開封せず、配付時の状態のまま使用すること。 (4)「カラーペーパー(A4版・イエロー)」は、モチーフの下に敷いてセットすること。 (5)モチーフの固定には、持参したねりゴムを使用してもよい。 (6)配布した白いコピー用紙(A3版)は下描きに使ってもよい。 (7)定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。 (8)用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。</p> <p>②デザインプレゼンテーション(4時間) < B3ケント紙+PMパッド1枚 > わたしたちを取り巻く環境と廃棄物(ごみ)にかかわる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をなさい。</p> <p>環境と廃棄物との関連性を考慮し、人間と両者との間にどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。気づきにくい問題点やこれから起こり得る問題点に着目し、広く知ってもらうための提案(広告や企画も可)でも構いません。</p> <p>【条件】</p> <p>(1)答案用紙は2枚あり、PMパッド(薄い紙)1枚はアイデアやメモとして自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。 (2)表現方法は自由(筆記用具は鉛筆および配布された色鉛筆を使用すること。定規類やコンパスの使用は不可とする) (3)用紙は氏名欄が右上になるように横位置で使用し、氏名欄に答案が被らないようにすること。 (4)用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。</p>	ラムネ飲料	×1	ポッキー	×1	木柄縄跳び	×1	カラーペーパー(A4版・イエロー)	×1	想定の方体	
ラムネ飲料	×1										
ポッキー	×1										
木柄縄跳び	×1										
カラーペーパー(A4版・イエロー)	×1										
想定の方体											



※上記は、昨年度試験内容であるため、2027年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。
 ※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

1 出願手続

学 科	出 願 期 間
全学科・コース	1月5日(火)～2月25日(木)

※ 映画、美術、音楽、演劇の各学科を志望する者は、コースを1つだけ選択してください
 ※ 出願方法、提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください

2 選考日及び試験科目

試験科目は学科により異なります。また、本試験では学科専門試験を実施しません。

選考日	学科 [コース]	募集 人員	教 科	科 目※1	時間	配 点
3月4日 (木)	映画 [全コース]	2	国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	60分	100点
			外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	60分	100点
	文芸	3	地理歴史	「歴史総合・日本史探究」「歴史総合・世界史探究」「地理総合・地理探究」	60分	100点
			公民	「公共, 政治・経済」 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・数学B(数列)・ 数学C(ベクトル)」		
	演劇 [全コース]	2	数学①	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」		
			理科	のうちから1科目選択 ※2		
	放送	2	理科	のうちから1科目選択 ※2		
			公民	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・数学B(数列)・ 数学C(ベクトル)」		
	写真	2	国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	各 60分	200点 (100点 ×2)
			外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」		
デザイン	2	地理歴史	「歴史総合・日本史探究」「歴史総合・世界史探究」「地理総合・地理探究」			
		公民	「公共, 政治・経済」 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・ 数学B(数列)・数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)」			
美術 [全コース]	1	数学①	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・ 数学B(数列)・数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)」			
		数学②	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」			
音楽 [全コース]	2	理科	のうちから2科目選択 ※2 (ただし, 「理科」間の組合せは不可)			
		国語	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」	60分	100点	
音楽 [全コース]	2	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	60分	100点	

※1 選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。
 ※2 「理科」については、医学部併願者は2科目選択、その他の出願者は1科目のみ選択となります。2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」「第2解答科目」に区分し、合否判定に使用する場合は、「第1解答科目」のみを使用します。

3 合格発表及び入学手続

1 合格判定

すべての学科とも、学力検査の総合得点により合格判定を行います。

2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

合格発表日時	発表方法	入学手続締切期日
3月15日(月) 13:00	オンライン合否案内	3月18日(木)

入学手続については、二段階手続は行いません。

本試験についての注意事項【重要】

各学科の試験教科及び科目については上記に記載のとおりですが、同一時間割での実施の場合は、受験可能な科目が制限されます。また、併願する学部(学科)により受験教科及び科目が異なりますので、これらの点も含めた本試験の詳細については、[日本大学ホームページ](#)、[一般選抜募集要項](#)等で必ず確認してください。

一般選抜N全学統一方式(第2期)結果

目次に戻る

学科・コース		項目 募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A/B)	2025 年度 競争率	総点	合格者最低点	
									2026 年度	2025 年度
写真学科		2	30(13)	24(11)	4(1)	6.0倍	18.0倍	200	153	161
映画学科	映像表現・理論コース	2	27(16)	24(15)	1(0)	24.0倍	14.5倍	300	245	212
	監督コース		23(11)	17(8)	0(0)	—	7.0倍		—	218
	撮影・録音コース		6(2)	6(2)	1(0)	6.0倍	—		232	—
	演技コース		13(6)	12(6)	0(0)	—	17.0倍		—	236
	計	2	69(35)	59(31)	2(0)	—	—	—	—	—
美術学科	絵画専攻	1	10(5)	5(2)	0(0)	—	※	200	—	※
	版画専攻		1(0)	1(0)	1(0)	1.0倍			110	
	彫刻専攻		1(0)	0(0)	0(0)	—			—	
	地域芸術専攻		3(1)	2(1)	0(0)	—			—	
	計	1	15(6)	8(3)	1(0)	—	—	—	—	—
音楽学科	情報音楽コース	2	26(7)	23(5)	1(0)	23.0倍	30.0倍	200	163	155
	作曲専攻		18(4)	16(4)	0(0)	—	—		—	
	理論専攻		11(2)	8(2)	0(0)	—	—		—	
	音楽文化マネジメント専攻		4(2)	4(2)	1(1)	4.0倍	—		165	
	音楽芸術コース 声楽専攻		2(1)	2(1)	0(0)	—	※		—	
	ピアノ専攻		4(3)	4(3)	0(0)	—			—	
	弦楽器専攻		0(0)	0(0)	0(0)	—			—	
	金管楽器専攻		0(0)	0(0)	0(0)	—			—	
	木管楽器専攻		1(1)	1(1)	0(0)	—			—	
	打楽器専攻	0(0)	0(0)	0(0)	—	—	—			
計	2	66(20)	58(18)	2(1)	—	—	—	—	—	
文芸学科		3	36(13)	30(12)	5(1)	6.0倍	5.8倍	300	208	218
演劇学科	舞台構想コース	2	18(15)	17(14)	4(2)	4.3倍	7.0倍	300	209	209
	演技舞踊コース		19(11)	14(10)	0(0)	—	※		—	※
	デザイン技術コース		3(2)	2(2)	0(0)	—	—		—	
	計	2	40(28)	33(26)	4(2)	—	—	—	—	—
放送学科		2	56(33)	48(29)	3(1)	16.0倍	3.9倍	300	245	198
デザイン学科		2	59(29)	46(25)	4(1)	11.5倍	30.3倍	200	163	155
合計		16	371(177)	306(155)	25(7)	—	—	—	—	—

()内は女子内数

※美術学科、音楽学科音楽芸術コース及び演劇学科演技舞踊コース、デザイン技術コースは2026年度コース・専攻改編のため、2025年度の競争率及び合格者最低点は掲載していません。

目次に戻る

募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員		
		外国人留学生	帰国生	校友枠
写 真		若干名	若干名	若干名
映 画	映像表現・理論, 監督, 撮影・録音, 演技			
美 術	絵画, 彫刻			
音 楽	情報音楽, 音楽芸術	5名		
文 芸		若干名	若干名	
演 劇	舞台構想, 演技舞踊, デザイン技術			
放 送		10名		
デザイン				

※ 映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する者は, コースを1つだけ選択してください

なお, 学科・コースの併願はできません

※ 外国人留学生・帰国生選抜の文芸学科及びデザイン学科募集人員は, 両方の入学者選抜の合計数となります

外国人留学生・帰国生選抜

出願資格・出願方法等の詳細は, [日本大学ホームページ](#)を確認してください。

なお, 出願受付は日本大学本部学務部入学課 (03-5275-8311) にて行います。

試験諸日程

内 容	期 日
出 願 期 間	~2026年10月30日(金) ※1
一 次 試 験 日	2026年12月6日(日) ※2
一次試験合格発表日	2026年12月8日(火) (オンライン合否案内) ※2
選 考 日	2026年12月13日(日) ※3
合 格 発 表 日	2026年12月21日(月) (オンライン合否案内)
入 学 手 続 期 間	2026年12月21日(月)~2027年1月15日(金) ※4

※1 出願受付開始日については, [日本大学ホームページ](#)を確認してください

※2 外国人留学生選抜デザイン学科志願者のみ対象とします

※3 外国人留学生選抜デザイン学科については二次試験日

※4 所定の手続を行うことにより, 2027年3月11日(木)まで入学手続を延期することができます(二段階手続方式)

校友枠選抜

出願資格・出願方法等の詳細は, 7月上旬頃より公開予定の「校友枠選抜要項」で確認してください。

なお, 事前に日本大学校友会本部事務局にて, 出願資格の確認手続が必要となります。

試験諸日程

内 容	期 日
出 願 期 間	2026年11月16日(月)~11月20日(金)
選 考 日	2026年12月13日(日)
合 格 発 表 日	2026年12月21日(月) (オンライン合否案内)
入 学 手 続 期 間	2026年12月21日(月)~2027年1月15日(金) ※

※ 入学時納入金は, 校友枠選抜は入学手続期間内に一括納入となります

目次に戻る

編入学・転部試験

本学部では、「欠員補充」という形で編入学試験（2年次，3年次）及び本学学部在学学生を対象とした転部試験（2年次）を実施しています。

募集人員はいずれも若干名で，募集する学科・コースは年度により異なる場合があります。

なお，編入学試験（2年次）及び転部試験については，過去3年間に於いて全学科・コースでの募集を行っています。

また，編入学試験（3年次）の過去3年間の募集状況については，美術・音楽・デザイン学科で募集がありました。

2027年度の募集については，5月頃に公開する予定です。詳細については，本学部ホームページを確認いただくか，本学部入試係までお問い合わせください。

編入学・転部試験結果

[昨年度参考]

2026年度

※募集人員は，各学科すべて若干名

項目 学科・コース		編入学試験（2年次）			転部試験（2年次）			編入学試験（3年次）		
		志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
写真学科		2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	実施せず		
映画学科	映像表現・理論コース	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	実施せず		
	監督コース	3 (1)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	撮影・録音コース	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	演技コース	2 (1)	2 (1)	1 (0)	2 (1)	2 (1)	0 (0)			
	計	8 (2)	8 (2)	1 (0)	2 (1)	2 (1)	0 (0)			
美術学科	絵画コース	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (3)	2 (1)	0 (0)
	彫刻コース	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (3)	2 (1)	0 (0)
音楽学科	作曲・理論コース	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	音楽教育コース	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	声楽コース	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	ピアノコース	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	弦管打楽コース	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	情報音楽コース	3 (1)	3 (1)	2 (1)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	3 (1)	3 (1)	2 (1)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
文芸学科		3 (2)	3 (2)	1 (1)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	実施せず		
演劇学科	舞台構想コース	4 (4)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	実施せず		
	演技コース	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	舞台美術コース	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	舞踊コース	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計	8 (8)	8 (8)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)			
放送学科		3 (2)	3 (2)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	実施せず		
デザイン学科		1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)
合計		29 (16)	28 (16)	9 (5)	10 (3)	8 (3)	1 (1)	5 (4)	3 (2)	0 (0)

()内は女子内数

各種選抜等

目次に戻る

〈音楽学科〉入試情報事前登録フォームへの登録のお願い

音楽学科では受験曲目や事前課題、伴奏楽譜の送付などを確認するため、志願者全員が〈音楽学科〉入試情報事前登録フォームに登録する必要があります。コース・専攻を問わず、各受験種別ごとの登録期間を確認し、〈音楽学科〉入試情報事前登録フォームに登録してください。

同一年度に複数回受験される場合であっても、受験種別ごとに内容をご登録ください(すべての入学者選抜共通)。

各登録期間に登録がない場合は、音楽学科より連絡が行くことがありますので、必ず折り返しご連絡ください。

〈音楽学科〉入試情報事前登録フォーム：<https://music.art.nihon-u.ac.jp/exam.html>



入試情報事前登録フォーム

情報音楽コース

総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制)/学校推薦型選抜(付属高等学校等)/N全学統一方式専門試験併用型/外国人留学生・帰国生/校友枠選抜

①口頭試問

持参した演奏動画(3~5分程度)に対する口頭試問
自身が演奏している動画をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください。動画はソロでも合奏、バンド演奏でも構いませんが、演奏している受験生の顔及び全身が確認できるものとします。楽器や楽曲は自由で1曲とします。また、動画の音源は編集しないこと。演奏動画と演奏音が一致していることが条件です。

②面接

編入学試験(含む転部試験)2年次

①書類選考

②口頭試問

持参した演奏動画(3~5分程度)に対する口頭試問
自身が演奏している動画をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください。動画はソロでも合奏、バンド演奏でも構いませんが、演奏している受験生の顔及び全身が確認できるものとします。楽器や楽曲は自由で1曲とします。また、動画の音源は編集しないこと。演奏動画と演奏音が一致していることが条件です。

③面接

音楽芸術コース

作曲専攻

総合型選抜

①実技(作曲・80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

②口頭試問(持参する自作品の審査を含む)

作品1曲(編成・長さは自由)を作曲し、楽譜のコピーを3部、綴じた形で試験当日に持参。楽譜は返却しません。

③面接

学校推薦型選抜(公募制)/学校推薦型選抜(付属高等学校等)/外国人留学生・帰国生選抜/校友枠選抜

①実技

(1)作曲(80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

(2)任意の器楽曲の演奏

作曲専攻・理論専攻志願者実技共通課題に準じる。

②面接

N全学統一方式専門試験併用型

①実技(作曲・80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

②口頭試問(持参動画による演奏審査を含む)

楽器または声楽の演奏動画(3分以内)を志願者本人であることがはっきり確認できる形で作成し(演奏部分は編集しないこと)、志願者本人が持参するスマートフォン、タブレット、PC等で再生できるよう準備して試験当日持参。その動画に対して口頭試問を行います。

③面接

編入学試験(含む転部試験)2年次

①書類選考

②実技(作曲・80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

③口頭試問(持参する自作品の審査を含む)

作品1曲(編成・長さは自由)を作曲し、楽譜のコピーを3部、綴じた形で試験当日に持参。楽譜は返却しません。

④面接

理論専攻

総合型選抜

①実技(任意の器楽曲の演奏)

作曲専攻・理論専攻志願者実技共通課題に準じる。

②口頭試問(持参する音楽に関するレポートの審査を含む)

音楽に関するレポート1点(書式・長さは自由、手書きに限る)を作成し、コピーを3部、綴じた形で試験当日に持参。レポートは返却しません。

③面接

学校推薦型選抜(公募制)/学校推薦型選抜(付属高等学校等)/外国人留学生・帰国生選抜/校友枠選抜

①実技(任意の器楽曲の演奏)

作曲専攻・理論専攻志願者実技共通課題に準じる。

②小論文(80分・1000字程度)

音楽に関する小論文

③面接

N全学統一方式専門試験併用型

①口頭試問(持参動画による演奏審査を含む)

楽器または声楽の演奏動画(3分以内)を志願者本人であることがはっきり確認できる形で作成し(演奏部分は編集しないこと)、志願者本人が持参するスマートフォン、タブレット、PC等で再生できるよう準備して試験当日持参。その動画に対して口頭試問を行います。

②小論文(80分・1000字程度)

音楽に関する小論文

③面接

編入学試験（含む転部試験）2年

①書類選考

②実 技（任意の器楽曲の演奏）

作曲・理論志願者実技共通課題に準じる。

③口頭試問（持参する音楽に関するレポートの審査を含む）

音楽に関するレポート1点（書式・長さは自由、手書きに限る）を作成し、コピーを3部、綴じた形で試験当日に持参。レポートは返却しません。

④面 接

【作曲専攻・理論専攻志願者実技共通課題】

器楽の楽曲、1曲の演奏。音楽のジャンル、選曲、楽器の種類は自由。ただしピアノ伴奏はつけられません。演奏は途中で止める場合もあります。楽譜を見ながらの演奏も認めます。大型楽器で音楽学科が準備できるものはピアノのみになります。アンプ、スピーカー、マイクといった機材等や伴奏用カラオケ音源の使用は認めません。

※不明点がある場合は必ず音楽学科まで問い合わせてください。

音楽文化マネジメント専攻

総合型選抜/学校推薦型選抜（公募制）/学校推薦型選抜（付属高等学校等）/N 全学統一方式専門試験併用型/外国人留学生・帰国生/校友枠選抜

①実 技

(1) グループディスカッション

試験会場にて音楽、文化・芸術活動、アートマネジメントに関連するテーマを提示します。そのテーマについて、少人数でディスカッションを行います。

(2) 事前課題に関する質疑応答を含むプレゼンテーション

あなたが生まれ育った音環境や音楽環境、そしてこれまでどのように音楽と関わってきたかについて、600字程度の文章（400字詰め原稿用紙2枚使用、手書きに限る、すべての原稿用紙に必ず氏名を記載）を作成し、出願締切日までに郵送にて提出すること（簡易書留郵便に限る・出願締切日必着）。文章の郵送先は下記住所です。くれぐれも間違えないように注意してください。当日は、提出された文章に関するプレゼンテーションと質疑応答を行います。なお、提出された文章は返却しません。

●郵送先 〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1

日本大学芸術学部音楽学科

音楽文化マネジメント専攻入試事前提出係

②面 接

編入学試験（含む転部試験）2年

①書類選考

②実 技

(1) グループディスカッション

試験会場にて音楽、文化・芸術活動、アートマネジメントに関連するテーマを提示します。そのテーマについて、少人数でディスカッションを行います。

(2) 事前課題に関する質疑応答を含むプレゼンテーション

あなたが生まれ育った音環境や音楽環境、そしてこれまでどのように音楽と関わってきたかについて、600字程度の文章（400字詰め原稿用紙2枚使用、手書きに限る、すべての原稿用紙に必ず氏名を記載）を作成し、出願締切日までに郵送にて提出すること（簡易書留郵便に限る・出願締切日必着）。文章の郵送先は下記住所です。くれぐれも間違えないように注意してください。当日は、提出された文章に関するプレゼンテーションと質疑応答を行います。なお、提出された文章は返却しません。

●郵送先 〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1

日本大学芸術学部音楽学科

音楽文化マネジメント専攻入試事前提出係

③面 接

声楽専攻

総合型選抜/学校推薦型選抜（公募制）/学校推薦型選抜（付属高等学校等）/N 全学統一方式専門試験併用型/外国人留学生・帰国生/校友枠選抜

①実 技（声楽）

声楽専攻実技共通課題に準じる。

②面 接

【声楽専攻実技共通課題】

次の課題曲A・課題曲Bより各1曲ずつ選曲してください。当日は、課題曲に続けて自由曲1曲を歌ってください。自由曲は課題曲Aまたは課題曲Bより選曲しても構いませんが、選択した2曲と重複してはいけません。いずれも原語で暗譜とします。また、各曲の調性は任意とします。

伴奏楽譜（全3曲）については伴奏楽譜の提出についての要領に従って郵送してください。

課題曲A. イタリア歌曲

1	MANCIA, L.	Star vicino
2	SCARLATTI, A.	Già il sole dal Gange
3	SCARLATTI, A.	Sento nel core
4	BONONCINI, G. B.	Per la gloria d'adorarvi
5	GASPARINI, F.	Lasciar d'amarti
6	DURANTE, F.	Vergin, tutto amor
7	作者不詳	Nina
8	GASPARINI, F.	Caro laccio
9	PAISIELLO, G.	Nel cor più non mi sento
10	GIORDANI, T.	Caro mio ben

※作曲者は全音楽譜出版社のイタリア歌曲集「新版」による

課題曲B. 日本歌曲

1	土井晩翠 作詞	滝廉太郎 作曲	山田耕筰 編曲	荒城の月
2	武島羽衣 作詞	滝廉太郎 作曲		花
3	吉丸一昌 作詞	中田章 作曲		早春賦
4	勝田香月 作詞	杉山長谷夫 作曲		出船
5	鹿島鳴秋 作詞	弘田竜太郎 作曲		浜千鳥
6	林古溪 作詞	成田為三 作曲		浜辺の歌（2番まで）
7	北原白秋 作詞	山田耕筰 作曲		鐘が鳴ります
8	北原白秋 作詞	山田耕筰 作曲		この道
9	清水重道 作詞	信時潔 作曲		行々子
10	北見志保子 作詞	平井康三郎 作曲		平城山

楽譜は下記の出版社のものを使用してください。

●A. イタリア歌曲

全音楽譜出版社 イタリア歌曲集「新版」

●B. 日本歌曲

全音楽譜出版社 日本名歌110曲集

●自由曲

オペラ・アリアを歌う場合、作曲者、オペラの題名、アリアの題名を明記し、原語・原調で歌うこと（ただし、習慣的に認められている歌劇「連隊の娘」をイタリア語版で歌うことや、歌劇「セビリアの理髪師」より「今の歌声は」をへ長調で歌うことは認める。わからないことがある場合は必ず確認すること）。オペラ・アリア集、または総譜（スコア）として出版されている楽譜を「伴奏楽譜の送付について」の要領にしたがって送付すること。

伴奏楽譜の送付方法について

●伴奏楽譜は、本学が指定する出版社の楽譜をスキャンし、PDF形式のデジタルデータとして作成の上、下記送付先の

メールアドレス宛に送付すること。A4サイズ1枚分を1ページとしてPDF化し、1曲分のすべてのページが1つのPDFファイルに収まるよう結合すること。また、できる限りファイル名は「課題曲A 志願者氏名」「課題曲B 志願者氏名」「自由曲 志願者氏名」のように編集すること。

スキャンは、カメラやスマートフォン等を使用しても差し支えないが、JPEG、PNG等の画像データは不鮮明となるおそれがあるため不可とする。

※移調等の理由により楽譜を自作する場合は、本学が指定する出版社の楽譜に準じた内容とし、鮮明な自筆譜またはコンピュータによる浄書をPDF化して提出すること

- 送付先メールアドレス ongaku@nihon-u.ac.jp
- メール送付の際は、件名を「2027年度 音楽学科〇〇選抜 伴奏楽譜送付」とし、本文には受験番号(事前に判明している場合)、氏名(ふりがな)を必ず記載すること。

※〇〇の部分には、受験する種別(「総合型選抜」など)を入力してください。

編入学試験 (含む転部試験) 2年

①書類選考

②実 技 (声楽)

P41 総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制)/学校推薦型選抜(付属高等学校等)/N全学統一方式専門試験併用型/外国人留学生・帰国生/校友枠選抜の声楽専攻実技共通課題に準じる。

③面 接

ピアノ専攻

総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制)/学校推薦型選抜(付属高等学校等)/N全学統一方式専門試験併用型/外国人留学生・帰国生/校友枠選抜

①実 技 (ピアノ)

バロック・古典・ロマン・近現代の4つの時代区分の中から、1曲または複数曲を組み合わせ、6分~10分程度演奏すること。

※すでに出版されている作品であること

※10分以上の選曲可、ただし演奏を途中で止めることがある

※繰り返しは省略し、暗譜で演奏すること

※ソナタや組曲の抜粋可、変奏曲の抜粋は認めない

②面 接

編入学試験 (含む転部試験) 2年

①書類選考

②実 技 (ピアノ)

バロック・古典・ロマン・近現代の4つの時代区分の中から、1曲または複数曲を組み合わせ、6分~10分程度演奏すること。

※すでに出版されている作品であること

※10分以上の選曲可、ただし演奏を途中で止めることがある

※繰り返しは省略し、暗譜で演奏すること

※ソナタや組曲の抜粋可、変奏曲の抜粋は認めない

③面 接

弦楽器専攻

総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制)/学校推薦型選抜(付属高等学校等)/N全学統一方式専門試験併用型/外国人留学生・帰国生/校友枠選抜

①実 技 (専攻する弦楽器の演奏審査)

専攻楽器を次から選択し、任意の専攻楽器の楽曲(伴奏なし)を演奏してください(暗譜の必要はありません)。

- ヴァイオリン ●ヴィオラ ●チェロ
- コントラバス ●クラシック・ギター

②面 接

編入学試験 (含む転部試験) 2年

①書類選考

②実 技 (専攻する弦楽器の演奏審査)

P42 総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制)/学校推薦型選抜(付属高等学校等)/N全学統一方式専門試験併用型/外国人留学生・帰国生/校友枠選抜の実技(専攻する弦楽器の演奏審査)に準じる。

③面 接

金管楽器専攻

総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制)/学校推薦型選抜(付属高等学校等)/N全学統一方式専門試験併用型/外国人留学生・帰国生/校友枠選抜

①実 技 (専攻する金管楽器の演奏審査)

専攻楽器を次から選択し、任意の専攻楽器の楽曲(伴奏なし)を演奏してください(暗譜の必要はありません)。

- ホルン ●トランペット ●トロンボーン
- ユーフォニアム ●チューバ

②面 接

編入学試験 (含む転部試験) 2年

①書類選考

②実 技 (専攻する金管楽器の演奏審査)

P42 総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制)/学校推薦型選抜(付属高等学校等)/N全学統一方式専門試験併用型/外国人留学生・帰国生/校友枠選抜の実技(専攻する金管楽器の演奏審査)に準じる。

③面 接

木管楽器専攻

総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制)/学校推薦型選抜(付属高等学校等)/N全学統一方式専門試験併用型/外国人留学生・帰国生/校友枠選抜

①実 技 (専攻する木管楽器の演奏審査)

専攻楽器を次から選択し、任意の専攻楽器の楽曲(伴奏なし)を演奏してください(暗譜の必要はありません)。

- フルート ●オーボエ ●クラリネット
- サクソフォーン ●ファゴット

②面 接

編入学試験 (含む転部試験) 2年

①書類選考

②実 技 (専攻する木管楽器の演奏審査)

P42 総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制)/学校推薦型選抜(付属高等学校等)/N全学統一方式専門試験併用型/外国人留学生・帰国生/校友枠選抜の実技(専攻する木管楽器の演奏審査)に準じる。

③面 接

打楽器専攻

総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制)/学校推薦型選抜(付属高等学校等)/N全学統一方式専門試験併用型/外国人留学生・帰国生/校友枠選抜

①実 技 (専攻する打楽器の演奏審査)

各楽器の課題曲は次の通りです(暗譜の必要はありません)。

a. 小太鼓受験者

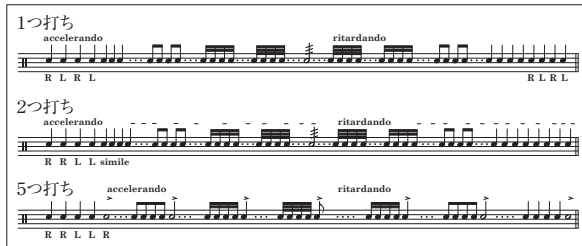
次の[1]及び[2]を演奏してください。

[1]基本奏法—1つ, 2つ, 5つ打ちより当日指定します(本

学所有の練習台を使用します)

[2] 任意の楽曲または練習曲

※小太鼓受験者は、[2]で使用する自身の小太鼓、それに付随する必要なもの(スタンド、スティック等)を持参してください。
[1]で使用する練習台は、本学で用意します。



b. マリンバ受験者

次の[1]及び[2]を演奏してください。

[1] 小太鼓の基本奏法—2つ打ち(本学所有の練習台を使用します)

[2] 任意の楽曲または練習曲(本学所有のマリンバを使用します)

※マリンバ受験者は[1]で使用するスティック、[2]で使用するマレット等を持参してください。

②面接

編入学試験(含む転部試験)2年

①書類選考

②実技(専攻する打楽器の演奏審査)

P42, 43 総合型選抜/学校推薦型選抜(公募制)/学校推薦型選抜(付属高等学校等)/N全学統一方式専門試験併用型/外国人留学生・帰国生/校友枠選抜の実技(専攻する打楽器の演奏審査)に準じる。

③面接

【弦楽器専攻・金管楽器専攻・木管楽器専攻共通】

●試験曲目の参考として、過去の課題曲が下記URL及びQRコードから参照できます。

https://www.art.nihon-u.ac.jp/admission/recruitment/general/pdf/2023_music_kadai.pdf



編入学試験3年次について

編入学(含む転部)は旧学則のコース編成となるため、一部カリキュラムが異なります。詳細は音楽学科までお問い合わせください。

作曲・理論コース

編入学試験3年次

a. 作曲志願者

①書類選考

②実技(作曲・80分)

与えられた短い旋律を冒頭の素材とした、指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

③口頭試問(持参する自作品の審査を含む)

作品1曲(編成・長さは自由)を作曲し、楽譜のコピーを3部、綴じた形で試験当日に持参。楽譜は返却しません。

④面接

b. 理論志願者

①書類選考

②実技(任意の器楽曲の演奏)

作曲・理論志願者実技共通課題に準じる。

③口頭試問(持参する音楽に関するレポートの審査を含む)

音楽に関するレポート1点(書式・長さは自由、手書きに限る)

を作成し、コピーを3部、綴じた形で試験当日に持参。レポートは返却しません。

④面接

【作曲・理論志願者実技共通課題】

器楽の楽曲、1曲の演奏。音楽のジャンル、選曲、楽器の種類は自由。ただしピアノ伴奏はつけられません。演奏は途中で止める場合もあります。楽譜を見ながらの演奏も認めます。大型楽器で音楽学科が準備できるものはピアノのみになります。アンプ、スピーカー、マイクといった機材等や伴奏用カラオケ音源の使用は認めません。

※不明点がある場合は必ず音楽学科まで問い合わせてください。

音楽コース

編入学試験3年次

①書類選考

②実技(声乐)

任意の自由曲(5分程度)

③面接

ピアノコース

編入学試験3年次

①書類選考

②実技(ピアノ)

8分以上の自由曲

③面接

弦管打楽コース

編入学試験3年次

①書類選考

②実技(それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器)

8分以上の自由曲(伴奏なし)を演奏してください(暗譜の必要はありません)。

③面接

●試験曲目の参考として、過去の課題曲が下記URL及びQRコードから参照できます。

https://www.art.nihon-u.ac.jp/admission/recruitment/general/pdf/2023_music_kadai.pdf



情報音楽コース

編入学試験3年次

①書類選考

②口頭試問

持参した演奏動画(3-5分程度)に対する口頭試問
自身が演奏している動画をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください。動画はソロでも合奏、バンド演奏でも構いませんが、演奏している受験生の顔及び全身が確認できるものとします。楽器や楽曲は自由で1曲とします。また、動画の音源は編集しないこと。演奏動画と演奏音が一一致していることが条件です。

③面接

【写真学科】専門試験参考資料

目次に戻る

2027年度写真学科入学者選抜区分の概要とポイント（詳しい日程等は各ページをご確認ください）

●総合型選抜〈学びのポートフォリオ〉と〈作品ポートフォリオ〉が必要

写真に対する意欲に溢れた人であれば、年齢や経験にかかわらず出願可能です。学力だけでは測れない意欲や感性、想像力や創造性などを総合的に評価します。

〈学びのポートフォリオ〉と〈作品ポートフォリオ〉に関する口頭試問については、写真に対する情熱を見たいという考えからです。持参する〈作品ポートフォリオ〉は、一眼レフ等のカメラで撮影したものでなくても、スマートフォンで撮影した写真でも全く問題はありません。技術だけではなく、あなたがどんな写真を好んでいるのか、どのような感性をもっているのかを重要視しています。〈作品ポートフォリオ〉をもとにあなた自身を積極的にアピールしてください。「面接」では〈学びのポートフォリオ〉や〈小論文〉を参考にしながら、高校時代の活動など、あなたがこれまでの経験の中で得たこと、努力してきたことなどを評価します。合わせて相手に分かりやすく伝える力やコミュニケーション力も見ています。写真制作が未経験という方も勿論受験可能です。

※ポートフォリオの詳細は右ページをご確認ください。

●学校推薦型選抜（公募制）〈学びのポートフォリオ〉のみ必要

高等学校または中等教育学校等を2027年3月卒業見込みの方が受けられる区分です。下記のA～Cのいずれかに条件を満たす方が出願できます。

- A. 全体の学習成績の状況が3.0以上の者
- B. 「全国高等学校総合文化祭写真部門」に出展し、高等学校文化連盟写真専門部の推薦書があり、全体の学習成績の状況が2.7以上の者
- C. 全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」のブロック予選に出場した選手で、全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」（東川町写真の町課）の推薦書があり、全体の学習成績の状況が2.7以上の者

※出願資格の詳細については17ページをご確認ください。

出願には学校長の推薦が必要です。基本的にはこれまで積極的な写真活動をしていた方が対象となりますが、意欲があれば、本格的な写真制作が未経験でも構いません。試験内容は「面接」と「小論文」です。「面接」では、〈学びのポートフォリオ〉を参考に高校時代にあなたが夢中になったこと、課外活動、これまで取り組んだ写真活動、そして写真に対する熱意を聞かせてもらいます。「小論文」では、あなたの写真に対する考え方や理論性を確認しながら創造性を評価しています。

●外国人留学生・帰国生選抜 ポートフォリオや作品の持ち込み不可

外国人留学生や帰国生向けの区分です。「面接」と「小論文」による試験を行います。「面接」にはポートフォリオや作品の持ち込みは出来ません。教員との面談を通してあなたの写真に対する熱意、どんなことを学びたいと考えているか等を伝えてください。「小論文」では発想力や考察力などに着目しています。いずれの試験でも専門性と合わせて日本語能力やコミュニケーション力を評価しています。

●一般選抜N全学統一方式（第1期）専門試験併用型 ポートフォリオや作品の持ち込み不可

学力検査（国語・英語）と「面接」で評価します。ポートフォリオの準備は必要ありません。「面接」では写真に対する意欲や情熱、コミュニケーション力などを評価します。なぜ日芸で写真を学びたいかを伝えてください。

●一般選抜N全学統一方式（第1期・第2期）学力検査のみ

学部・学科間併願だけでなく、同一学部内の複数学科への併願が可能な区分です。一回の受験で複数の学科を併願することができるメリットがあります。学力検査のみで評価します。小論文が苦手な方、学力に自信がある方に向いています。

*他にも日本大学付属高等学校所属の方向けの「学校推薦型選抜（附属高等学校等）（学びのポートフォリオのみ必要）」や校友の法定血族を含む2親等内直系血族が出願できる「校友枠選抜（学びのポートフォリオのみ必要）」などがあります。出願には条件がありますので詳細は別紙「学校推薦型選抜（附属高等学校等）資料」「校友枠選抜要項」及びホームページ等をご確認ください。

*右ページでは〈学びのポートフォリオ〉と〈作品ポートフォリオ〉について解説していますが、いずれも制作意図やポイントを書いています。制作の目的を理解した上であなたらしい創造性溢れるポートフォリオをつくってください。

学びのポートフォリオ

対象：総合型選抜，学校推薦型選抜（公募制／付属高等学校等），校友枠のみ

- ・総合型選抜，学校推薦型選抜（公募制／付属高等学校等），校友枠の区分で受験する方に必要なポートフォリオです。
- ・このポートフォリオは作品集ではありません。写真作品ではなく〈あなた自身〉をプレゼンテーションするための一冊を制作してください。

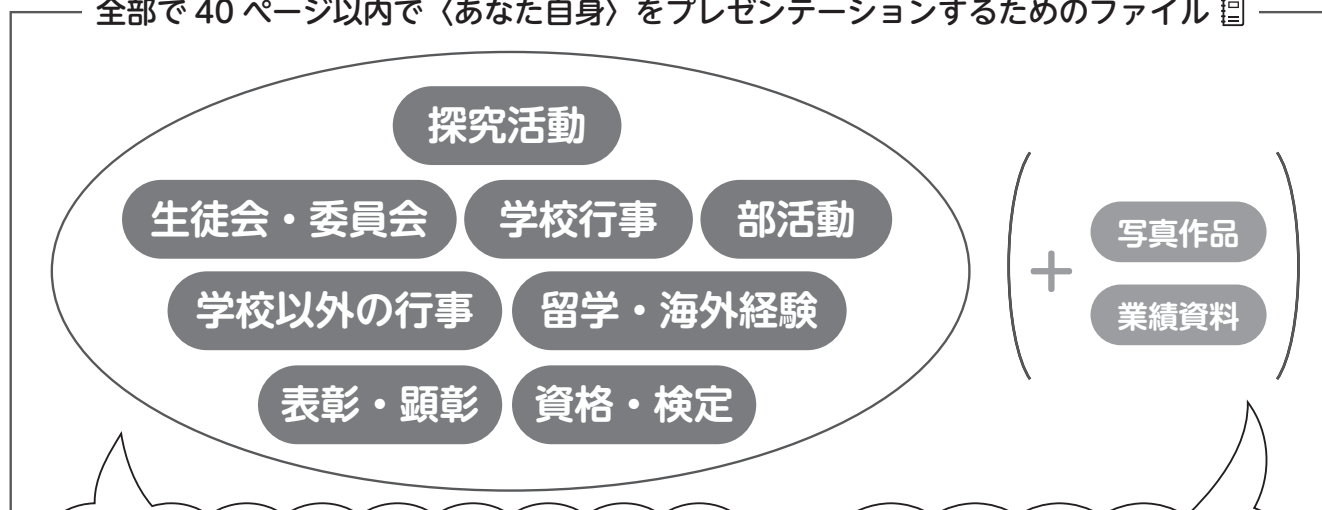
写真学科が指定する「学びのポートフォリオ」写真作品は必須ではありません

探究活動，生徒会・委員会，学校行事，部活動，学校以外の行事，留学・海外経験，表彰・顕彰，資格・検定の8項目から，自身の学びのテーマに関連する項目を選択し，あなた自身をプレゼンテーションできるポートフォリオを制作してください。写真作品のみを入れるのではなく，これまでの各分野での経験や写真活動が分かるようにしてください。写真作品や写真関連の業績がある場合には前述頁以降に加えても構いません。

ポートフォリオはA4サイズのポケットファイル（20ポケット・40頁以内）とする。ポケットファイルは透明度の高いものを使用し，資料や写真が見えやすいようにしてください。また，ファイルの形状が変わってしまうような厚みのある資料は入れないでください。業績を示すための賞状等はコピーで構いません。

↓つまり，こういう理解です。

全部で40ページ以内で〈あなた自身〉をプレゼンテーションするためのファイル



この中から〈あなた自身〉をプレゼンテーションすることができる項目を選んでください。ページ数に限りがあるので，たくさんの項目を選ぶとそれぞれに使えるページ数が少なくなることになります。

選ぶ項目を絞って，深く詳しく説明するか，多くの項目を選んで，あなたの活動の豊かさをアピールするかの判断はあなた次第です。より〈あなた自身〉が伝わる選択をしてください。

「学びのポートフォリオ」に写真作品や業績を示す資料を入れる必要は必ずしもありません。

制作の目的はあくまで〈あなた自身〉を伝えること，魅せることです。

入れる場合は，左の項目ページより後ろに入れてください。

- ・「学びのポートフォリオ」の1頁目には，受験番号や高校名，氏名をご記入いただきます。詳細は写真学科ホームページに7月中頃に掲載予定ですので，制作前に必ずご確認ください。

作品ポートフォリオ

総合型選抜のみ対象

- ・写真をみせるための一冊なので，ポケットファイルを使用する場合は透明度の高いものをご活用ください。

写真学科が指定する「作品ポートフォリオ」総合型選抜のみ対象

A4サイズのポケットファイルを使用し10枚以上の写真で構成されている形式，もしくはフォトブックでも構いません。自分の撮影した写真（スマートフォンで撮影した写真も可）を他者に見せられる形式にしてください。

【映画学科】専門試験参考資料

[映像表現・理論コース, 監督コース, 撮影・録音コース]

小論文及び面接

【総合型選抜】(60分・600字)

次の文章を読んで、「コミュニケーション」について論じなさい。

※佐藤雅彦「新しい分かり方」中央公論新社, 2017年

【学校推薦型選抜(公募制)】(100分・1,000字程度)

次の文章を読んで、あなたの考える創作とはどんなものか自由に述べなさい。

※村上春樹「風の歌を聴け」講談社, 2011年

【一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型】(80分・800字程度)

次の文章は、第19回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展における日本館の展示に際して、キュレーターを務めた青木淳氏の言葉です。ここで言及されている「間」について、具体例を示しながらあなたの考えを述べなさい。

※「ヴェネチア・ビエンナーレ日本館公式サイト」より抜粋

小論文

小論文試験の試験問題に選ばれる題材には、決まった傾向はありません。映画や映像の知識の有無を測る訳でもありません。まずは、原稿用紙の使い方や、誤字脱字がないかといった基本的な文章能力が見られていると思ってください。さらに、出題意図をよく理解できているかどうかという読解力や、文章を論理的に展開できるかどうかという思考能力も見ています。

小論文解答用紙 ▲

面接試験 (演技コースも同様)

面接試験では、自分の思いをしっかりと伝え、

質問には端的に答えてください。試験監督は普段通りの姿を見たいので、リラックスして臨んでください。

[演技コース]

実技

【総合型選抜】

発声1

次の内容をはっきりと述べてください。

受験番号()番, (氏名)です。出身は(都道府県名)で、学校は(学校名)高校を卒業する予定です。年齢は()歳です。

発声2

次の文章を朗読してください。

※「漫画で伝える戦争 ちばてつやさん」朝日新聞記事より抜粋

動作

次の内容をしぐさのみで表現してください。

[設定] 放課後。帰宅しようと階段を降りると、踊り場の窓から雨が降っているのが見えた。傘を取りに教室へ戻る。

教室に入ろうとすると、中から大声で怒鳴り合う声が聞こえる。

中に入るか躊躇する。

言い合いは終わりそうにないので、静かにドアを開ける。

自分のロッカーから傘を取り出す。

傘に引っかかってロッカーの中の荷物が床に落ちてしまう。

音に気付かれ、呼び止められるが、足早に教室を出る。

(そのまま退出してください)

実技

試験内容は、「発声」・「動作」の二種類です。

「発声」は、書かれている文章をしっかりと理解し、はっきりと滑舌良く試験官に伝えてください。無理に感情を込める必要はありません。受験生がどのような声なのか、どのように声で表現するのかを見ています。

「動作」は、文章にあるシチュエーションや感情を仕草のみで表現します。試験内容を覚えていただき、書かれている内容を抜かすことなく確実に表現してください。

仕草のみと言っても決してパントマイムやジェスチャーではありません。「動作」の試験では、受験生が俳優として気持ちを含めた動作が出来るかどうかの素養を見ています。

映画や映像作品では、リアリティのある自然な演技が求められています。映画学科の実技試験では、いつも通りの自然な姿を見せて下さい。

「発声」と「動作」の実技試験は同じ会場を通して行い、試験の所要時間は5分程度です。試験問題が渡されてから、10分間の練習時間があります。

更衣室は設けていませんので、動きやすい普段着で来てください。



演技コース
実技説明動画

発声 ▼



動作 ▼



【美術学科】専門試験参考資料

[絵画コース絵画専攻]

【総合型選抜】

実技 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し 静物を描く

出題意図と評価のポイント

実技試験の課題は「静物を描く」です。静物を描いてもらうことによって、絵画における構成力や描写力等を総合的に判断します。画材は油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを事前に選択していただきます。油彩・アクリルを用いた色彩による表現では、特に色感や配色について評価します。木炭・鉛筆を用いた素描による表現では、特にトーン（調子）の幅的的確さについて評価します。

静物のモチーフは卓上に配置してあります。各モチーフの形体の把握や質感の違いを描き分けることなども重要な要素ですが、まずは物がテーブルの上にとっかかり乗っているように描かれていること、背景が壁であるならば、そこに壁を感じることで、そして手前の物が手前にあるように、また奥の物が奥にあるように描かれていることなどが肝要です。



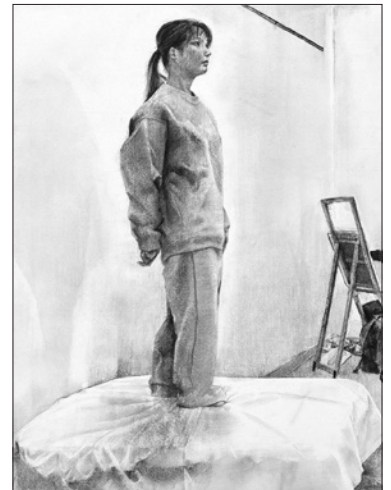
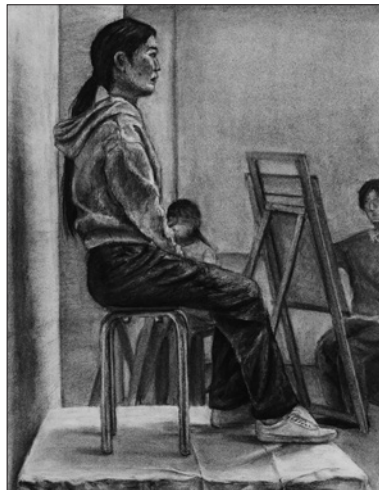
【一般選抜N全学統一方式（第1期）専門試験併用型】

実技 油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し 人物を描く

出題意図と評価のポイント

実技試験の課題は「人物を描く」です。人物を描いてもらうことによって、絵画における構成力や描写力等を総合的に判断します。画材は油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを事前に選択していただきます。油彩・アクリルを用いた色彩による表現では、特に色感や配色について評価します。木炭・鉛筆を用いた素描による表現では、特にトーン（調子）の幅的的確さについて評価します。

モデル台の上に人物モデルがポーズをとっています。人物モデルの形体の把握と同時に、そのポーズのもつ重心や軸を見出すことが肝要です。人物モデルが台の上にとっかかり立っている（あるいは座っている）ように描かれていること、背景が壁であるならば、そこに壁を感じることで、画面上に手前と奥を感じるように描かれていることなどを評価します。



[彫刻コース地域芸術専攻]

【全試験共通】

小論文 (60分・800字以内)

日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、必要な問題点を述べてください。

地域 里山 集落 高齢化 少子化 過疎 伝統 SNS 若者 都市 アート 継続
学校 SDGs 災害 ガイドツアー オーバーツーリズム 自然環境 多様性 五感

【総合型選抜】

出題意図と評価のポイント

試験によって提示される出題の言葉が少し変わることがあります。下記にある言葉とは、どの試験にも共通して出される言葉とその時点で社会問題になっている言葉が20ほど提示されます。自分の住んでいる地域の問題や関わったイベント、訪れたことのある芸術祭などから、自ら感じている問題点を自らの言

葉で述べてください。社会に関わっていくことを日常的に意識していると簡単に述べられると思います。

また国内外で行われている芸術祭の資料集や関連する図書などを読み、それぞれの特徴や意義などを知っておくこともおすすめします。

[絵画コース版画専攻]

【全試験共通】

実技 デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し 静物を描く

出題意図と評価のポイント

実技試験の課題は「静物を描く」デッサンです。画材は鉛筆または木炭のいずれかを事前に選択していただきます。モノクロの世界をどのように表現するかは、実技課題の静物モチーフと専門試験参考資料を参考にして下さい。

台の上に置かれている静物を、どのように画面の中に入れるかを考えること(構図)からはじめます。次に、モチーフの形体や質感、モノとモノの関係性を的確に捉えているかどうかなどを総合的に判断します。

基礎的なデッサン力を身につけるには、良く観察して、感じることを、素材の質感や台との接点など気をつけて、丁寧に描く事が大切なポイントです。入学試験の際は、普段練習してきたことを最大限発揮出来るように、デッサンの枚数を重ねる事も自信に繋がります。



【学校推薦型選抜】



【総合型選抜】

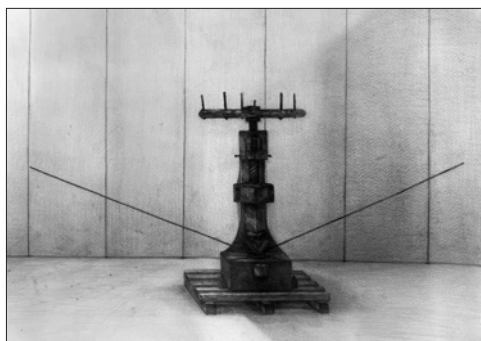


【一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型】

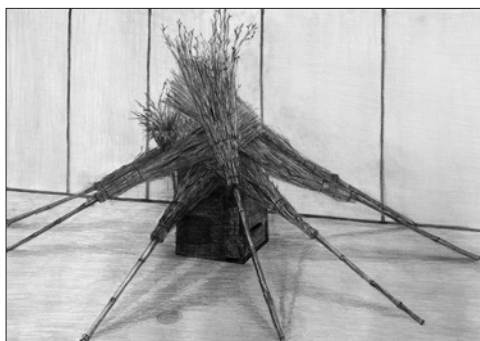
[彫刻コース彫刻専攻]

【全試験共通】

実技 デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し モノと空間を描く



【総合型選抜】



【学校推薦型選抜】



【一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型】

出題意図と評価のポイント

試験会場に、モチーフが置かれます。植物と木箱など様々なものが出題されます。「モノと空間を描く」という問題は、モチーフが作り出す空間全体を把握し、描画する画面に十分に構成されているかを見ていくことになります。種類によっては、「モチーフ全体を中央に一つ、部分を周辺に複数描きなさい」という問題の場合もありますし、「モチーフ全体を切ることなく大きく描きなさい」という場合もあります。どんなモチーフであっても、

ものの構造をよく観察することが重要で、全体と細部の関係性、面の大きさ、向き、捻れなどそれぞれの特徴を捉える能力が必要になります。モチーフを的確に捉えデッサンで伝える技術も重要ですが、自分で読み取った情報をデッサンとして表現できているかも重要な観点となります。モチーフを自分が彫刻として作るという制作者の観点でデッサンの練習をすることをすすめます。

【音楽学科】専門試験参考資料

音楽学科入学者選抜の課題については「音楽学科実技課題曲案内」(40～43ページ)を確認してください。
また、学部Q&A(63ページ)も併せて確認してください。

〔情報音楽コース〕

□ 口頭試問



◀ □ 口頭試問

情報音楽コースの口頭試問では、受験生が音楽にどのように接してきたかを審査します。

審査方法はあらかじめ用意してきた演奏動画を視聴しながら、質問に答えてもらうかたちです。動画は当日、スマホ、タブレット、ノートPCなどのデバイスを持参していただき、試験室に入室後再生してもらいます。演奏動画の内容に関してはどのようなものでも結構ですが、必ず受験者自身の演奏シーンが撮影されていることが条件です。

演奏曲のジャンルは自由で、ソロでもアンサンブルやバンドでも構いません。ただし、先ほど記載した通り、吹奏楽部の演奏会のような大人数の場合は、必ず受験生が確認できる画質の動画としてください。試験時間は5分から8分くらいですので、動画の長さは3～5分を目安とします。また、複数楽曲を審査対象としたい場合は、複数楽曲をひとつの動画にして再生してください。

自身が演奏しているシーンがあれば、どんなものでも良いというのが基本ですが、この基本に対してどれくらい勝負してくるかもみています。

動画撮影に関しては、演奏の部分差し替えなどの編集は避け、ワンテイクのものを用意してください。ただし、複数楽器の重ね録りは可能です。また、映像編集も可能ですが、ご自身の演奏かどうかがわからないような編集は認めません。

評価のポイント

評価ポイントは下記の3つです。録音技術や編集技術は基本的には評価には反映されません。

- ①音楽に対してどれくらい真剣に取り組んできたか
 - ②表現することに対して高い意識があるか
 - ③音楽を通じて人の心を動かすだけのパッションがあるか
- の3点です。

①に関してはこれまで音楽にどのように接し、どれくらい真剣に音楽制作や演奏、パフォーマンスに取り組んできたかを評価します。

②は演奏楽曲に対してどれくらいその音楽性を考え、演奏に反映させているかを評価します。

③は演奏された楽曲のクオリティに関わる部分で、演奏技術や音楽に対する理解度を評価します。

〔音楽芸術コース 音楽文化マネジメント専攻〕

グループディスカッション



音楽文化マネジメント専攻では、チームで活動したり、実習を通じて学内外の人々と交渉したりする機会が多いため、高いコミュニケーション能力が求められます。この試験では、提示されたテーマについて少人数でディスカッションを行います。試験会場に資料等を持ちこむことはできません。以下の点を重視し、受験者の能力を審査・評価します。

- ①傾聴力
- ②発信力
- ③質問力
- ④チームワーク・協調性
- ⑤リーダーシップ

評価のポイント

- ①他者の話をよく聞き、適切に応答できているか
- ②わかりやすく自分の意見を伝えられているか
- ③相手の意見を引き出すための適切な質問ができているか
- ④グループの一員として円滑な議論に貢献できているか
- ⑤適切な場面で議論をまとめ、方向性を示す役割を果たしているか

事前課題に関する質疑応答を含むプレゼンテーション

音楽文化マネジメント専攻の事前課題に関する質疑応答を含むプレゼンテーションでは、はじめに受験生が事前に提出した600字程度の文章について1～2分間程度で説明を行った後に、その内容に対する質疑応答を行います。試験会場に資料等を持ちこむことはできません。以下の点を重視し、受験者の能力を審査・評価します。

- ①これまでの音楽経験と音楽との関わり
- ②音楽への考え方や姿勢
- ③思考力・論理性
- ④表現力・説明力
- ⑤コミュニケーション力

評価のポイント

- ①どのような音楽環境で育ち、どんな経験をしてきたかを具体的に説明できるか
- ②音楽をどのようにとらえ、どんな価値を見出しているかを具体的に説明できるか
- ③自身の経験や考えを論理的に説明できるか
- ④わかりやすく自分の言葉で伝えられるか
- ⑤質問に対して的確に回答し、会話のやりとりができるか

写真はあくまでもサンプルとなります。実際の試験とは異なる場合もありますので予めご了承ください。
また感染症等の状況により実施方法が異なる場合もあります。

作文 (800字以内) の解答例

課題 [2026年度学校推薦型選抜より]

次の二つのうちから一つを選んで文章を書いてください。
(タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください)

- ①「見送る人」が登場する作文を書いてください。(作文)
- ②「豊かさ」について自由に論じてください。(小論文)

題名「たんぼぼ」(①を選択)

並木道の桜が舞い、風が鼻をくすぐる。私は木の根元にしゃがみこんだ。おはよう、大好き。こじんまりと、でも力強く黄色く光るたんぼぼに、思わず眩いた。

好きなものに好きと伝える。何故だか私は今、そんな使命感に駆られている。ふと顔を上げると、並木のベンチに俯いて座る人がいた。母くらの歳の女の。暖かいのに手袋をはめ、紙袋を抱えている。母も冷え性で、冷たい手をぎゅっと握るのが好きだった。思い返しながら前を通過する。その時、気付いた。紙袋の中がたんぼぼでいっぱいだったことに。携帯を見ていたその人に、つい

「よく集めましたね。お好きですか？」

と声をかけた。しかし反応はない。意図せず見えた画面には見知った霊園までの地図が表示されていた。教えようと口を開いた時、その人がパッと顔を上げた。

息が止まった。目の前で同じように目を見開いているのは、母だ。気付いた瞬間、記憶が鮮明に頭に流れこんできた。車の音、衝撃、並木を歩き続ける私。そして分かった。今日の意味。

「悠花……悠花なのね。」

ぼう然と座る母に目一杯の笑顔を向ける。

「お母さん、ありがとう、大好き。行ってきて、霊園。これからは私ずつとそこにいるから。お母さんはあなたの人生を楽しんで。暇ができたら会いにきて。」

何度も頬に伝う涙をそのままに、母は立ち上がり、私に紙袋を差し出した。

「好きでしょう、たんぼぼ。」

私は手袋の上からぎゅっと手を握った。

「うん、大好き。」

母の手はもう温かかった。

「いつてらっしゃい、悠花。」

いつものようにそう言った。それから並木道を歩き出し、桜はハラハラと周囲を散った。

小さく強い黄色の花を私は見続けた。春の風が私の輪郭を完全に溶かすその時まで。

※この解答例は、読みやすさに配慮し、一部の記述を原文から変更しています。

出題意図と評価のポイント

作文は、短い小説またはエッセイ風の文章を書く課題です。小論文は論理性や客観性が重視されるのに対し、作文ではユニークな発想、限られた文字数で読者の心の訴える構成員力、描写の力などが求められます。とくに描写を、「説明」と混同しないことが肝要。例えば「彼は悲しそうだった」と書くのが説明であり、涙を流す様子や声色の変化を具体的に描き、読者に「彼は悲しそうだ」と感じてもらうのが描写です。本作の優れたところは、主人公がすでにこの世にいない存在であることを、「死」という直接的な言葉を用いずに示している点です。風景の描写や母の所作、最後の「輪郭

が溶ける」といった表現が重なり合い、味わい深い寂寥感を生み出すことができている。一方で改善の余地も見られます。主人公は自らの死を理解し、母に言葉をかけますが、その過程における内面的な揺らぎの描写がやや不足している感があります。突然の気づきに対する戸惑いや、母と再び別れなければならないことへの葛藤などが描かれれば、人物像がより立体的になり、読者の共感も一層強まるはず。現在は死をすんなりと受け入れています。その間にもう一段階の心の動きを挟むことで、物語全体の厚みも増すはず。

小論文 (800字以内) の解答例

課題 [2026年度学校推薦型選抜より]

次の二つのうちから一つを選んで文章を書いてください。
(タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください)

- ①「見送る人」が登場する作文を書いてください。(作文)
- ②「豊かさ」について自由に論じてください。(小論文)

※ 800文字の作文・小論文を選択できるのは、学校推薦型選抜(付属高等学校等)、学校推薦型選抜(公募制)、学校推薦型選抜(日本大学競技部)、校友枠選抜となります。

題名「日々の面白さは豊かさから」(②を選択)

この世界は映画や小説など様々な作品に溢れている。ジャンルも様々で、消費者は選んでそれらを楽しんでいる。しかし、この映画はつまらない、こんな本読む価値がない、などの声がちらほらあるのを聞く。個人の意見であるため否定はしないが、私はそれらの感想をもつことに大変もったいなさを感じる。

例えば、芥川龍之介が著した『鼻』という作品を読んだ私のクラスメイトはこう言った。なんだか暗い気持ちになっておもしろくなかった。爽快な起承転結を望んで読んでいたとしたら、人の豊かさに着目したこの小説は彼にとつて期待はずれだったかもしれない。しかし、私はそこで終わってほしくないのだ。もつと作品を味わう心を豊かにしてみると、小説に込められたメッセージを読み取ることができる。いつ何時もないものねだりをしてしまう人間の良くない所は自分にもあるのではないか、という気づきにもなり得る。心を豊かにすることは目の前の作品を興味深いものに變化させることに繋がるのだ。

心を豊かにすれば作品が面白くなると述べてきたが、だからと言って全ての作品を面白がる必要はないとも感じる。もちろん表面だけしか見ずに排除するのはもつたいたいがないが、読んで考えを巡らせた後、自分は共感できないとするのも良い。だが、そこで何故自分は共感できなかったのかという所を心の感受性を豊かにして考えてみてほしいと思う。もし主人公の気持ちに共感できないという理由ならば、自身の思想を再確認するきっかけになり、また、新しい思想を知るきっかけにもなる。

このように、心を豊かにすることは作品との出会いを面白いものに変え、自分自身の成長を促すことに繋がる。だからこそ、心の豊かさというのは世界の面白さに比例している。心の豊かさを意識し、豊かさをさらに磨いていけば、見える世界はより面白くあざやかに色付いていくだろう。

※この解答例は、読みやすさに配慮し、一部の記述を原文から変更しています。

出題意図と評価のポイント

小論文は、根拠をもとに自身の主張を述べる課題です。評価のポイントは、主張に対して論理的かつ客観的な根拠が示されていること。それに加え、自分なりの視線で問いを立て、考えをまとめているか、すなわち「なぜ?」の発見に伴う独創性があることも評価を高める上で重要です。本論は、「豊かさ」を物質的な充足ではなく「心の豊かさ」として捉え、それが作品の享受のあり方、自己の成長、世界の見え方の変容に繋がるといふ主張が目を見えます。とりわけ、作品を面白がるのが世界そのものを面白がる契機となるという指摘は、ショート動画や倍速視聴などに代表され

る、近年の「作品を消費」する風潮に対しての警句として機能している点が評価できます。一方で、より完成度を高めるためには、主張を支える根拠を充実させるべきです。例えば『鼻』から展開される主張は、筆者自身や身近な人物の感想に依拠しており、客観的な裏付けがやや弱い印象を抱きます。また、「共感できない経験が自身の思想の再確認につながる」という指摘についても、どのような過程でそれが生じるのかを具体的に示すことで、主張の輪郭がより明確になります。こうした補強により、着眼点の良さがより強固な議論として立ち上がるはずで

【舞台構想コース】



▲ グループディスカッションイメージ

出題意図と評価のポイント

舞台構想コースは、劇作、演出、企画制作、合計3つの専攻から構成されています。いずれも、舞台創造の根幹をなすセクションです。伸び伸びとしたアイデアと、実現へ向けた現実的なプランの両方が必要です。作文・実技試験では以下のポイントに注目をします。

- グループディスカッション：発信力・傾聴力

自分と他者のアイデアを皆で共有し、意見を交わしながらブラッシュアップしてゆく過程。

- 作文：省察力・構成力

自分の知っていること、これから学ぼうとすることを、論理的に組み立て、他者に伝わる文章にすること。

【演技舞踊コース】



▲ 実技イメージ①

出題意図と評価のポイント

演技舞踊コースは、演技、舞踊、合計2つの専攻から構成されています。舞台表現のフロントに立つセクションです。実技試験では以下のポイントに注目をします。

- 演技舞踊にかかわるもの：表現技術・創造性
- 実技表現課題：想像力・構合力

どちらも、演技専攻志望者は台詞表現、舞踊専攻志望者は舞踊による身体表現を原則とします。両専攻ともに、舞台上で必要となる表現技術と創造性の両立、さらに将来性を評価のポイントとします。将来、社会の中で他者とともに舞台表現創作を実現できる能力を大切にします。



▲ 実技イメージ②

【デザイン技術コース】



▲ プレゼンテーションイメージ

出題意図と評価のポイント

デザイン技術コースは、美術、照明、衣裳、音響、舞台監督、合計5つの専攻から構成されています。上記5つの専攻は、舞台芸術の創作及び上演において、互いに補完し合いながら芸術性を高めていきます。実技試験では以下のポイントで注目をします。

- グループディスカッション：相互理解
自身のアイデアを、集団創作に生かすことができるかどうか。
- 口頭試問：省察力
これまでの芸術に関する活動や感動をどう捉え、今後どうしようとしているか。
- プレゼンテーション：読解力・発想力
与えられた課題を正しく読み解き、オリジナルな視点で分析できているか。

【出題のねらい】

放送の世界を志す人には、社会や身のまわりのできごとを観察し、整理し、相手に伝える力が求められます。放送学科の作文試験は、まず、ひとりよがりの文章ではなく、読む人を意識した文章が書けるかどうかについて見ることをねらいとしています。また、どんな経験をしたか、何を思い、どう考え、どのような感性でそれをとらえたかなどについても見えています。

【試験について】

課題（作文の題名）は試験開始直前に試験監督者から発表されます（課題用紙を配布する場合があります）。提示された課題について、どのような作文を書くか考え、指定の時間（60分）・字数（600字）で取り組みます。その際、下書き用紙も配布します。なお、採点は複数の教員で行い、客観的に評価をしています。

【作文に求められる力】

作文に求められる力は、大きく3つです。

- 1, 着眼点 : 課題から発想した文章に自分らしい視点があること
- 2, 構成力 : 指定の字数で文章を構成し、まとめ上げる力
- 3, 表現力 : 自分の思いや考えが相手に伝わるよう、言葉にする力

自分の思いや考えを伝えるために言葉を適切に使い、決められた時間・字数の中に文章を収めること。そして、文章の中にありきたりではない自分らしい視点があること。これらは放送番組を企画、制作する上でも必要なことです。番組作りと重なる点があることから、放送学科では作文を専門試験としています。

【合格者の声】

試験日に初めて知る問題に対応するには、発想力と計画性が必要だと思います。

まず、発想力を高めるにはマインドマップがおすすめです。キーワードを中心に置き、そこからイメージを繋げることで思考を豊かにすることができ、作文のアイデアが浮かびやすくなります。

そして文章を書き始める前には、簡単な骨組みを作り、計画してから書くのがおすすめです。作文用紙を4つに分けて「起承転結」を割り振り、全体像をイメージしておくと、あとから書き直すことが減ると思います。また、私は塾の先生に作文を見せて添削してもらっていました。

読んでもらう人に伝わりやすい文章を心がけて練習することが、作文の上達の近道だと思います。

私は感性の積み重ねが文章になると思います。なぜ感動したのか、どこが面白いのか、普段素通りしている感情と向き合ってみてください。俯瞰的に捉えたり、細かく追求してみたり、複数の視点から感じたり、考えたことを言葉にすることを繰り返し、楽な言葉で逃げない習慣を身につけてください。日本語特有の繊細さを楽しむ好奇心が語彙力を高めます。

そして、良い文章を書こうと思わないでください。創作意欲や小手先の技術だけが先行してしまうと、本心とは離れた場所で文章ができてしまいます。目指すべき文章を知ることが大切ですが、一度自分から生まれる言葉を認めてあげてください。言葉に責任を持ちつつ、正直に自分と対話してみてください。あなたを感じることができた時、きっと心を動かす文章になっています。

私が作文試験で意識して取り組んだことは「指定されたテーマからいかに発展させた題材で書くことができるか」で、マインドマップを使って他の人が気づけない視点をテーマから探し出す練習をしていました。

例えば私が受験した時のテーマだった「桜」だと、春、入学式、お花見など題材はいろいろ思いつきますが、私は「葉桜」を題材にし、桜の花よりも葉桜が好きだという私の母について書きました。花のイメージが強い桜で敢えて葉に焦点を当てて書いた人は他にいなかったのではと思います。

テーマが指定されていると聞くと構えてしまうかもしれませんが、文章のどこかにそのテーマがわかるものが紛れていれば成立します。気負わずに、自分の面白さを最大限表現してみてください。

■ あなたにしか書けない作文を

例えば「夢」がテーマ(題名)の作文試験で求められるのは、「夢とは何か」「人はなぜ夢を見るのか」といった説明文や小論文ではありません。あなたなりの着眼点や発想・経験にもとづいて書かれた「夢」という作文の中に、読み手に伝えたいことや共感して貰いたいことがしっかり書かれているかどうかを見ています。これまで積み重ねてきた経験、抱えてきた事情・葛藤、感じてきた喜怒哀楽、培ってきた価値観・美意識・問題意識等々はあなた固有のものであります。その一端をあなたなりの発想力・表現力・構成力を駆使して作文にまとめてください。それは、あなたにしか書けない作文のはずです。



■ 構成の全体像をイメージして書く

作文そのものに苦手意識はないものの、字数や時間に制限が設けられると「うまくまとめられない」という人もいます。書きながら次の展開を考えているため、行き当たりばったりの書き方をしてしまう。そういう人は、作文の全体像を明確にイメージしてから書き始めるようにしてみましょう。おすすめは、起承転結を象徴する4枚の「絵」や「映像」で全体像をイメージしてみる。そして、それらが情景としてありありと目に浮かぶような作文としていくのです。実は、テレビ番組の構成台本やドラマの脚本も、場所や情景、人物の様子や動き等の「映像」を指定しながら書きます。この書き方のコツを掴めば、作文試験だけでなく、将来放送業界に進んでからもきっと活かせるはずです。

アドバイス ①

読み手にイメージさせたい情景を「絵・映像」として具体的に思い浮かべながら全体の構成を練ると、よりわかりやすく、より伝わりやすい作文になります。

- ▶ 起承転結の構成とするなら、各段落を象徴する4枚の「絵」を念頭に置く(4コマ漫画のようなもの)
- ▶ テレビ番組に置き換えるなら、どんなオープニング映像やナレーションで視聴者を食いつかせるか、またどんな展開を経て番組のクライマックスへと繋ぐか、そしてエンディングをどう締めくくするか考えてみる

書きながら次の展開を考えるのではなく、書き始める前に全体像をイメージしておくことが大切

■ 具体的な事実やエピソードにもとづいて

「母校の甲子園出場のために一生懸命応援したが、負けてしまい悔しかった」。このような文章は、読み手に大雑把な理解しかもたらしません。「一生懸命」「悔しい」といった形容動詞・形容詞は、様子や心情を大雑把に言い表しているに過ぎない言葉なのです。読み手の理解と共感を得るためには、それに見合う具体的な事実やエピソードを盛り込みながら、その時々の様子や心情を表現することが大切です。例えば、「チアリーダーとして炎天下の球場で汗まみれになってダンスとパフォーマンスを繰り広げた」といった具体的な事実、また「野球部のみんなが整列して応援席に一礼したとき、幼馴染の背番号1が顔をくしゃくしゃにして泣いているのが見え、気がついたら自分も号泣していた」といったエピソード。それらを作文の読み手と共有することによって、はじめて共感が得られるのです。

アドバイス ②

賑やか 華やか 静か 楽しい 面白い 嬉しい 悲しい

こうした形容動詞・形容詞だけでは、その場の様子や心情を読み手にきちんと伝えたことになりません。

- ×「東京ドームは、広くて賑やかだった。楽しかった」
- ×「ディズニーランドは、広くて賑やかだった。楽しかった」
 - 東京ドームとディズニーランドが、文章表現のうえで全く同じ場所になってしまう

広さや賑やかさについて、実際その場で見聞きした具体的な事実や体験したエピソードで表現するようにしてみましょう

自分で決めた題名で構いません。時間を正確に計って作文試験と同じ600字・60分で作文を書いてみましょう。そして、身近な人に読んでもらい、率直な感想を聞いてみてください。読み手を意識して書くことの積み重ねが、あなたに実力と自信を必ずもたらします。

【デザイン学科】 専門試験参考資料

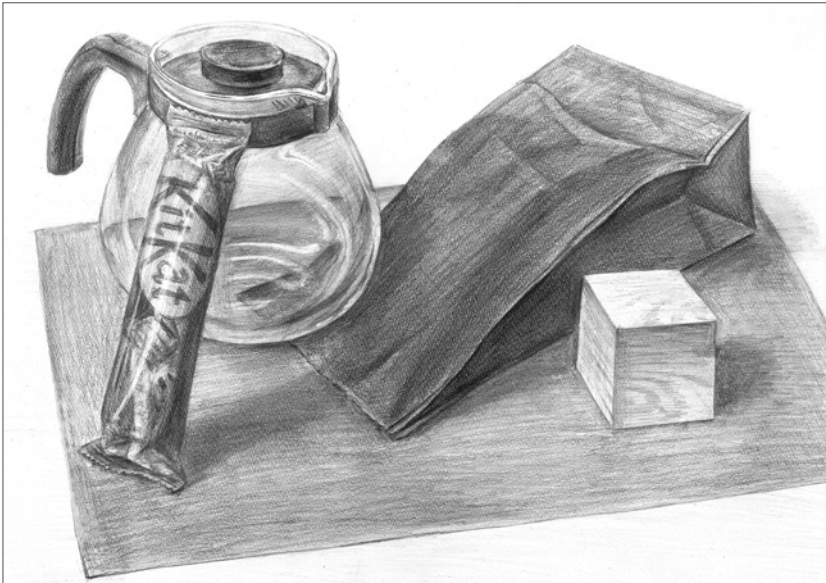
一般選抜N統一方式専門試験併用型 実技(デッサン)

課題 与えられたモチーフ、「コーヒーサーバー」、「カラー紙袋(緑)」、「キットカットバー」、「想定立方体」を以下の条件にもとづき、台紙の上にセットし鉛筆でデッサンしなさい。

- 条件**
- (1)「想定立方体」は、1辺5cmとし、質感や色は自由に設定すること。
 - (2)「キットカットバー」は、パッケージを開封せず、配付時の状態のまま使用すること。
 - (3)「カラー紙袋(B4版・グレー)」は、モチーフの下に敷いてセットすること。
 - (4)モチーフの固定には、持参したねりゴムを使用してもよい。
 - (5)配布された白の台紙は描かなくてよい。
 - (6)配布した白いコピー用紙(A3版)は下描きに使ってもよい。
 - (7)定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。ただしはかり棒の使用は可。
 - (8)用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。



(条件詳細は34ページを参照)



◀ 解答例Ⅰ

変化に富んだ構成と空間演出が特徴的な作品です。コーヒーサーバーにキットカットバーを立てかけ、立体的な光影によるドラマチックな画面作りが目を引きました。また、ガラス越しに紙袋を配置し、映り込みの歪みを丁寧に描くことで透明感を表現するなど、鋭い観察に基づく意図的な演出もユニークです。床の水平面や立方体のパースの歪み、構図などに改善の余地はありますが、モチーフの特徴を引き出そうとする前向きな制作姿勢が、独自の魅力に繋がっています。

▶ 解答例Ⅱ

出題されたモチーフの相互関係を活かした安定感のある配置と、メリハリのある白から黒までの豊かな階調が、空間のクリアな印象づくりにつながっています。特にロゴのコントラストを強調して視線を集める工夫や、背景との関係で立方体の上面を際立たせる演出が効果的です。接地面の描写に一部不明瞭な点は見られるものの、随所に凝らされた工夫が、デッサンとしての自然な全体感の表現につながっており、バランスの良い作品として評価しました。



出題意図と評価のポイント

すべての受験者が共通のモチーフを用い、時間内で制作します。モチーフはセットで一人ずつに渡されますので各自が自分の机の上でモチーフを組み、カルトンに画用紙をセットしてのデッサンになります。デザイン学科のデッサンは日常的に身の回りにあるモチーフを配布や想定で描く構成デッサンを出題します。問題を正しく理解した上でデザイナーとして必要な読解力、観察力、想像力、構成力、描写力を基盤とする総合的な造形力を採点判断の基準とします。

- 〈読解力〉 問題文の内容や意図の理解。
- 〈観察力〉 モチーフの形や大きさ、構造などの正確さや、質感、光と影の関係性など。
- 〈想像力〉 想定したモチーフや状況をイメージし視覚化する。
- 〈構成力〉 モチーフの扱い方や見せ方、組み合わせのバランスを考慮した構成や配置。
- 〈描写力〉 そこに存在する自然さとリアリティのある関係性の表現。

● 総合

Q 一般選抜N全学統一方式(第1期)専門試験併用型の場合、実技試験だけの基準点はありますか？

A 学力検査と専門試験を合わせた総合成績の上位から合格となるので、基準点はありません。

Q 小論文・作文試験について教えてください。

A 小論文は、与えられたテーマに対して、真正面から捉え、短時間に思考を整理し、与えられた字数の中で、自分の言葉で文章として論理的に表現できるか、ということが問われます。

作文は、与えられたテーマから受けたイメージを、決してテーマからそれることなく、自分の感性や創造力を十分に発揮しながら、文章を創作してゆくことを求められます。もちろん、自分が体験したことを率直に書いても構いません。

どちらも、自分らしく述べること(オリジナリティ)が必要ですし、原稿用紙の基本的な使い方も身につけておく必要があります。

Q 実技試験について教えてください。

A 映画学科演技コース、演劇学科演技舞踊コース(他コースでは、一部入学者選抜で実施)と、美術学科、音楽学科、デザイン学科において実施しています。

このうち、演劇学科演技舞踊コース舞踊専攻と、美術学科、音楽学科、デザイン学科の実技については、ある程度の経験を必要とします。これまで全く経験のない方については、人一倍の努力が必要となるでしょう。

一方、映画学科演技コース、演劇学科演技舞踊コース演技専攻については、全く経験のない方でも十分対応することが可能です。

Q 面接試験について教えてください。

A 一般選抜N全学統一方式(第1期・第2期)学力検査型を除くすべての学科・コースで実施します。

形式は、学科・コースによって若干異なりますが、受験生1人に対し複数の面接官を基本としています。

1人あたりの面接時間はおよそ10分から15分、結果については点数化し、その他の試験との総合点で判定を行います。配点は学科・コースにより異なります。

原則として、専門知識は問いません。熱意や目的意識、すなわち大学で何をやりたいか、将来何をめざしているのか、などを聞くのがねらいです。

Q 総合型選抜を受験して不合格となった場合、学校推薦型選抜(公募制)や一般選抜を受験することは可能でしょうか？また、その場合の志望学科は同じでなければならないのでしょうか？

A 総合型選抜に不合格となった場合でも、学校推薦型選抜(公募制)や一般選抜を受験することは可能です。また、その際の志望学科が異なっても構いません。実際、総合型選抜で不合格になっても一般選抜等で合格している受験生も多くいます。

● 写真学科

Q 実技試験はないようですが、写真技術の経験などがなくても大丈夫ですか？

A 写真を一から学べるカリキュラムになっていますので、写真の技術的な経験はなくても大丈夫です。入学後に、しっかり勉強して技術を習得すれば、写真を使いこなすことができます。もちろん、ある程度の専門知識や技術を持っていることは良いことです。

Q カメラなどの機材や制作施設は大学で借りられますか？

A 作品制作の中心となるデジタル一眼レフカメラ、パソコン、プリンター等は個人で所有をしていただきます。

フィルム用一眼レフカメラ、大判カメラ、大型デジタルプリンターについては大学のものを利用できます。また、スタジオや暗室、デジタルフォトラボも貸し出しを行っています。

Q カメラなどの機材は、どの程度のものを持っていればよいのでしょうか？

A 写真を専門的に学ぶためには、現状主流のデジタル一眼レフカメラやパソコン、プリンターなどの機材は必須です。また、自分自身の表現や研究のための機材ですので、自分自身の制作傾向、将来の目的に合った機材が必要となります。さらに、フィルムによる写真制作をしたい場合は、フィルムカメラなどの機材もあるといいでしょう。必要な機材については、入学後の授業で詳しくご紹介します。

Q 写真学科が指定するポートフォリオについて教えてください。

A 写真学科が指定するポートフォリオは以下の通りです。

「学びのポートフォリオ」 対象：総合型選抜、学校推薦型選抜（公募制／付属高等学校等）、校友枠のみ

探究活動、生徒会・委員会、学校行事、部活動、学校以外の活動、留学・海外経験、表彰・顕彰、資格・検定の8項目から、自身の学びのテーマに関連する項目を選択し、あなた自身をプレゼンテーションできるポートフォリオを制作してください。写真作品のみを入れるのではなく、これまでの各分野での経験や写真活動が分かるようにしてください。写真作品や写真関連の業績がある場合には前述頁以降に加えても構いません。

ポートフォリオはA4サイズのポケットファイル（20ポケット・40頁以内）とする。ポケットファイルは透明度の高いものを使用し、資料や写真が見えやすいようにしてください。また、ファイルの形状が変わってしまうような厚みのある資料は入れないでください。業績を示すための賞状等はコピーで構いません。

*総合型選抜のみ、別途「作品ポートフォリオ」が必要です。A4サイズのポケットファイルを使用し10枚以上の写真で構成されている形式、もしくはフォトブックでも構いません。自分の撮影した写真（スマートフォンで撮影した写真も可）を他者に見せられる形式にしてください。

*いずれも詳細を写真学科特設サイトにて7月中頃に掲載予定です。詳細はホームページをご確認ください。

Q 編入学・転部試験の持参作品等について教えてください。

A 今までに積極的な写真活動をしてきた方に、その成果を提示していただきます。コンクールでの受賞や入選の実績がある場合は、作品とともに賞状または作品が掲載された印刷物を持参してください。

受賞・入選を含む持参作品は、A4サイズのポケットファイルを使用し10枚以上の写真で構成されている形式、もしくはA4サイズのフォトブックでも構いません。自分の撮影した写真を作品として他者に見せられる形式にしてください。作品については必ずキャプションの解説をつけてください。また、活動を客観的に説明できるものとして、展覧会の記録写真や作品の掲載された資料などをお持ちいただいても結構です。

● 映画学科

Q 映画学科では、映画配給などの映像ビジネスについて、勉強することはできますか？

A 映像表現・理論コースでは、映画ビジネスやマネジメントに関する授業を開講します。特に理論・批評専攻では映像理論や映画史を学びながら、将来の映画ジャーナリストや映画研究者だけでなく、企画者や配給会社などの映画ビジネスに携わる人材の育成も目指しています。

Q 将来は脚本家をめざしているのですが、映画学科で脚本を学ぶには映像表現・理論コースを選択すればいいのですか？

A 映画学科では数多くシナリオに関連する講座を開講しています。映像表現・理論コースは2年次からシナリオ専攻があり、シナリオライターをめざした専門教育が用意されています。1年次は映像理論や創作研究と共にシナリオ執筆の基礎を学びます。

Q 映像表現・理論コースでは、2年次以降の専攻はどのように決めるのですか？

A 基本的には本人の希望を尊重しますが、1年次の授業出席や課題提出の期限厳守など、勉学に対する姿勢に鑑みながら、相談の上で決定します。

Q 撮影・録音コースでは、専攻はどのように決めるのですか？

A 1年次より「撮影」「録音」の領域から実践的なカリキュラムで学び、2年次に「監督」「演技」コースとの共同実習の中で、撮影・録音技術に加え照明技術や特殊撮影、より効果的なマイキングの考察、仕上げ作業に至るまで幅広く実践力を培います。

これらを踏まえて3年次に専攻を決定し、以降も作品制作や研究活動を継続していきます。

Q 映画学科の施設について教えてください。

A 同時録音可能な大・中撮影スタジオ、クロマキー撮影や物撮りが可能な小撮影スタジオ、16mm、35mm映写機に加えDLPシネマプロジェクターを備えた上映施設、現像の基礎となる工学・化学の研究、分析、処理を行う総合ラボラトリー、大小7つの録音スタジオ、アニメーション室、ネガ・ポジ編集室、ビデオ編集室、ハイビジョン制作システム、映画美術制作室、照明特殊機材倉庫、映画メーカーキャブ室など、映画制作に必要な環境が整っています。

- Q** 総合型選抜映画学科の適性試験とはどのようなものを行うのですか？
- A** コースによって試験内容が変わりますが、作文、実技（撮影、身体表現、文章による創作、プレゼンテーションなど）、批評などを含みます。どのような適性試験になるかは、その時の映画や映像を取り巻く環境によって変わります。
- Q** 演劇学科の演技舞踊コースと授業内容はどう違いますか？
- A** 俳優として必要な演技の“基礎”は両学科に共通ですが、映像と舞台に関する学科内容の違いから、映画学科の場合は「発声」、「音楽」、「日舞」、「洋舞」など、幅広く科目を設置している点に特徴があります。
- Q** 映画学科ではフィルムによる映画制作について学べますか。
- A** 映画学科では16mm・35mmのカラー・モノクロ現像施設があり実習や課題、卒業制作等で撮影した映画用フィルムを現像し、上映することができます。教育機関としては世界的にも類を見ない充実した施設となっています。撮影・録音コースでは1年次より16mmフィルムでの実習を行います。
- Q** 演技コースの実技試験用に着替える部屋はありますか？
- A** 特に着替えは必要とせず、動きやすい普段着で構いません（更衣室は設けません）。
- Q** 実技試験に要する時間を教えてください。
- A** 演技コースの受験生は、面接試験等の待ち時間も含め、ほぼ半日から一日の間拘束されます。一連の実技試験を同じ会場で通して行い、練習時間を最低10分設けています。試験の所要時間は5分以内です。

● 美術学科

- Q** 美術学科の特徴を教えてください。
- A** 絵画コース絵画専攻では、絵画の基礎および普遍性を重んじ、西欧近代以降の色、形、コンポジションそして絵画空間の考え方を主軸としたカリキュラムにより、4年間じっくりと腰を据えて「絵画」を学び「絵」を描くことができます。また、版画専攻では、「感性を刺激する」ために、イメージ描写やドローイング、基礎的な素材や色彩にこだわり「版表現」の可能性を探ります。そして、「表現を広げる」ために、活版による絵本制作やペン画、イラスト、ポートフォリオ、アートブックなどで、表現を深めていきます。彫刻コースは、彫刻専攻に加え新たに地域芸術専攻が加わりました。彫刻専攻では、造形芸術における形の問題を、昨今忘れがちな基礎の反復と研究によって追求し、自らの表現に繋げていきます。また地域芸術専攻では、社会が抱える問題をアートの力を使って、直接社会と繋がりがながら、人の心を豊かにするための実践力を身につけます。両専攻とも外部での発表を積極的に行っており、社会との接点を多数設けています。
- Q** 絵画コースに日本画の専攻がありますか？
- A** 日本画専攻はありません。ただし、特別講座として組みこまれています。
- Q** 入試の木炭デッサンでは、木炭紙の下敷きはありますか？
- A** 木炭紙の下敷きの用意はありません。必要であれば各自持参してください。
- Q** 入試の画材登録はどのようにできますか？
- A** 募集要項等で指定された期間に「美術学科画材選択・専攻選択入力フォーム」より登録してください。

美術学科画材選択・専攻選択入力フォーム ▶



- Q** 実技に関するレポートについて教えてください。
- A** 実技試験中に考えたこと、制作において工夫したこと、特に見て欲しい部分、自分なりに上手く描けた点や反省点などを文章に400字以内でまとめてください。

Q 絵画コース版画専攻の受験を考えているのですが、版画に関わる実技経験は必要ですか？

A 版画制作の経験がなくても、版画の初歩的な指導から、鉛筆デッサンやペン画、イラスト、絵本など版画以外にも授業では表現の幅を広げるために授業プログラムを用意しています。

Q 彫刻コース地域芸術専攻の受験を考えているのですが、彫刻にかかわる実技経験は必要ですか？

A 1年次のカリキュラムの中で、「デッサン基礎」や「造形基礎」などの初歩的な技術指導がありますので、受験段階での実技経験の有無は問いません。

● 音楽学科

Q 課題曲はいつごろ決まりますか？

A 課題曲については、40～43ページをご覧ください。



音楽学科から
のお知らせ



〈音楽学科〉
入試情報事前登録フォーム

Q 受験曲目の届出は、いつ行うのですか？

A 音楽学科受験生は、全員、「受験曲目等」を指定された期日までに学科サイトより入力し、自分の受験曲目を届け出なければなりません。詳細については、各募集要項にて指示します。

Q 情報音楽コースについて教えてください。

A 情報音楽コースでは、プログラミングなどの情報処理技術とともに、音楽理論や音楽表現を十分に学習します。詳細については、情報音楽コースホームページをご覧ください (www.micnuart.com)。

Q ライブやコンサートの音響を学ぶことはできますか？

A スタジオでの音楽制作が中心ですが、ライブやコンサートの音響技術者になる者も多数います。

Q 情報音楽コースの映像データはどのような形で提出しますか？また、どのような映像が好ましいですか？

A データの事前提出はありません。口頭試問の際に動画を見せていただきます。試験当日に自分のスマートフォンやタブレット端末、PCで再生できるようにしてください。また、バンド活動などの映像でも構いませんが、必ず本人と分かる映像で、顔ならびに全身が確認できるものとします（以下のサンプル画像を参考にしてください）。演奏時間は3分～5分程度で結構です。詳細は入試案内の「音楽学科実技課題曲案内」、「【音楽学科】専門試験参考資料」を確認してください。



演奏動画サンプル

Q 音楽文化マネジメント専攻について教えてください。

A 「音楽文化マネジメント専攻」は、営利・非営利を問わず、音楽文化を支えるマネジメントスキルを学ぶ専攻です。音楽業界の構造、法律、マーケティングなどについて学び、音楽文化と社会をつなぐ人材を育成します。

● 文芸学科

Q 学生の作品発表の機会はありますか？

- A** 授業の中で年1回ゼミ雑誌を作成・発行する機会があり、その中で各自の創作を発表することができます。
さらに、文芸学科の学生は、入学と同時に江古田文学会の学生会員となり、文芸誌『江古田文学』（年2回発行、市販）において創作、批評などの執筆作品発表の機会があります。

Q 主な設備について教えてください。

- A** 文芸学科には、コンピュータを多数設置した専用施設があります。DTP（パソコン画面上での編集・版下制作）に使用されるソフトウェア（InDesign等）もインストールされ、ゼミ雑誌作成のほか、学生個人の創作物等にも利用が可能です。
また、多くの文芸関係専門書を取りそろえた文芸学科資料室があり、読書・自習の場として活用されています。

Q 他の大学の文学部と同じ内容でしょうか？

- A** 文学部とは違います。文学を小説や批評といった創作活動、またジャーナリズムの幅広い表現活動の両面でとらえ、その養成を目的とした、文芸表現主体の学科です。

Q 文芸学科ではどのような資格を取得できますか？

- A** 文芸学科では、中学校・高等学校の「国語」の教員免許状を取得するための科目を開講しています。また、図書館の司書資格、および学校図書館の司書教諭資格を取得するための課程も開かれており、文芸学科生も数多く履修しています。そのほか、博物館の学芸員資格を取得するための課程も設置されており、一部の文芸学科生は履修しています。

Q 「学科指定施設内の資料の参照も可」と書いてある試験がありますが、どのような試験形式でしょうか？

- A** 総合型選抜の小論文または作文試験では、辞書の持ち込みが可能（電子辞書は不可）なほか、文芸学科資料室に所蔵されている図書や雑誌等を、閲覧しながら解答することができます。

Q 小説家を目指しているのですが、文芸学科ではそのための勉強ができますか？

- A** 文芸学科では、多様な分野の文芸表現を対象とした授業を開講しており、小説関連の科目を重点的に選択することで、将来の希望に応じた学びが可能です（例：小説論、SF小説論、ミステリー小説論、幻想小説論など）。また、全学年で必修の「文芸研究」でも、小説を専門とするゼミが複数あり、少人数制での創作指導や合評の実践が行われています。小説家を育てる役割を担う現役編集者をゲストに招くこともあります。その他、表現領域を広げ、内容を深めるための発展的科目も開講しております。これらの学修を経て、実際に小説家として活躍している卒業生が何人もいます。

Q 将来は出版業界で働きたいのですが、文芸学科ではそのための勉強ができますか？

- A** 文芸学科では、出版業界の実務家が講師を務める講義科目や、雑誌編集のために必要な技術を学ぶ演習科目を開講しています。また、ゼミ雑誌を作成する際に、企画や編集などを学生が担当して一から誌面作りを経験することもできます。文芸学科での学びは、編集者や校閲者、ライター、ジャーナリストなど、出版業界に関わる多様なキャリアへ繋がります。

● 演劇学科

Q 各コース、専攻を決定する時期はいつですか？

- A** すべてのコースで入学時にいずれかの専攻を申請していただきます。
デザイン技術コースは1年次は希望する専攻を軸にコース内で様々なセクションの学びに触れ、2年次になるタイミングで専攻を変えることも可能です。

Q 希望する専攻によって入試の内容は変わりますか？

- A** 原則、各コースごとの入試内容ですので、希望専攻によって試験科目が変わることはありません。ただし、演技舞踊コースに関しては、実技の際、希望専攻にあった実技内容（台詞表現か身体表現）を求めます。

Q 日本舞踊は勉強できますか？

A カリキュラムの中に日本舞踊や古典芸能を学ぶことができる授業が用意されています。

Q 卒業後、プロになれますか？

A 何をもってプロとするのかは難しい問題ですが、卒業生には、芸能界、声優、エンターテインメントの世界、舞台芸術の世界、で活躍する人がキャスト・スタッフ問わず大勢います。

● 放送学科

Q 実習施設にはどのようなものがありますか？また、その施設では実際にどのような授業が行われているのか、教えてください。

A 施設としては4K対応を含むテレビスタジオ2つ、ドルビーアトモス対応などの録音スタジオ4つ、多数のビデオ編集室、MA室のほか、ビデオ収録車やCDライブラリーなどがあります。それぞれのスタジオは現在のテレビ局・ラジオ局とほぼ同じ機能を持っています。また、すべての施設をネットワークでつなぎ、多様な実習が行えるようになっています。

スタジオを使っての実習は、1年次から行われ、企画から番組完成までのプロセスをくり返し実作しながらトレーニングしていきます。さらには、受講生の個性的な企画も取り上げ、それぞれの創造力を引き出すよう配慮しています。また、テレビカメラをはじめとして、照明設備、音声調整卓の操作などの技術面の実習、屋外でのロケーションや取材・音楽録音の実習なども行います。

Q 実習の分野にはどのようなものがありますか？また、どのようにして履修するのか、教えてください。

A 放送学科は「テレビ制作」「ラジオ制作」「映像技術」「音響技術」「CM」「脚本」「アナウンス」の7つの実習を設置しています。これらの中から必ず1つを選び、1年次後期、2・3年次と段階制で履修します。また、実習を2つ履修する“ダブル受講”もできます。なお、第一志望で選択した実習については希望通り履修できますが、2つ目の実習については、各実習が設定している定員数に基づいてダブル受講希望者の募集実施有無を決め、希望者を募った場合は、実習を担当する教員が選抜を行います。

Q 声優やDJ（ラジオパーソナリティ）を目指しているのですが、放送学科ではそのための勉強はできますか？

A 声を使った職業は多岐にわたりますが、放送学科は放送局（テレビ・ラジオ）のアナウンサーを志望する者の育成をめざしています。人と話しをすることが好きで、自分の言葉で人に何かを伝えることに強い志を持つ者を求めます。声優やDJ（ラジオパーソナリティ）を育成するための授業は設けていません。

● デザイン学科

Q デザイン学科の特徴を教えてください。

A 1年次では、必修授業を通してデザインの基礎知識と技術の修得に専念します。併せてビジュアルコミュニケーション、プロダクト、建築等の各デザイン分野の基礎演習や実習からその概念や意義を修得し、専門領域での学びを深めるための基礎力をつけます。2年次以降は自らが選択した授業（専門領域）を核に、必要とする他の領域を自由に学びながらデザイン手法を修得し、多様な社会の要請に応えられるデザイン力を身につけることが出来ます。

Q 面接の参考資料とするための自作作品が大型の場合どうすればいいでしょうか？また評価について教えてください。

A 持参できる大きさの物にしてください。または写真に撮って持参することも可とします。
なお、持参作品は面接時の参考資料とし、作品そのものは採点しません。

Q 過去の一般選抜N全学統一方式（第1期）専門試験併用型の実技課題と評価ポイントについて教えてください。

A 2025年度（昨年度）の実技課題については、34、35ページを参照してください。
評価ポイントについては、58、59ページの専門試験参考資料及びデザイン学科ホームページを参照してください。

授業等について

目次に戻る

授業について

本学部の授業形態は、芸術に関する知識・理論を学ぶ「講義科目」、経験豊富な教員の指導の基に研究・創作を行う「演習科目」、学生自ら研究・創作の成果を作り上げる「実習科目」などを、最新鋭のスタジオ設備群や本格的な専門設備を完備した各種ホール、専用の展示施設等を使用して、4年間で実践的に学びます。

また、大きな特色の1つとして、学科の専門領域を超えて横断的に科目の履修が可能となる、「他学科公開科目」が設置され、学生個々の興味関心に合わせた科目履修が可能となっています。

さらに全学科の学生が履修可能な「芸術総合講座」では、芸術分野の専門家や社会の第一線で活躍されるクリエイター等を多数招き、リレー形式にて1つのテーマを様々な視点から学ぶ授業を開講しています。

こうした高度な専門性を養うカリキュラム、横断的な履修方式やユニークな授業科目など、多様な学びの在り方こそが、「日藝」ならではの授業＝創作活動の基盤です。

取得資格について

●学 位 学士(芸術)

●教員免許状(教職課程)

各学科においては、右表の免許状を取得できます。

●学芸員資格(学芸員課程)

本学部では、学芸員(博物館、美術館等で資料の収集や保管、展示及び調査研究を行う専門職員)の資格を取得するための課程を設けています。

●司書教諭資格(司書教諭課程)

学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担う司書教諭の資格を取得するための課程です。司書教諭の資格を得るためには、所定の科目を修得し、教育職員免許状(免許の種類・教科は問いません)の取得が必要となります。

●司書資格(司書課程)

都道府県や市町村の公立図書館等で図書館資料の選択、発注及び受け入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを行う専門的職員の資格を取得するための課程です。

●一級建築士<デザイン学科>

所定の建築士試験指定科目を修めて卒業し、試験に合格したうえで、大学卒業後の建築実務経験を2年以上経ることにより、一級建築士として登録されます。

●二級建築士、木造建築士<デザイン学科>

所定の建築士試験指定科目を修めて卒業することで、受験資格を得られます。

学 科	中学校一種	高等学校一種
美 術	美 術	美術, 工芸
音 楽	音 楽	音 楽
文 芸	国 語	国 語
デザイン	美 術	美術, 工芸

転科・転コースについて

学部内で所属学科を変更することを「転科」と呼びます。転科試験については11月頃に受験資格、手続き要領などを周知します。また、学科内で所属コースを変更する「転コース」については、転科に準じて認められることがあります。

しかしながら、転科・転コースはあまり望ましいことではありません。入学者選抜の出願にあたっては、自分が何を目的としているか、何を学びたいのかといった視点から志望学科・コースを決めるようにしてください。

≪2026年度転科試験実施状況≫

転科希望学科	出願者数	受験者数	合格者数
写 真	0	0	0
映 画	3	3	2
美 術	0	0	0
音 楽	0	0	0
文 芸	2	1	1
演 劇	0	0	0
放 送	0	0	0
デザイン	0	0	0
合 計	5	4	3

卒業するために必要な単位数 (令和8年度入学者)

本学部を卒業し学士(芸術)の学位を得るためには4年間在学し、合計124単位数以上を修得しなければなりません。

科目区分		必要単位数	備考
全学共通教育科目		—	「自主創造の基礎」「日本を考える」 ※履修推奨科目
(各学科共通授業科目) 芸術教養課程科目	芸術教養科目	8単位数以上	
	外国語科目	4単位数以上	
	保健体育科目	1単位数以上	
	共通選択科目	—	芸術総合講座・連携型プロジェクトなど
所属学科の学科別授業科目		58単位数以上	
その他		53単位数以上	上記の中から選択(他学科公開科目・ 日本大学相互履修制度等を含む)
合計		124単位数以上	

■全学共通教育科目

日本大学の全学部共通で開講される「学び方を学ぶ」ための科目です。大学生として能動的な学修を導く「自主創造の基礎」と、日本を世界の中の視点で捉え自らの専門性と社会の関わりを意識する「日本を考える」の2科目があります。

■芸術教養科目

大学生としてもつべき基本的教養および各芸術分野にまたがる総合的な視野を身につけることを目的としています。

■外国語科目

基礎的な語学力を身につけるとともに、国際人としての教養を学びます。選択必修科目として英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・中国語・日本語(留学生のみ)を開講しています。

■保健体育科目

日常の健康法やスポーツの歴史などを学ぶ講義科目(2単位・選択科目)と、各種球技やフィットネストレーニングなどのほか、スキー・スケートなどのシーズンスポーツからなる実技科目(1単位・選択必修科目)があります。

■所属学科の学科別授業科目

各学科の専門科目であり、理論・歴史(A)、研究(B)、表現技術(C)の3部門より構成されています。

A部門では、各分野の理論と歴史について体系的に学びます。B部門では、各教員の研究成果に基づき、より専門的なテーマを追求します。C部門では、演習・実習を通して、より実践的な技術を修得します。

■共通選択科目

芸術総合講座：社会の第一線で活躍するクリエイター等を講師に招き、オムニバス形式で最新の情報を学ぶ実践的な講座です。

連携型プロジェクト：学科の垣根を超え、企業や地域社会と連携して芸術プロジェクトを遂行する実践型の科目です。

■その他(自由選択)

各自の学修目的に合わせ、所属学科以外の科目を履修できる「他学科公開科目」や、日本大学の他学部の科目を履修できる「日本大学相互履修制度」などを利用して、合計124単位数を満たすように自由に選択します。

このほか、卒業単位には含まれませんが、**教職課程**、**学芸員課程**、**司書教諭課程**及び**司書課程**の科目も設置されています。

大学での学習に何を求めるか、学生一人ひとりが主体的に考え、さまざまな授業科目を組み合わせ「自分だけの時間割」を作るところに、大学での学びの面白さがあります。学科・コースにより必修科目、必修ではないが履修することが望ましい科目がありますし、科目によっては履修する学年が指定されている場合もありますが、それでも各自の目的の違いによって、大学には学生の数だけの時間割が存在するといつて良いのです。

入学金・授業料等納入金について [2027年度]

入学者納入金は下表のとおりです。合格後、入学手続の際に必要な納入金は以下の「前学期計」の金額となります。なお、2年次以降卒業年次までの納入金の年額については、原則として、入学金を除く入学年度の納入金と同額となります。また、入学後の学費等の納入期限は、前学期は4月末日まで、後学期は9月末日までとなります。

(単位：円)

学科・コース	納入区分	入学金 (入学時のみ)	授業料	施設設備 資金	実験 実習料	後援会費	校友会費 [準会員]	前学期計 後学期計	初年度 年 額	2年次以降 年 額	
写 真	入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,085,000	1,900,000	1,640,000	
	後学期納入金	—	555,000	200,000	50,000	10,000	—	815,000			
映 画	映像表 現・理論	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,100,000	1,930,000	1,670,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	50,000	10,000	—	830,000		
	監督, 撮 影・録音	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	75,000	10,000	10,000	1,125,000	1,980,000	1,720,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	75,000	10,000	—	855,000		
	演技	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	40,000	10,000	10,000	1,090,000	1,910,000	1,650,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	40,000	10,000	—	820,000		
美 術	入学手続時(前学期)納入金	260,000	550,000	200,000	60,000	10,000	10,000	1,090,000	1,910,000	1,650,000	
	後学期納入金	—	550,000	200,000	60,000	10,000	—	820,000			
音 楽	入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	60,000	10,000	10,000	1,095,000	1,920,000	1,660,000	
	後学期納入金	—	555,000	200,000	60,000	10,000	—	825,000			
文 芸	入学手続時(前学期)納入金	260,000	520,000	200,000	25,000	10,000	10,000	1,025,000	1,780,000	1,520,000	
	後学期納入金	—	520,000	200,000	25,000	10,000	—	755,000			
演 劇	入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	35,000	10,000	10,000	1,070,000	1,870,000	1,610,000	
	後学期納入金	—	555,000	200,000	35,000	10,000	—	800,000			
放 送	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,100,000	1,930,000	1,670,000	
	後学期納入金	—	570,000	200,000	50,000	10,000	—	830,000			
デザイン	入学手続時(前学期)納入金	260,000	550,000	200,000	45,000	10,000	10,000	1,075,000	1,880,000	1,620,000	
	後学期納入金	—	550,000	200,000	45,000	10,000	—	805,000			

※卒業予定年次後学期に、日本大学校友会正会員費初年度分として10,000円を代理徴収いたします。

奨学金制度・授業料減免制度

奨学金は、学業生活を充実させるための経済的支援です。

向学心があるにもかかわらず経済的な理由により修学が困難な場合や学業成績優秀者に奨学金を給付・貸与しています。

日本大学の奨学金制度や芸術学部独自の奨学金制度、また、学外の日本学生支援機構や地方公共団体・民間育英団体の奨学金制度も活用することができます。

なお、高等教育の修学支援新制度に採用となった場合、各奨学金制度との併給ができない可能性があります。



入学後のキャリア形成について ～卒業後の「進路」を考える～

目次に戻る

大学入学前の皆さんが卒業後のことを考えるのは難しいところもありますが、今では多くの大学で早期から「キャリア」に対する教育に力を入れています。本学部も芸術に関する専門的な教育はもちろんのこと、サポートセンター〈就職指導課〉を中心に学生の就職活動に対しても全面的にバックアップする態勢を整えています。

■ キャリア形成に関する主なスケジュール [参考]

1年次	2年次	3年次					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
幅広い芸術領域を授業で学ぶとともに、自己分析の方法をグループワークを通して理解を深める『キャリアガイダンス』を受講して、早い段階から卒業後の進路の意識をもちましょう。	具体的な進路先を決めるにあたり、「何を参考にすればよいのかわからない」という声があります。『業界研究講座(内容:各種業界紹介)』を活用して、自分の適性や自分が希望する業界や職種などについて考えてみましょう。						
				就職指導講座	※下記一覧参照		
		自己分析, 業界・企業研究, 筆記試験対策					
					インターンシップ		

3年次						4年次													
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
就職指導講座 ※下記一覧参照																		採用	
自己分析, 業界・企業研究, 筆記試験対策																			
					会社説明会・エントリー														
インターンシップ						採用試験													
								内定											

■ 就職講座の一部 [参考]

講座名	内容
就職活動スタートアップ講座	就職活動のスケジュールや準備の進め方、卒業生の主な就職先や業界を解説
インターンシップ講座	多種多様化するインターンシップの全体像を説明するとともに、業界研究や企業研究の方法、インターンシップに参加するための選考対策方法等を解説
筆記試験対策講座	筆記試験の種類や内容、出題傾向や対策を解説
UIJターン講座	地方での就職を目指す人へ向けて、知っておくべきポイントを解説
ポートフォリオ作り方講座	クリエイティブ職種の選考で重要なポートフォリオ(作品集)の作成方法、構成等のポイントを解説
動画選考等対策講座	自己PR等動画選考対策の注意点を解説
マスコミ業界対策講座	マスコミ業界のうち、音楽や出版業界に焦点をあて、その分野に携わっているゲストを招き、業界の実情や採用動向等を解説
履歴書/エントリーシート書き方講座	就職活動において最も重要な書類である「履歴書」や「エントリーシート」の書き方について、基礎から実践まで解説
面接/グループディスカッション基礎・実践講座	面接やグループディスカッションに必要な知識を学んだ後、模擬形式の実践練習を行う。客観的なフィードバックを通して、自分の課題の発見や修正を図る
教員採用試験対策講座	本番までの勉強スケジュール、筆記試験、論作文、面接対策について解説
フリーランス・企業家入門ガイダンス	フリー・個人事業主等で働く場合の会社設立、税務処理、注意点を解説

上記以外にも、各種講座を実施しています。

卒業制作等，学生の作品発表を見るには…

目次に戻る

芸術学部では，教育の成果として，年間にわたり学生の作品が発表されています。写真・絵画・彫刻・デザインなどの展示，映画・放送等の映像作品の上映，文芸誌ほか各学科研究誌の出版，音楽・演劇・舞踊の上演といったように，発表の形式・内容もバラエティに富んでおり，こうした作品の中には，学外の各種コンクールにおいて審査を受け，受賞するものも数多くあります。

学部では，各学科の実習内容を理解していただくためにも，これらの発表をぜひ見ていただきたいと願っています。

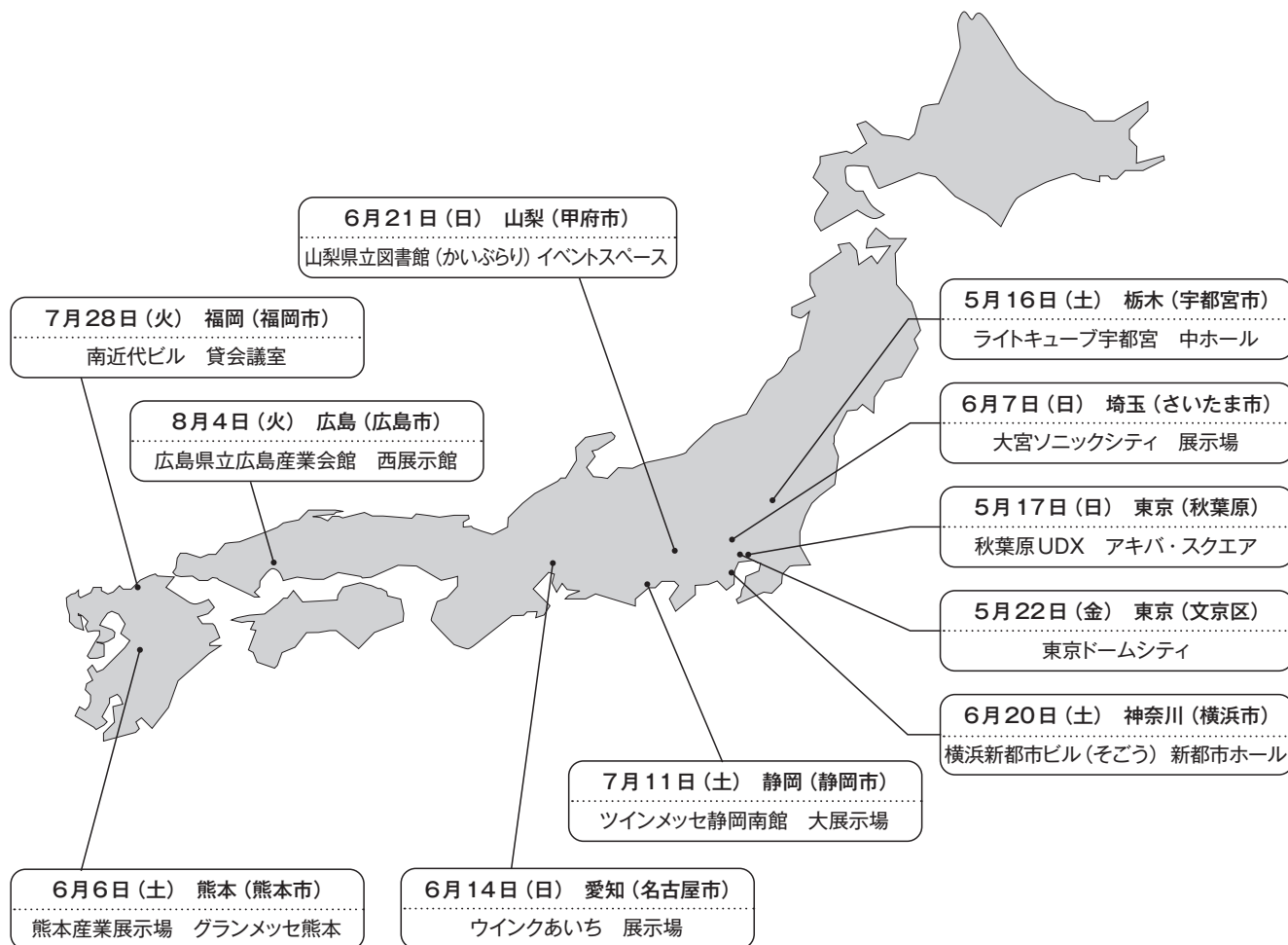
※2026年4月現在の予定について掲載しています。変更となる場合がありますので，詳細については，本学部または各学科ホームページをご確認ください。

学科	名称	時期	会場	内容
写真	卒業制作・修士論文 優秀作品展	4月から随時 (ホームページにて ご確認ください)	学部校舎 写真ギャラリー	令和7年度の優秀作品(卒業制作・修士論文)の展示(無料)
	GRIP2026 —学生選抜作品展—	7/22～8/2	学部校舎 芸術資料館	学内選考によって選ばれた学生による展示(無料)
	日芸祭写真展	11/1～3	学部校舎	学生の個人・グループによる作品展示(無料)
	卒業制作集「LOCUS」 <small>ルーカス</small>	毎年3月発行	学部校舎にて閲覧可	卒業制作・論文の抄録
	写真学科2027卒展	2027年3月上旬 (予定)	学部校舎 (ホームページにて 告知します)	学生作品の展示(無料) ※卒業制作の一部は写真学科公式ホームページ内でも公開しています。
問合せ先 ☎03-5995-8210 (写真学科事務室) 写真学科公式ホームページ https://www.nuaphoto.com/				
映画	映画学科機関誌 「映像研究」	3月発行	学部校舎にて閲覧可	各年度の卒業論文，シナリオ，エッセイや作品題目一覧等を掲載
	映像表現・理論コース 2年ゼミ誌 「書くことから」	4月発行	学部校舎にて閲覧可	映像表現・理論コース2年 理論・批評専攻，シナリオ専攻によるゼミ誌。理論・批評専攻は約5,000字の批評，シナリオは15分程度の短編
	映像表現・理論コース 3年ゼミ誌 「言葉と映画のあいだに」	4月発行	学部校舎にて閲覧可	映像表現・理論コース3年 理論・批評専攻，シナリオ専攻によるゼミ誌。理論・批評専攻は約10,000字の批評，シナリオは15分～30分程度の短編
	フォーカスイン FOCUS IN	3月中旬	学部校舎	成果物発表・上映会(無料)
問合せ先 ☎03-5995-8220 (映画学科事務室) 映画学科公式ホームページ http://nuart-cinema.info/				
美術	全国大学版画展	10/21～12/20 (月曜休館， 祝日の場合は開館し，翌日休館)	たましん美術館	全国の大学の版画教育機関が参加する版画展(有料)
	北野教育振興会 彫刻奨学生作品展	11/23～12/12 (11/29, 12/6休館)	学部校舎 芸術資料館	北野教育振興会彫刻奨学生の受賞者による作品展(入場無料)。
	造形芸術専攻修了制作展 (美術系分野)	1/14～19 (1/17休館)	学部校舎 芸術資料館	絵画・版画・彫刻・地域芸術分野の修了制作展(入場無料)。
	美術学科 卒業制作展 (絵画コース：絵画・版画専攻/彫刻コース：彫刻・地域芸術専攻)	1/21～26 (1/24休館)	学部校舎 芸術資料館	美術学科卒業生による卒業制作展(入場無料)。
	日芸版画修了・卒業制作展	1月下旬～ 2月初旬	ギャラリー川船	美術学科絵画コース版画専攻，造形芸術専攻版画分野の学生による展覧会(入場無料)。
	東京五美術大学連合 卒業・修了制作展	2月下旬	国立新美術館	本学のほか，武蔵野美術大学，多摩美術大学，女子美術大学，東京造形大学が一堂に会する卒業制作展(入場無料)。
	日本大学芸術学部美術学科絵画コース絵画専攻卒業生選抜 + 日本大学大学院芸術学研究科造形芸術専攻絵画分野 修了生展	3/9～14	銀座アートギャラリー	美術学科絵画コース絵画専攻および造形芸術専攻絵画分野の卒業・修了生による選抜展覧会(入場無料)。
問合せ先 ☎03-5995-8230 (美術学科事務室) 美術学科公式ホームページ http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/finearts/				

学科	名称	時期	会場	内容
音楽	第147回定期演奏会 (ソロ定期演奏会)	8/1	学部校舎音楽小ホール	試演会(公開実技試験)にて選ばれた学生の独奏・独唱・作品発表の学内演奏会(無料)
	第1回室内楽&コンチェルト 定期演奏会	10/13	練馬文化センター小ホール	授業履修生による室内楽と、試演会(公開実技試験)や学期末試験で選ばれた学生ソリストと、学生オーケストラによる協奏曲などの演奏会(無料)
	第55回ピアノコンサート	11/13	練馬文化センター小ホール	試演会(公開実技試験)にて選ばれたピアノコース学生による演奏会(無料)
	第148回定期演奏会 (オーケストラ・吹奏楽・合唱)	12/8	練馬文化センター大ホール	オーケストラ・吹奏楽・合唱による音楽学科全体公演(無料)
	第57回オペラ公演	12/16	練馬文化センター小ホール	声楽コース学生による公演(無料)
	第47回新作室内楽の会	2/27	学部校舎音楽小ホール	作曲専攻生の新作発表コンサート(無料)
	修了演奏会・ 修士論文要旨発表会	3/4	練馬文化センター小ホール	修士課程音楽芸術専攻の修了生より選ばれた大学院生による演奏会及び修士論文の要旨発表会(無料) ※都合により、発表しない場合があります
	情報音楽フェス SWITCH2027	3/6・7	学部校舎音楽小ホール 他	情報音楽コースライブエレクトロニクスコンサート並びに音の展示作品発表(無料)
	卒業演奏会	3/10	練馬文化センター小ホール	作曲・声楽・ピアノ・弦管打楽各コース卒業生より選ばれた学生による演奏会(無料)
問合せ先 ☎03-5995-8240(音楽学科事務室)		音楽学科公式ホームページ		https://music.art.nihon-u.ac.jp/index.html
文芸	ゼミ雑誌	12月頃発行	学部校舎にて配布・学部祭等でも配布	ゼミでの学生の創作・評論・詩等をまとめた文集(無料)
	演習授業による刊行物	1月頃発行	学部校舎にて配布	各演習授業の成果をまとめた雑誌(無料)
	文芸学科 「優秀卒業論文・作品集」	3月発行	学部校舎にて入手可	芸術学部長賞・奨励賞受賞作を収録した、優秀卒業論文・作品集
	『江古田文学』	年2回発行	全国の書店にて販売	学生や卒業生、教員の作品を発表している文芸誌
問合せ先 ☎03-5995-8250(文芸学科事務室)		文芸学科公式ホームページ		https://www.nichigei-bungei.info/
演劇	劇場実習	7/16~18	学部校舎中ホール	2~4年生演劇舞台発表
	総合実習A1	9/3~5	学部校舎中ホール	2・3年生演劇舞台発表
	総合実習ID	9/18~19	学部校舎中ホール	2年生演劇舞台発表
	卒業制作(演劇)	10/8~10	学部校舎中ホール	4年生演劇舞台公演
	総合実習IIC	11/2~3	学部校舎中ホール	3年生創作舞踊(日舞)舞台発表
	卒業制作(日舞)	11/2~3	学部校舎中ホール	4年生創作舞踊(日舞)舞台公演
	総合実習IB	12/4~5	学部校舎中ホール	2年生洋舞舞台発表
	総合実習IIB	12/4~5	学部校舎中ホール	3年生洋舞舞台発表
	卒業制作(洋舞)	12/11~12	学部校舎中ホール	4年生洋舞舞台公演
	総合実習IC	12/19	学部校舎中ホール	歌舞伎舞踊ワークショップ及び試演会
総合実習A2	2/18~20	学部校舎中ホール	2・3年生演劇舞台発表	
問合せ先 ☎03-5995-8260(演劇学科事務室)		演劇学科公式ホームページ		http://theatre.art.nihon-u.ac.jp/
放送	卒業制作発表(朗読)	12月	学部校舎	卒業研究の朗読の発表会(無料)
	卒業制作発表と展示 (映像・音響・朗読・脚本など)	3月	学部校舎	卒業研究の映像作品の上映、音響作品と朗読の発表、脚本・アナウンス・論文の展示(無料)
	研究誌「放送と表現」	3月発行	学部校舎にて閲覧可	放送学科教員の論文や学生の優秀卒業論文、卒業制作の台本、脚本等の発表の場として発刊された研究誌
	授業内制作作品	常時	ウェブサイトにて公開	下記の放送学科公式ホームページよりご覧ください
問合せ先 ☎03-5995-8270(放送学科事務室)		放送学科公式ホームページ		http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/broadcast/
デザイン	宮沢賢治研究作品展示	6/15~26	学部校舎A&Dギャラリー	宮沢賢治に関する研究の作品展示(無料)
	グラフィックデザインIV 成果展示	7/15~27	学部校舎A&Dギャラリー	グラフィックデザインIV授業内成果物の発表展示(無料)
	ネリドコ公開制作展	8/1~2	学部校舎A&Dギャラリー	デザイン学科の大学院生と学部生が運営するZINEの公開制作展(無料)
	デザイン学科助手展	9/29~10/9	学部校舎A&Dギャラリー	デザイン学科助手による作品展示(無料)
	日藝建築展	10/13~23	学部校舎A&Dギャラリー	建築分野の学生による優秀作品の展示(無料)
	日藝祭 作品展	11/1~3	学部校舎	学生作品の展示(無料)
	大学院修了制作展	2月下旬~3月上旬	学部校舎A&Dギャラリー	大学院生の修士課程修了制作展(無料)
	卒業制作作品展	2月下旬~3月上旬	学部校舎	各デザイン分野の卒業制作作品展(無料)
	モレスキンコンペ優秀作品展	3月下旬~4月中旬	学部校舎A&Dギャラリー	芸術学部の各学科とモレスキンノートとのコラボレーション作品を展示(無料)
問合せ先 ☎03-5995-8690(デザイン学科事務室)		デザイン学科公式ホームページ		http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/design/

外部進学相談会について

芸術学部は、全国で実施される下記の芸術系進学相談会に参加する予定です。



※日程・会場は追加・変更される場合があります。また、その他、資料参加のみの会場もあります。詳細については、本学部ホームページをご覧ください

※上記と別に、日本大学が実施・参加する進学相談会等があります。詳しくは日本大学ホームページをご覧ください

キャンパス見学について **予約制**

芸術学部では、事前予約制でキャンパス見学を行っています。ご希望の方は芸術学部ホームページをご覧ください。
 なお、修学旅行等の学校行事による見学希望については、学校単位での受付とさせていただきます。

1 見学可能日時

※日曜日・祝祭日及び学部事務休止日は、見学を休止しております

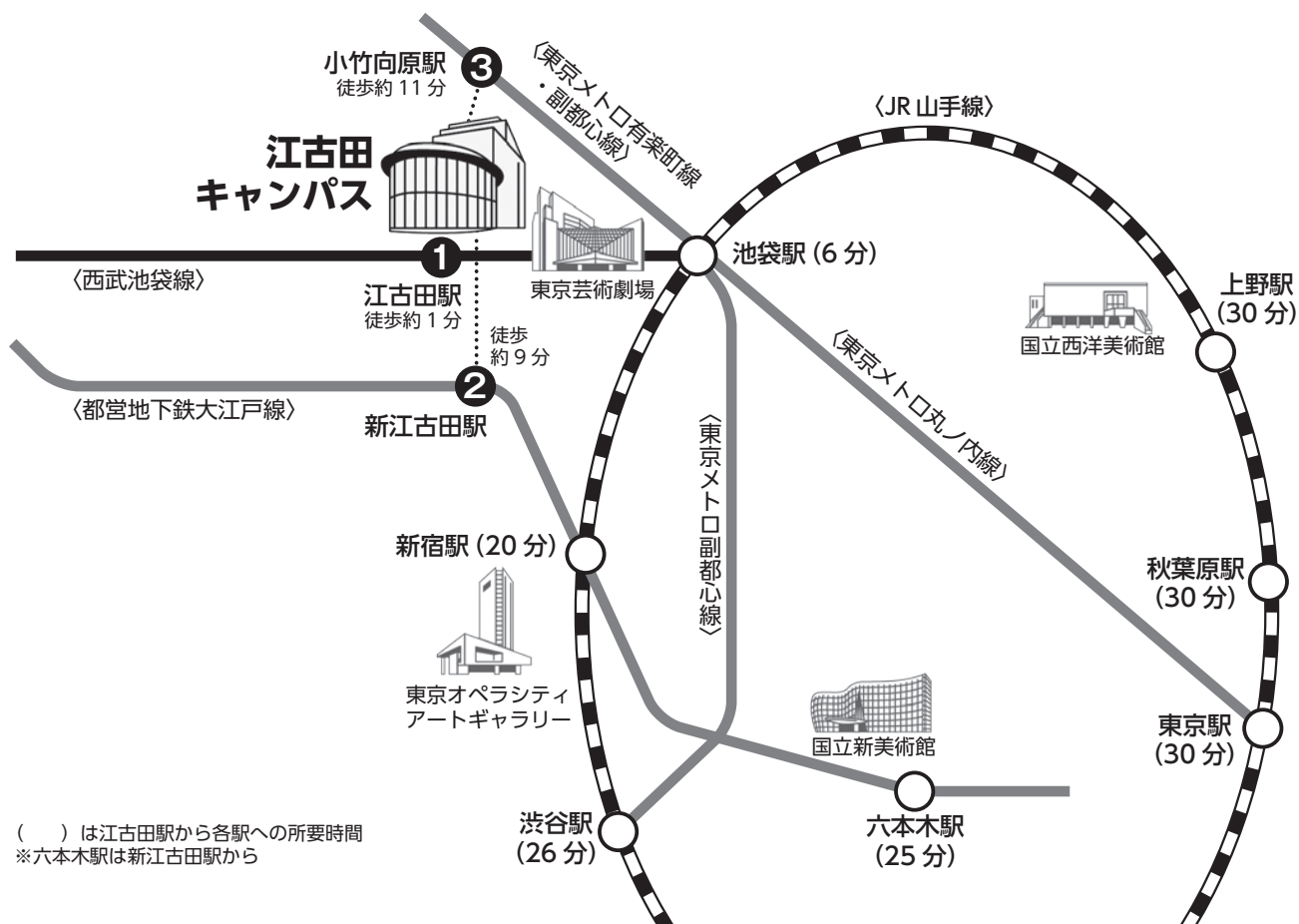
※芸術学部の諸行事や授業等の事情により見学いただけない場合、または見学内容を制限させていただく場合がございますのでご了承ください

2 見学の内容

学科施設案内及び説明

校舎案内

目次に戻る



アクセス

- 1 江古田駅 (西武池袋線) 池袋駅から各駅停車で約 6 分, 北口から徒歩約 1 分
- 2 新江古田駅 (都営地下鉄大江戸線) 新宿駅から約 20 分, A2 出口から徒歩約 9 分
- 3 小竹向原駅 (東京メトロ有楽町線・副都心線) 池袋駅から約 6 分, 2 番出口から徒歩約 11 分

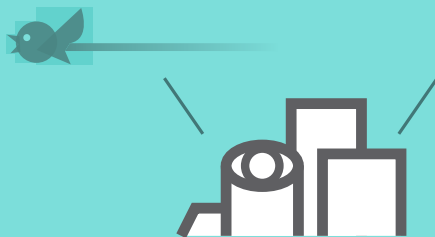


WELCOME
to
NICHIGEI!



Open Campus オープンキャンパス

2026年
6月21日(日)



模擬授業 ワークショップ 個別進学相談コーナー 他

Open Campus オープンキャンパス

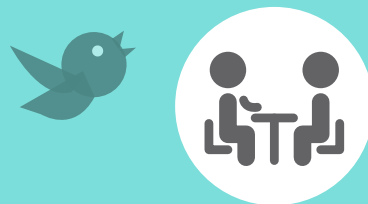
2026年
8月1日(土)・2日(日)



模擬授業 ワークショップ 個別進学相談コーナー 他

春のオープンキャンパス

2027年
3月7日(日)



模擬授業 個別進学相談コーナー 他

8つのアート1つのハート

N O U
Nihon University College of Art
A r t

各イベントの詳細については
本学部ホームページをご覧ください



日本大学藝術学部